

# 北洋大学紀要

## 第 1 号

### (第 1 部) : 教育研究論文

モンゴル人日本語学習者による日本語の語中閉鎖音の  
帯気性と有声性 ◀ 植 田 尚 樹 ▶ 3

日本語における名詞転換動詞及び自動詞化について  
—「恵む」と「恵まれる」を中心に— ◀ 馮 一 峰 ▶ 17

中国の「封」概念をめぐる一考察  
—「封」と「トゥルク」の関わりを中心に— ◀ 広 池 真 一 ▶ 29

否定極性のlongにおける適格性について ◀ 福 嶋 剛 司 ▶ 45

家族内における特別な敬語使用の分析  
—平成時代初期の小説やテレビドラマシナリオの中の会話例を通して— ◀ 福 本 達 也 ▶ 59

外国人向け介護の日本語指導テキストへの提案  
—「共感的なコミュニケーション」の再検討とともに— ◀ 藤 田 航 輝 ▶ 71

英米文化としてのリベラリズムの系譜 ◀ 山 田 利 一 ▶ 85

(第 2 部) : 北洋大学のこの一年 99

北洋大学  
2022年3月

## 1 はじめに：

令和3年4月1日より新生「北洋大学」の活動が始まった。それまでの苫小牧駒澤大学の歴史に幕を閉じ、京都市英館がその学生たちを引き継ぎ、この4月より名称も一新すると同時にカリキュラムも大きく変更された。

特徴も多々あるが、一番の変化は、曹洞宗という仏教の教えを学びの基本とする大学から、京都市英館という国際交流を中心とする大学に移管されたことです。

その結果、カリキュラムも語学を中心とした構成になっています。特に英語と中国語を基本とし、外国人には日本語を専門に学ぶコースも準備されています。

2年生から4年生の旧カリキュラムの学生と1年生の新カリキュラムの学生が混在する形の1年となりましたが、目立った混乱もなくスムーズに双方が平行する形で進められています。

従って、教員も多くが宗教系から語学系に様変わりし、年齢層も若返りました。こうして何とか1年が過ぎようとしています。

この1年のまとめとして、ここに「北洋大学紀要 第1号」の上程できることを、大変嬉しく感じております。

今回は、特に新任の若い先生方の論文をご覧いただきながら、どのような専門の先生方が着任されたのかを楽しんで頂ければ幸いです。

北洋大学では、紀要の中味を大きく2部に大別し、1部を教育研究論文とし、2部を「北洋大学」のこの1年とし、新しい大学の姿をきちんと残していくことを念頭に構成することとしました。第1部と第2部の双方から、北洋大学をより一層ご理解頂ければ幸いです。

令和4年2月吉日  
図書館長 奥村訓代

# 第 1 部：教育研究論文

## モンゴル人日本語学習者による日本語の語中閉鎖音 の帯気性と有声性\*

植田 尚樹  
北洋大学

Aspiration and Voicing of Japanese Word-Medial Stops Uttered  
by Mongolian Speakers

UETA Naoki  
Hokuyo University

### Abstract

The Japanese and Mongolian languages both have a laryngeal contrast in stops. However, the phonological features and phonetic characteristics of the laryngeal contrasts in these two languages differ significantly; for example, in Japanese, the contrast is between “seion” and “dakuon,” which are regarded as voiceless and voiced consonants, respectively. Mongolian has an aspiration contrast, and word-medial aspirated consonants in Mongolian are pronounced with preaspiration, making the preceding segment aspirated and/or devoiced. With respect to word-medial unaspirated stops, /b/ and /g/ are frequently voiced, whereas /d/ is not.

This study investigates how native Mongolian speakers who are learning the Japanese language pronounce Japanese word-medial stops through a production experiment and an acoustic analysis. In particular, this study focuses on aspiration in seion and voicing in dakuon. As a result, this study reveals that (i) the vowels followed by a seion are frequently aspirated and/or even devoiced, which is interpreted as a language transfer from Mongolian, and (ii) /b/, /d/, and /g/ are partially or fully voiced to some extent, despite the fact that Mongolian /d/ is not recognized as a voiced sound.



## 1. はじめに

日本語の阻害音には清音と濁音の対立（例えば「カ（蚊）」と「ガ（蛾）」）がある。この対立は、音韻的には有声性の対立（例えば /k/ と /g/）であるとされ、音声的にも無声音と有声音（例えば [k] と [g]）の対立であるとみなされる。

一方、モンゴル語<sup>1</sup>は、閉鎖音と破擦音に「張り子音」と「緩み子音」の対立がある。大まかに言えば、張り子音は無声有気音、緩み子音は無声無気音として実現することから、この対立は帯気性の対立であるとされる。つまり、モンゴル語と日本語は喉頭素性に関して同じ二項対立を持つものの、音韻的、音声的な特徴は異なると言える。

モンゴル語を母語とする日本語学習者が日本語の清音と濁音を発音する際、日本語の清音はモンゴル語の張り子音に、日本語の濁音はモンゴル語の緩み子音にそれぞれ近い特徴を持つことが指摘されている（植田2020a）。しかし、彼らが発する清音と濁音の音声の特徴、および日本語母語話者による音声との異同が完全に明らかになったとは言い難い。特に、語中の清音において帯気性がどの程度現れるのか、語中の濁音は有声音として現れるか否か、といった点は明らかでない。

そこで本稿では、モンゴル語を母語とする日本語学習者の清音と濁音の発音について、特に語中閉鎖音の帯気性と有声性に焦点を当てて記述し、モンゴル語と日本語の喉頭素性の対立における音声的特徴の違いを明らかにする。同時に、モンゴル語を母語とする日本語学習者の音声と、日本語母語話者の音声の違いを観察することで、モンゴル語母語話者に対する日本語音声教育に示唆を与えることも、本稿の目的とする。

## 2. 喉頭素性の対立における音声的特徴

### 2.1. 日本語の清音と濁音の音声的特徴

日本語の清音と濁音の対立は、基本的には有声性の対立であり、清音は声帯振動を伴わない無声音であるのに対し、濁音は声帯振動を伴う有声音であるとされる。閉鎖音における無声音と有声音

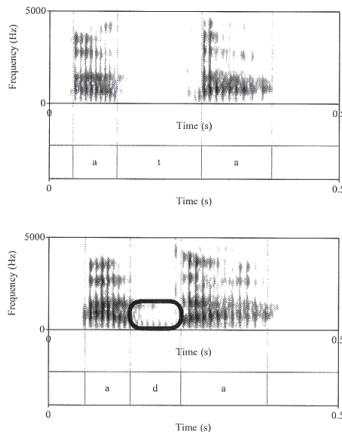


図1：日本語の清音（上）と濁音（下）（川原 2017: 117 図4-9）

の違いは、音響的には閉鎖区間中において低周波数帯にエネルギーを伴うか否かによって区別され、図1に示すように、清音（無声音）ではエネルギーを伴わず、濁音（有声音）ではエネルギーを伴う（Kent and Read 1992: 110、川原2017: 116-117）。

ただし、日本語の濁音にはいくつかの音声的バリエーションがあることが知られている。高田(2011)によると、日本語の語頭閉鎖音の濁音には2つの音声カテゴリが認められる。1つは、閉鎖の開放より前に声帯振動が始まることにより、閉鎖区間中に声帯振動を伴う（言い換えるとVOTがマイナスである）音声であり、「完全有声音」とみなされるものである。もう1つは、閉鎖の開放に対して声帯振動の開始がほぼ同時かわずかに遅れる（言い換えるとVOTがほぼ0またはプラスの小さな値をとる）音声であり、「半有声音」と言われるものである。この場合、閉鎖区間に声帯振動が無いため、厳密には有声音ではないことになる。

語中閉鎖音に関しては朱(2010)が精密な分析を行っており、日本語の語中の濁音には(1)の3つのタイプがあると述べている(朱2010: 47)。

- (1) a. 声帯振動が破裂するまで持続するもの
- b. 声帯振動が破裂の直前に切れるもの
- c. +VOTを持ち、中国語の無気音と同様のもの

朱(2010)は、4名の日本語母語話者を対象に発話実験を行い、(1a-c)が現れる割合を示している。その報告によると、日本語の語中の濁音は大半が(1a)、つまり完全有声音として発音されており、その割合は最も低い話者でも75%程度、最も高い話者では90%を超える。つまり、日本語の語中の濁音は、(1a-c)のようなバリエーションはあるものの、完全有声音で現れるのが一般的であると言える。

## 2.2. モンゴル語の張り子音と緩み子音の音声的特徴

モンゴル語の閉鎖音と破擦音には張り子音 /p, t, k, ts, tʃ/ と緩み子音 /b, d, g, dz, dʒ/ の対立がある。張り子音と緩み子音はともに、子音の種類（調音位置）および出現位置によって音声実現が異なる。語頭では、張り子音は無声有気音 [p<sup>h</sup>, t<sup>h</sup>, k<sup>h</sup>, ts<sup>h</sup>, tʃ<sup>h</sup>]、緩み子音は無声無気音 [p, t, k, ts, tʃ] として実現

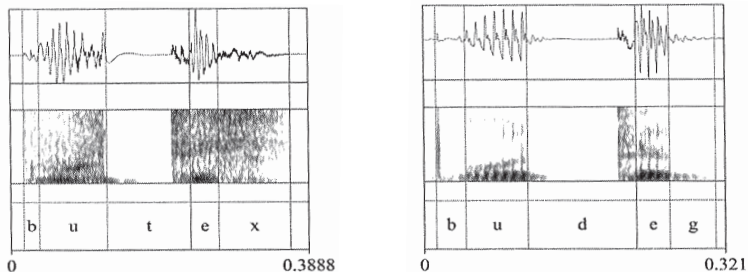


図2：モンゴル語の張り子音（左）と緩み子音（右）（植田 2020b: 10 図1、図2）

し、これらはVOTの長短によって明確に区別される (Ueta 2018)。語中や語末では、張り子音は前気音を伴い、直前の分節音の帯気化または無声化として実現する (Karlsson and Svantesson 2011)。例えば /otaa/「煙」は [o<sup>h</sup>ta:] あるいは [qta:] のように発音される。ただし、Ueta (2020) によると、直前の分節音が短母音の場合は完全に無声化することも多いのに対し、直前の分節音が長母音や鼻音の場合は無声化することはほとんどなく、帯気性が明確に観察されない場合もある。一方、語中や語末の緩み子音は、歯茎音系列の /d, dz, dʒ/ は安定して無声無気音として現れる<sup>2</sup>のに対し、/b/ と /g/ は摩擦化および有声化し、[β] や [ɣ] で現れることが多い (植田2020b)。図2は、モンゴル語の語中の /t/ と /d/ の音声波形とスペクトログラムを表している。/t/ では、先行する母音の区間において高周波数帯にノイズが確認され、母音の部分に帯気性が被さって実現していることがわかる。一方 /d/ では、帯気成分は見られない。

### 2.3. 日本語学習者の清音と濁音の音声

本節ではまず、モンゴル語と同じく帯気性の二項対立 (有気音／無気音) を持つ中国語北京方言 (以下北京語) の母語話者を対象にした研究 (福岡1995, 2011および朱2010) を取り上げ、次いでモンゴル語母語話者を対象にした研究 (植田2020a) の結果を概観する。

福岡 (1995, 2011) は、語頭および語中の清音 (「ば」) と濁音 (「ば̤」) について、北京語を母語とする日本語学習者 (初級および中級<sup>3</sup>) と日本語母語話者のVOTの値 (平均と標準偏差) を示している。その結果をまとめると、表1のようになる。

表1：北京語話者と日本語母語話者のVOT (平均と標準偏差、単位はms)  
(福岡2011: 21表6をもとに作成)

	清音 [ば] (+です)		濁音 [ば̤] (+です)	
	語頭	語中	語頭	語中
北京語 [日本語初級]	55.2 (±SD7.7)	31.6 (±SD22.2)	11.3 (±SD8.2)	6.1 (±SD10.0)
北京語 [日本語中級]	54.2 (±SD24.1)	20.2 (±SD36.5)	6.2 (±SD7.7)	-5.6 (±SD18.8)
日本語母語話者	23.4 (±SD6.1)	14.7 (±SD5.6)	-44.4 (±SD21.7)	-52.4 (±SD14.1)

語頭に注目すると、北京語母語話者のVOTは、清音において大きなプラスの値、濁音において小さなプラスの値をとる。つまり、北京語話者は日本語清音を無声有気音で、濁音を無声無気音で発音していることになり、ここに母語の転移が見られる。一方、語中に注目すると、初級と中級でやや様相が異なる。初級学習者のVOTは、清音においてプラスのやや大きな値、濁音において短いプラスの値をとる。すなわち、初級学習者は語中の清音を無声有気音、濁音を無声無気音で発音していることになる。それに対し、中級学習者のVOTは初級学習者に比べて短く、濁音においてはマイナスの値をとっている。このことから、中級学習者は語中の清音を無声無気音に近い音声で、濁音を有声音で発音する傾向にあることがわかる。ただし、中級学習者においても日本語母語話者のVOTとはやや差があり、特に濁音に関しては絶対値が小さい。つまり、閉鎖区間中の一部のみに声帯振

動を伴い、「部分有声音」とでも言うべき音声で実現していると推察される。

朱 (2010) は、北京語母語話者で日本語学習歴が10年以上の上級学習者4名を対象に、日本語の語中の濁音について音声産出実験および音響分析を行っている。2.1節で述べたように、朱 (2010) は語中の濁音の音声を (1a-c) の3種に分類しているが、実験対象者4名のうち3名では (1a)、つまり完全有声音の発音が優勢であったのに対し、1名はほぼ一貫して (1c)、つまり北京語の無声無気音のように発音したと報告している。

以上より、北京語話者に関しては、個人差はあるものの、学習歴が短い間は日本語の清音と濁音をそれぞれ北京語の無声有気音、無声無気音のように発音するが、学習歴が上がるにつれ日本語本来の発音である無声無気音、有声音として発音するようになることがわかる。

モンゴル語を母語とする日本語学習者の清音と濁音の音声的特徴については、植田 (2020a) が主に語頭閉鎖音を対象としてVOTと母音の無声化の観点から記述を行っている。植田 (2020a) によると、語頭の清音および濁音のVOTの値は、それぞれ概ね30~100ms、0~40msの範囲に分布しており、この値はモンゴル語の張り子音および緩み子音のVOTの値と近似している。また、清音は語中に現れた時に直前の母音を無声化することがあり、特に短母音が清音に挟まれた環境において、母音の無声化が頻繁に起こる。以上の事実から、モンゴル語を母語とする日本語学習者は、日本語の清音をモンゴル語の張り子音で、日本語の濁音をモンゴル語の緩み子音で置き換えて発音していると見られる。

他方、語中の濁音がどのような音声として実現しているかは明らかではない。2.2節で述べたように、モンゴル語の緩み子音のうち /d/ は、語中においても安定して無声無気音で現れ、完全に有声化することはない。一方で、/b/ や /g/ では有声化 (および摩擦化) が頻繁に起こる。このモンゴル語の特徴が日本語の発音にも反映されるとすれば、日本語のダ行音では有声化が起らず、バ行音およびガ行音では有声音として発音されることが予想される。また、語中の清音に関しても、モンゴル語母語話者による発音ではモンゴル語の張り子音の特徴を反映し、前気音を伴って発音されることが予想されるが、前気音がどの程度現れているか、母音の無声化がどの程度起こるかは定かでない。

### 3. 調査と分析

#### 3.1. 調査方法

モンゴル語を母語とする日本語学習者の語中閉鎖音の音声的特徴を明らかにするために、音声産出実験を行った。

インフォーマントは18歳~19歳の学生7名で、日本語の学習歴は8か月もしくは1年8か月 (年齢と学習歴はいずれも調査時) である (表2)。福岡 (2011) の基準に従うとすれば、日本語学習歴8か月の5名は初級学習者、1年8か月の2名は中級学習者となる。ただし、本研究では特に中級学習者の人数が少ないため、学習歴と音声特徴との関係については簡単に言及するとどめる。

表2：インフォーマント

インフォーマント名	性別	年齢	日本語学習歴
AS	男	19	1年8か月
BG	男	18	8か月
CG	男	18	8か月
JT	男	19	8か月
AZ	女	19	1年8か月
BM	女	19	8か月
SG	女	19	8か月

調査語彙は、語中に「パ/バ」「タ/ダ」「カ/ガ」のいずれかを持つ意味語18語である(表3)。2.2節で述べたように、モンゴル語の語中の張り子音は前気音として実現し、直前の分節音が無声化し得るが、張り子音の直前の分節音が短母音か長母音かによって無声化の頻度が異なる。この特徴が日本語の発音にも反映される可能性を考慮に入れ、調査語彙において語中の清音(および濁音)の直前の分節音が短母音であるものと、二重母音であるものを用意した。なお、モンゴル語において、二重母音は長母音と同様に振る舞うことが分かっている。

表3：調査語彙<sup>4</sup>

	先行音が二重母音	先行音が短母音	
/p/	ワイ <u>パ</u> ー	パ <u>バ</u>	ア <u>パ</u> ート
/b/	まい <u>ばん</u> (毎晩)	カ <u>バ</u>	タ <u>バ</u> コ
/t/	つい <u>た</u> ち (一日)	か <u>た</u> (肩)	あ <u>た</u> ま (頭)
/d/	かい <u>だ</u> ん (階段)	た <u>だ</u>	か <u>ら</u> だ (体)
/k/	たい <u>か</u> い (大会)	バ <u>カ</u>	さ <u>か</u> な (魚)
/g/	だい <u>が</u> く (大学)	さ <u>が</u> (佐賀)	は <u>が</u> き

調査において、調査語彙は1つずつコンピューターの画面上に提示された。調査語彙の漢字の部分にはふりがなを振り、仮に当該の語彙を知らなくても発音できるようにした。また、調査語彙と同時にキャリア文が画面上に提示され、調査語彙はキャリア文に入れて読み上げられた。キャリア文は(2a, b), (3a, b), (4a, b)の計6種類あり、まずキャリア文(2a, b)を使って全調査語彙の読み上げが行われた。その後、キャリア文(3a, b)を使った読み上げ、キャリア文(4a, b)を使った読み上げが、短時間の休憩を挟みながら順に行われた。結果として、各調査語彙は6回ずつ読み上げられた。なお、調査語彙の提示順序はランダム化され、3度の読み上げ調査においてそれぞれ異なる順序で提示されている。

- (2) a. ....ですか?                      b. それは ..... です。  
 (3) a. ....と書いてあります。        b. 彼は ..... と言いました。  
 (4) a. ....とは何ですか?                b. これは ..... と読みます。

読み上げられた音声は、デジタルレコーダー (ZOOM H4n [WAV, 44.1kHz /16bit]) およびヘッドセットコンデンサーマイク (AKG C520) を用いて録音された。

### 3.2. 分析方法

音響分析は、Praat (ver. 6.1.50; Boersma and Weenink 2021) を用いて行った。全てのトークン (18語 × 6回 × 7名の計756) に対して、音声波形およびスペクトログラムを目視し、当該子音および先行部分の音声特徴を観察した。

清音に対しては、先行母音に帯気性が確認されるか、さらに先行母音が無声化するかどうかに注目した。帯気性は連続的なものであるうえ、話者によっては全体的に声質が息漏れ音化している場合もあるため、統一的な基準で帯気化の有無を判定するのは難しいが、概ね以下の基準と聴覚印象から総合的に判断した。

- (5) a. 音声波形が典型的な母音の形状と著しく異なる場合、帯気化が起こっていると判断する。  
 b. スペクトログラム上にフォルマント構造以外の雑音成分が確認できる場合、帯気化が起こっていると判断する。

例として、母音が帯気化している例と、完全に無声化している例の音声波形とスペクトログラムを図3に示す。左の図では初頭母音が帯気化しており、母音のフォルマント構造がはっきりとは見えず全体的に雑音成分が観察される。右の図では、初頭母音の部分が完全に無声化しており、母音のフォルマント構造や周期的な波形が観察されない。

濁音に対しては、当該子音区間の声帯振動の有無を観察した。(6a-c) の3つの基準のうち2つ以

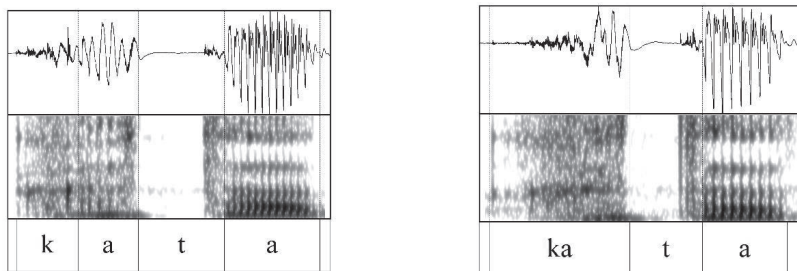


図3：清音に先行する母音の帯気化（左）と完全無声化（右）



上を満たしている場合に「声帯振動あり」と判定し、先行母音から続くわずかな区間のみにも声帯振動が見られる場合を「部分有声音」、子音区間の半分程度の部分に声帯振動が見られる場合を「半有声音」、子音区間全体に途切れずに声帯振動が続いている場合を「完全有声音」とした。

- (6) a. 音声波形に準周期的な波形が確認される。
- b. スペクトログラム上の低周波数帯にエネルギーが確認される。
- c. Praatの‘show pitch’の機能により、ピッチ曲線が表示される。

例として、濁音が無声音として現れている例と、完全有声音として現れている例の音声波形とスペクトログラムを図4に示す。左の図では /d/ の区間に声帯振動を表す準周期的な波形とボイスバーが見られないのに対し、右の図では準周期的な波形とボイスバーがともに観察される。

なお、当該子音は閉鎖音として現れていることもあれば摩擦音など別の調音方法で発音されていることもあるが、当該子音の調音方法については問わない。

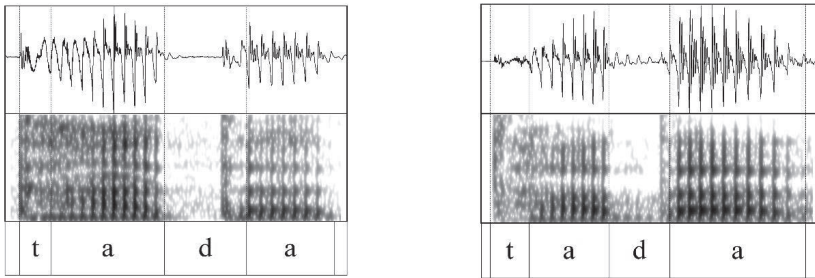


図4：濁音 /d/ の無声音（左）と完全有声音（右）

## 4. 結果と考察

### 4.1. 清音の音声

図5は、語中の清音に先行する母音の音声特徴を、調査語彙ごとにまとめたものである。図5より、清音に先行する母音が二重母音の場合（調査語彙「ワイパー」「一日」「大会」）、帯気性が全くない、あるいは部分的にしか確認されないケースがほとんどであることがわかる。これは、2.2節で述べたモンゴル語の特徴、すなわち有気音に長母音が先行する場合に帯気性が確認されない場合があるという特徴に一致する。しかし、本調査では、先行母音が短母音である「パパ」や「パカ」においても、帯気性があまり確認されないという結果が得られた。ここには、アクセントが関わっていると考えられる。本調査において、「パパ」や「パカ」は頭高型（高低）のピッチパターンで発音されることが多かった。このことから、これらの調査語彙ではアクセント（ピッチの下降）を実現させるために、母音の無声化が阻止された可能性が高い。ただし、調査語彙「肩」は、日本語（東京方言）では頭高型のアクセントを持つにもかかわらず、本調査においては「低高」のピッチで発

音されることが多く、無声化の頻度が高かった。モンゴル語母語話者の日本語アクセントの習得と母音の無声化の頻度の関係については、今後さらに検討する必要がある。

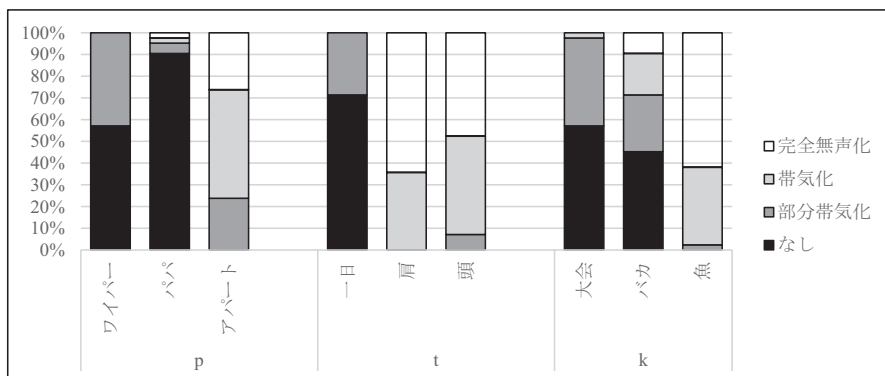


図5：清音における帯気性の実現（調査語彙ごと）

他方、調査語彙「アパート」「肩」「頭」「魚」では、短母音全体に帯気性が現れることが多く、母音が完全に無声化することも多い。例えば「肩」では、母音区間全体が帯気化したケースが35.7%、完全に無声化したケースが64.3%であった。

次に、インフォーマント別の結果を図6に示す。図6より、インフォーマントによって帯気性の現れ方にある程度差があることがわかる。例えば、インフォーマントASは無声化をほとんど起こさないのに対し、AZは高い頻度で母音を無声化させている。しかし、どのインフォーマントでも、少なくとも約50%のトークンにおいて何らかの形で帯気性を実現させていることがわかる。なお、ASとAZはともに日本語学習歴が1年8か月であるが、無声化の傾向が大きく異なっていることから、少なくとも本調査の範囲では、帯気性の音声的特徴と日本語学習歴との関連はないと言える。また、本調査において、インフォーマントAZ, BM, SGでは帯気性を実現させる割合が高い（図中の「なし」の割合が低い）が、この3名はいずれも女性である。女性の声は男性の声に比べて氣息性が強く、声門の開放時間率（open quotient）が長いという傾向が指摘されており（Kent and Read 1992: 154）、本調査の結果もその事実を反映したものである可能性がある。

以上の結果から、モンゴル語母語話者は日本語の清音をモンゴル語の張り子音（有気音）で置き換えて発音しており、日本語の清音においても、モンゴル語の有気音と同じように語中では前気音を伴って発音する傾向にあることがわかる。先行母音が短母音である場合には帯気化や無声化が顕著に起こるといえる点も、モンゴル語と共通している。つまり、日本語の清音の発音に母語の転移が見られる。ただし、話者による差が大きく、この差は日本語学習歴による違いではなく話者個人の特徴であると考えられ、性差に起因する可能性がある。



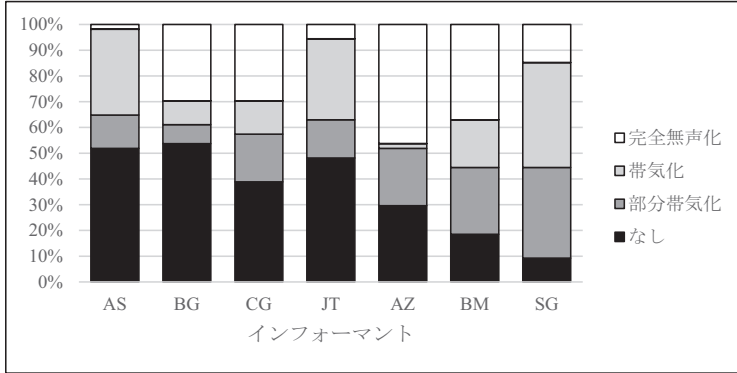


図6：清音における帯気性の実現（インフォーマントごと）

#### 4.2. 濁音の音声

続いて、濁音の音声的特徴を観察する。図7は、語中の濁音の有声性について調査語彙ごとにまとめたものである。

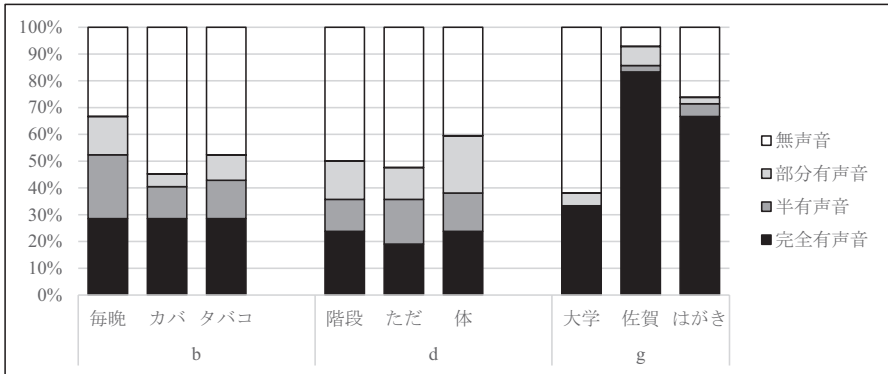


図7：濁音における有声性（調査語彙ごと）

図7より、/g/（「ガ」）において完全有声音となる頻度が高いことがわかる。この傾向はモンゴル語と同様である。ただし、調査語彙「大学」では有声化の頻度が低い。これは、対象となる子音「ガ」に無声音である「ク」が後続しており、この音が前気音を伴って発音されることにより、「ガ」自体が無声化してしまうケースがあったためである。「はがき」においても「ガ」の後に無声音「キ」があるが、こちらは全体として「低高低」のピッチパターンで発音されることが多く、「ガ」から「キ」へのピッチの下降を実現させるためか、「ガ」が無声化することは少なかった。ここにも、アクセントの影響が見られるようであるが、詳細については稿を改めて論じることにしたい。

続いて、/b/ が有声音として現れる頻度が高い。こちらも、モンゴル語において語中の /b/ が有声音として実現することがあるという事実をふまえれば、自然な結果であると言える。なお、通言語的に、両唇音や軟口蓋音は歯茎音よりも語中において弱化（有声化や摩擦化）しやすい傾向にあることが指摘されている（Lavoie 2001など）。モンゴル語母語話者の「バ」や「ガ」の有声化は、母語の転移とも言えるが、同時に通言語的な傾向でもある。

一方で、本調査において、/d/ も一定の割合（20%程度）で有声音として実現したことは注目に値する。2.2節で述べたように、モンゴル語の /d/ は語中においても有声化せず、安定して無声無気音として実現する。にもかかわらず、日本語の「ダ」を発音する際は、有声音として発音するケースがあり、日本語の濁音の特徴に近いことがわかる。ただしこれが、学習者が濁音を習得できた結果であるのか、モンゴル語の無気音が潜在的に有声化する性質を持っており、その反映であるのか、あるいは単なる偶然であるのかは明らかでない。

次に、インフォーマント別の結果を図8に示す。

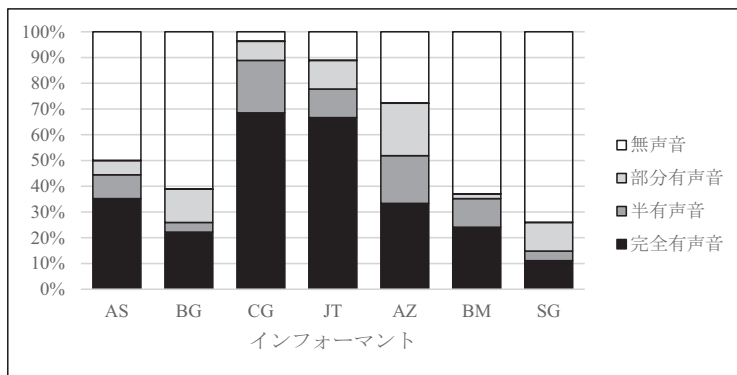


図8：濁音における有声性（インフォーマントごと）

図8より、濁音の有声性については個人差が大きいことがわかる。例えば、インフォーマントCGは濁音のうちかなりのものを有声音（完全有声音または半有声音）として発音しているのに対し、インフォーマントSGでは有声化は15%程度にとどまる。こちらも帯気性と同様、日本語学習歴と有声性の特徴との関係はないようである。

以上の結果から、モンゴル語母語話者は日本語の濁音をモンゴル語の緩み子音で置き換えて発音しており、その結果 /d/ < /b/ < /g/ の順に有声化率が高くなると考えられる。モンゴル語の特徴を反映しているという点で、母語の転移とも言えるが、日本語として自然な方向への転移であり、通言語的な傾向にも合致した音声特徴である。一方で、/d/ についてはモンゴル語の特徴とは異なり、一定の割合で有声音として現れることが明らかになった。ただし、有声化率については個人差がある。

### 4.3. 日本語教育への示唆

前節までの結果を受け、本節ではモンゴル語母語話者への日本語音声教育について考察する。

モンゴル語母語話者が日本語の清音を発音する際、モンゴル語の帯気性（前気音）の特徴が日本語の発音にも現れている。日本語において帯気性は余剰の特徴であり、帯気性があるからといって濁音と混同するといったことはないため、音素の弁別という観点からは帯気化が起っても問題はないと考えられる。ただし、モンゴル語母語話者の発音では、日本語において母音の無声化がふつうは起こらない環境においても母音が頻繁に無声化している。日本語では無声子音に挟まれた狭母音 /i/, /u/ が無声化し、/a/ は通常は無声化しない。一方で、本調査で明らかになったように、モンゴル語母語話者の発音では /a/ も完全に無声化し得る。つまり、モンゴル語母語話者が発音する清音（厳密に言えば、清音に先行する母音）は、日本語母語話者が発音する清音の音声的特徴とは異なっているため、自然性や聞き取りやすさという観点からは改善の余地がある。より自然な日本語を目指すためには、清音に先行する母音（特に短母音）をむやみに無声化させないように指導することが必要である。

濁音に関しては、有声音として実現されているものは問題ない。しかし、日本語の濁音が通常有声音で発音されることを考えれば、モンゴル語母語話者の濁音の発音による有声化率は低いと言える。濁音を有声化せずに発音した場合、日本語母語話者の耳には清音に聞こえてしまうという恐れがある。したがって、日本語の濁音に関しては、/g/ だけでなく /b/ や /d/ においても確実に声帯を振動させ、有声音として発音することを意識づけることが必要である。

## 5. まとめと今後の課題

本稿では、モンゴル語を母語とする日本語学習者の清音と濁音の音声的特徴について、清音の帯気性と濁音の有声性に焦点を当てて記述した。その結果、モンゴル語母語話者による日本語の清音の発音では前気音の特徴が見られ、清音の直前の母音が帯気化もしくは無声化する傾向にあることが明らかになった。また、濁音については、/g/, /b/ のみならず /d/ も一定の割合で有声音として実現することが示された。

今後の課題として、知覚面からの研究が挙げられる。モンゴル語母語話者が発音する清音や濁音が日本語母語話者に正確に弁別されるか、またどの程度自然な発音に聞こえるかは、知覚実験を通して明らかにする必要がある。また、本稿においてアクセントと帯気性との関連が示唆されたが、この点に関しても今後十分に検討する必要がある。

## 謝辞

本研究の調査において、モンゴル科学技術大学・高専留学プログラムの学生ならびに教員の皆様に多大なご尽力を賜った。ここに記して感謝申し上げる。なお、本研究は日本学術振興会・科学研究費（特別研究員奨励費、研究課題名：「東部ユーラシア諸言語の動的音韻研究—音声産出・知覚実験を軸に一」、課題番号：17J06051）および日本学術振興会・科学研究費（研究活動スタート支援、

研究課題名：「分節音の内部構造に関する音韻論的研究—モンゴル語・中国語・日本語の対照研究—」  
 (課題番号：21K20015) の助成を受けている。

## 注

\* 本稿は、2022年1月8日にオンラインにて行われた「国際文化学会第9回大会」での口頭発表「モンゴル人日本語学習者の清音・濁音の音声」をもとに、データの再分析、大幅な加筆、修正を施したものである。

<sup>1</sup> 本稿で言うモンゴル語は、モンゴル語ハルハ方言のことを指す。モンゴル語ハルハ方言はモンゴル国で広く話されており、いわゆる標準モンゴル語に位置づけられる。

<sup>2</sup> モンゴル語の語中の /d/ では、声帯振動を表す低周波数帯のエネルギーが閉鎖区間の一部にわずかに確認できる例もあるが、その持続時間は非常に短いため、有声化しているとは言えない(植田2020b)。

<sup>3</sup> 初級学習者と中級学習者の日本語学習歴はそれぞれ4か月、約1年である。

<sup>4</sup> 先行母音が短母音のものについては、アクセントの違いが音声特徴に影響を及ぼす可能性を考慮し、日本語(東京方言)において当該子音の直前のモーラがアクセント核を持つものと持たないものの両方を用意した。ただし、学習者が日本語のアクセントをどのように実現させているかについては事態が複雑であるため、本稿ではアクセントの影響については考察せず、アクセントが関わっている可能性がある現象を指摘するにとどめる。

## 参考文献

- Boersma, Paul and David Weenink (2021) Praat: Doing phonetics by computer (ver. 6.1.50). <https://www.fon.hum.uva.nl/praat/>
- 福岡昌子 (1995) 「北京語・上海語を母語とする日本語学習者の有声・無声破裂音の横断的および縦断的習得研究」『日本語教育』87: 40–53.
- 福岡昌子 (2011) 「中国(北京・上海方言)および韓国(ソウル方言)日本語学習者の破裂音習得—知覚と生成における共通性と相違性—」『三重大学国際交流センター紀要』6: 11–29.
- Karlsson, Anastasia and Jan-Olof Svantesson (2011) Preaspiration in Mongolian dialects: Acoustic properties of contrastive stops. *Paper Presented at the 10th Seoul International Altaistic Conference: 125–140.*
- 川原繁人 (2017) 『「あ」は「い」より大きい!?—音象徴で学ぶ音声学入門』東京：ひつじ書房.
- Kent, Ray D. and Charles Read (1992) *The Acoustic Analysis of Speech*. San Diego: Singular Publishing Group.
- Lavoie, Lisa M. (2001) *Consonant Strength*. New York: Garland Publishing.
- 高田三枝子 (2011) 『日本語の語頭閉鎖音の研究—VOTの共時的分布と通時の変化—』東京：くろしお出版.
- Ueta, Naoki (2018) Voice onset time of word-initial stops and affricates in Khalkha Mongolian. *Journal of the Phonetic Society of Japan* 22 (2): 131–140.

Ueta, Naoki (2020) The acoustic realization of preaspiration in Khalkha Mongolian. *Northern Language Studies* 10: 99–115.

植田尚樹 (2020a) 「モンゴル語を母語とする日本語学習者の清音 - 濁音の音声 - 語頭閉鎖音のVOTと母音の無声化」『音声言語の研究』 14: 1–12.

植田尚樹 (2020b) 「モンゴル語ハルハ方言の語中閉鎖音の音声的バリエーションと音韻解釈」『日本モンゴル学会紀要』 50: 1–18.

朱春躍 (2010) 『中国語・日本語音声の実験的研究』 東京：くろしお出版.

# 日本語における名詞転換動詞及び自動詞化について —「恵む」と「恵まれる」を中心に—

馮 一 峰  
北洋大学

An Analysis of Denominal Verb and Intransitivisation in Japanese  
Focusing on “megumu” and “megumareru”

FENG Yifeng  
Hokuyo University

## 提要

本文主要以「恵む」和「恵まれる」为焦点对日语中的名词转换动词以及自动词化现象进行了考察。考察时主要利用了词汇语义学中的概念结构以及因果链锁两个理论。通过考察发现，动词「恵む」和「与える」的概念结构的不同导致它们不管是在语义特征上还是结构特征上都存在差异。其次，同样作为名词转换动词的「恵む」在概念结构上具有其特殊性。另外针对「恵まれる」也进行了考察。考察发现「恵まれる」不管是在语义特征还是结构特征上与状态动词具有相似性。本文主张「恵まれる」已经被自动词化，自动词化主要由因果链锁的变化所引起。

## 1 はじめに

動詞「恵む」は、動詞「与える」と同じ項構造 (argument structure) を持つが、まったく同じ意味を表しているわけではない。

- (1) a. 恵む：(起点, 着点, 主題)<sup>1)</sup>  
b. 与える：(起点, 着点, 主題)

(1) に示すように、「恵む」と「与える」は同じく三項動詞であり、「起点」という意味役割を果たしている外項を一つ、「着点」、「主題」という意味役割を果たしている内項を二つ取っている。しかし、「恵む」と「与える」はまったく同じ意味を表しているわけではない。「恵む」は基本的に「与える」の意味を含意するのに対し、「与える」は常に「恵む」の意味を含意するとは限らない。

「恵む」と「与える」は意味的には対等関係にはない上に、異なる統辞的な振る舞いもしている。

- (2) a. 恵まれた人  
b.<sup>#</sup> 与えられた人<sup>2)</sup>  
c.<sup>#</sup> 教えられた人  
d.<sup>#</sup> 送られた人

(馮 2020a: 7)

- (3) a. お金を与えられた人  
b. その答えを教えられた人  
c. 多くの手紙を送られた人

(馮 2020a: 7)

(2a) に示すように、「恵む」の受動形は直接に「人」を修飾することができ、「恵みを与えられた人」と解釈できるので、意味的には適格な表現である。一方、(2b)、(2c)、(2d) に示すように、「与える」、「教える」、「送る」の受動形は直接に「人」を修飾することができず、意味的には不適格な表現である。(3) に示すように、意味的には適格な表現になるために、「お金」、「その答え」、「多くの手紙」のような「主題」の意味役割を果たしている内項を明示しなければならない。

また、馮 (2020a) では、「与える」は能動文にも受動文にも用いることができ、受動文に用いられたとき、文全体の構造は直接受動文と同じ構造を持つが、「恵む」は能動文に用いられることが少なく、受動文に用いられたとき、「彼は友達に恵まれている」、「あの夫婦は子供に恵まれている」といったような形式で現れることが多く、構造的には直接受動文と異なる構造を持つと指摘されている。

本稿の目的は、語彙意味論の観点から上記の「恵む」と「与える」の意味的及び統辞的特徴の違いに説明を与えることにある。

## 2 先行研究

馮 (2020a) は、Hale & Keyser (1993, 1994) の名詞転換動詞 (denominal verb) の分析に基づき、「恵む」は「与える」とは異なり、名詞転換動詞であると主張している。そして、Larson (1988) の分裂 VP (VP-shell) 構造を取り入れ、「恵む」は統辞構造での複合—編入 (incorporation) によって形成されたと主張し、動詞「恵む」と「恵む」構文の生成過程を明らかにした。「恵む」が名詞転換動詞であることを証明するために、(2) と (3) のような例が取り上げられている。

影山・由本 (1997) は、統辞的複合と語彙的複合とを区別し、次のような違いがあると指摘している。

- (4) 日本語の複合語も英語の名詞転換動詞も外部表示を許し、この特徴は語彙的な述語形成に与えられた特権である。それに対し、統辞的な編入の場合は、すでに文の構造が成り立っていて、そこで名詞の指示や細かい描写が冠詞や形容詞によって表現されている。編入が起くるのは、そのような細かい描写が文構造でなされた後であるから、統辞的な述語形成においては名詞を外部にダブらせて表示する必要性がない。

(影山・由本 1997: 47-48)

(4) を説明するために、次のような例が取り上げられている。

- (5) a. 台風が鹿児島に上陸した。  
 b. テニス部に入部するつもりだ。  
 c. \*彼は、医学博士の学位を学位取得後、帰国した<sup>3)</sup>。  
 d. 彼は、医学博士の学位取得後、帰国した。

(影山・由本 1997: 47-48)

(5a) と (5b) は、語彙的複合の具体例であり、「陸」と「部」はそれぞれ「上陸する」と「入部する」に複合されている。しかし、「上陸する」と「入部する」は、「鹿児島」と「テニス部」を「陸」と「部」の外部表示として許している。一方、(5d) は統辞的複合の具体例であり、「学位」は統辞レベルにおいて「学位取得」に複合されている。(5c) に示すように、「学位取得」は、「医学博士の学位」を「学位」の外部表示として許していない。動詞「恵む」は、語彙的複合と同じように外部表示を許す。

- (6) 少女は演奏する男性にお金を恵んだ。

(馮 2020a: 6)

(6) において、「恵む」は、「お金」を「恵み」の外部表示として許している。(6) からわかるように、「恵む」は語彙的複合と同じ特徴を持っており、統辞的複合と違う特徴を持っている。したがっ



て、馮 (2020a) の統辞的複合の分析は妥当ではなく、再検討する必要があると考えられる。本稿では、語彙意味論の観点から「恵む」の形成を再検討する。

### 3 理論的枠組み

「語彙概念構造」(Lexical Conceptual Structure) は、生成意味論に端を発し、その後Jackendoff (1990) などによって展開されてきた意味理論である。影山 (1996)、影山・由本 (1997) では、動詞の概念構造として次のようなモデルを提案している。

- (7) a. 状態動詞 (stative verbs):

[<sub>STATE</sub> [ ]<sub>y</sub> BE AT-[ ]<sub>z</sub> ]

- b. 到達動詞 (achievement verbs):

[<sub>EVENT</sub> BECOME [<sub>STATE</sub> [ ]<sub>y</sub> BE AT-[ ]<sub>z</sub> ]]

- c. 活動動詞 (activity verbs):

[<sub>EVENT</sub> [ ]<sub>x</sub> ACT ON-[ ]<sub>y</sub> ]

- d. 達成動詞 (accomplishment verbs):

[<sub>EVENT</sub> [ ]<sub>x</sub> ACT ON-[ ]<sub>y</sub> ] CAUSE [<sub>EVENT</sub> BECOME [<sub>STATE</sub> [ ]<sub>y</sub> BE AT-[ ]<sub>z</sub> ]]

(影山・由本 1997: 6)

影山・由本 (1997) は、名詞転換動詞を道具動詞、動作主動詞、位置動詞、物材動詞に分け、それぞれ次のような概念構造を持つと提案している。

- (8) a. 道具動詞: [ ]<sub>x</sub> ACT ON-[ ]<sub>y</sub> BY-MEANS-OF [Noun]

- b. 動作主動詞: [ ]<sub>x</sub> ACT ON-[ ]<sub>y</sub> AS/LIKE [Noun]

- c. 位置動詞: [ ]<sub>x</sub> CAUSE [BECOME [[ ]<sub>y</sub> BE AT-[Noun]]]

- d. 物材動詞: [ ]<sub>x</sub> CAUSE [BECOME [[ ]<sub>y</sub> BE WITH-[Noun]]]

(影山・由本 1997: 39)

(8)に示すように、道具動詞、動作主動詞、位置動詞、物材動詞の概念構造の前置詞句の部分に名詞概念が代入されている。影山・由本 (1997) は、前置詞句の部分に名詞概念が代入されている名詞転換動詞のほかに、内項に基づく名詞転換動詞もあると指摘している。また、内項に基づく名詞転換動詞は次のような概念構造を持つと主張している。

- (9) a. 剥奪動詞: skin

[ ]<sub>x</sub> CAUSE [BECOME [SKIN-of-[ ]<sub>y</sub> BE [NOT-AT-ON-y]]]

- b. 出産動詞: calf

[ ]<sub>x</sub> CAUSE [BECOME [CALF BE NOT-AT-IN-x]]

(影山・由本 1997: 36)

影山・由本 (1997) では、剥奪動詞や出産動詞は、内項の部分に名詞代入が起こっているという点で特異であり、このような特異な状況が可能になるのは、前置詞句の部分が既に語彙的に指定されているからであると指摘されている。また、前置詞句と内項との間には、語彙化に当たっての階層関係があり、前置詞句を含む付加詞は重要性、際立ちが最も小さい要素であり、実際の文では表現しないことも多い。それに対し、内項は通常目的語として文中に具現化されるので、際立ちが大きい要素である。際立ちが小さい要素は、際立ちが大きい要素より転換の生産性が大きいという主張がなされている。本稿では、影山・由本 (1997) の概念構造分析を基に「恵む」を再検討していく。

#### 4 概念構造による「恵む」の分析

本稿は、馮 (2020a) と同じ立場であり、「恵む」は名詞転換動詞であると考え。証拠となるのは(2)と(3)のような例である。「恵む」は「恵みを与える」を意味するので、動詞の意味には「恵み」の意味が含まれている。もし、「恵む」が名詞転換動詞であれば、具体的にどのような概念構造を持つのであろうか。「恵む」の概念構造を考察する前に、「与える」の概念構造を先に見ていく。

(10) 与える: [  $\text{ }_x$  CAUSE [GO [ [  $\text{ }_y$  TO- [  $\text{ }_z$  ] ] ] ]

(10) の概念構造は「XがYをZに移動させる」ということを表しており、X、Y、Zという三つの変項の部分に何もほかの概念が代入されていない。「送る」や「教える」などのような三項動詞も似たような概念構造を持つと考えられる。「与える」の概念構造を踏まえて、「恵む」は次のような概念構造を持つと考えられる。

(11) 恵む: [  $\text{ }_x$  CAUSE [GO [ [ 恵み  $\text{ }_y$  TO- [  $\text{ }_z$  ] ] ] ]

(11) の概念構造は「Xが恵みをZに移動させる」ということを表しており、X、Y、Zという三つの変項の中のYという変項の部分に「恵み」という名詞の概念が代入されている。これは、「与える」の概念構造と異なっているところである。このように分析すると、「与える」との違いが説明される一方、「恵む」という動詞自体が持っている選択制限も説明されると考えられる。

(10) と (11) に示すように、「恵む」は基本的に「与える」と似たような概念構造を持っている。唯一異なるのは、「恵む」にはYという変項の部分に「恵み」という概念が代入され、定着していることである。このような違いがあることによって、「恵む」は基本的に「与える」の意味を含意するのに対し、「与える」は常に「恵む」の意味を含意するとは限らないということが説明できる。

(2) と (3) に示すように、「与える」の受動形で「人」を修飾する場合、「与えられたもの」という「主題」の役割を果たしている内項を文の中で明示しなければならない。それに対し、「恵む」の受動形で「人」を修飾する場合、その必要はない。この違いも「恵む」の概念構造の中にすでに「恵み」という名詞概念が定着していることによって説明できる。

馮 (2020a) では、動詞「恵む」の内項として用いられる語彙は、一定の選択制限を受けていると

指摘されている。

- (12) a. 森は私たちにきれいな水や空気を恵み、生活を支えてくれました。  
b.<sup>#</sup> 観音様は子供のない老夫婦にゴミを恵んだ。  
c.<sup>#</sup> 海は私たちに災害を恵んだ。

(馮 2020a: 13-14)

(12) の例は文法的な例であるが、意味解釈される際に、(12b) と (12c) は意味的に不適格な文として排除される。(12a) においては、「きれいな水や空気」は「私たち」にとって生活する上で必要なものである。しかし、(12b) と (12c) の「ゴミ」と「災害」は「子供のない老夫婦」と「私たち」にとって必要のないものである。(12) からわかるように、「恵む」の内項として用いられる語彙は、着点 (受益者) のニーズに応えるものでなければならない、という選択制限を受けている。(12b) と (12c) が排除される原因は、「ゴミ」と「災害」が、動詞「恵む」の選択制限に違反しているからであると指摘されている。

しかし、動詞「与える」は、そのような選択制限を持っていない。例えば、(12c) の「恵む」を「与える」と入れ替えると、意味的にも適格な文になる。

- (13) 海は私たちに災害を与えた。

なぜ「恵む」がそのような選択制限を持ち、「与える」がそのような選択制限を持たないのかについて、「恵む」の概念構造にすでに名詞「恵み」の概念が代入されており、定着していることによって説明される。つまり、このような選択制限は、「恵み」が常に「受益者」にとって必要となるものという意味を表していることに帰結する。

このように、「恵む」が (11) のような概念構造を持つと仮定することによって、「恵む」と「与える」の意味的及び統辞的な違いは自動的に説明されるため、(11) の仮説は正しいと考えられる。

## 5 「恵む」の語彙概念構造の特異性

もし、本稿が提案している「恵む」の概念構造が正しければ、「恵む」は影山・由本 (1997) が指摘している語彙的複合語と異なる特徴を持つと考えられる。

(11) に示すように、「恵む」の概念構造においては、内項としての「恵み」の概念が代入されている。影山・由本 (1997) では、剥奪動詞や出産動詞は、内項の部分に名詞代入が起こっているという点で特異であり、このような特異な状況が可能になるのは、前置詞句の部分が既に語彙的に指定されているからであると指摘されている。しかし、「恵む」の概念構造において前置詞句の部分は特に語彙的に指定されていない。したがって、「恵む」という名詞転換動詞は、ほかの剥奪動詞や出産動詞のような内項に基づく名詞転換動詞とは異なり、内項の部分に名詞代入が起こっているということは前置詞句の部分が既に語彙的に指定されているということを前提としない。これは、「恵む」の

語彙概念構造の特異性であると考えられる。

名詞転換動詞「恵む」はもう一つの特異性を持つと考えられる。それは、能動文においては、文脈によって明らかにされていない限り、文の中で「恵み」の外部表示としての内項を明示しなければならず、受動文においては、文脈がなくても文の中で「恵み」の外部表示としての内項を明示する必要はないということである。

- (14) a.\* 少女は演奏する男性に恵んだ。  
b. 彼は恵まれている。

(14a)では、動詞「恵む」に定着している「恵み」の概念が内項として具現化されていないため、文として成立していない。それに対し、(6)では、「お金」が動詞「恵む」に定着している「恵み」の外部表示として具現化されているため、文として成立している。一方、(14b)の受動文の場合、動詞「恵む」に定着している「恵み」の外部表示として具現化されていなくても文として成立する。ほかの名詞転換動詞にはこのような特徴が見られないため、名詞転換動詞「恵む」の特異性であると考えられる。

ここで問題となるのは、なぜ「恵む」はそのような特異性を持つのかということである。これは、名詞「恵み」自体の性質に深くかかわっていると考えられる。二つ目の特異性については第6節で述べる。

まず「恵む」に定着している「恵み」と(6)の動詞「恵む」に定着している「恵み」の外部表示として具現化されている「お金」との違いを見ていく。「お金」は具体的なものを表しており、抽象度が低い。それに対して、「恵み」は受益者にとって必要となるものという意味を表しており、抽象度は「お金」より圧倒的に高い。(12)の「きれいな水や空気」と比べてみても「恵み」の抽象度が高い。したがって、「恵む」という名詞転換動詞は、ほかの剥奪動詞や出産動詞のような内項に基づく名詞転換動詞とは異なり、内項の部分に名詞代入が起こっているということは前置詞句の部分が既に語彙的に指定されているということを前提としない、という特異性を次のように仮定すれば説明されることが考えられる。

- (15) 名詞転換動詞に内項としての抽象度の高い名詞概念が代入される場合、前置詞句の部分が既に語彙的に指定されているということを前提としない。

(15)の仮定のポイントは、名詞の抽象度が内項としての名詞の概念の代入の自由度を左右する点である。名詞の抽象度が高ければ高いほど、内項としての名詞の概念の代入の自由度が高くなる。したがって、「恵み」のような抽象度が高い名詞の場合、前置詞句の部分が語彙的に指定されていなくても代入することができると考えられる<sup>4)</sup>。

## 6 「恵まれる」の特異性の語彙意味論分析

馮 (2020b) は、直接受動文の構造と間接受動文の構造とを比較しながら考察し、「恵まれる」を用いた受動文を二種類に分けている。

- (16) a. 少女はホームレスにお金を恵んだ。  
 b. ホームレスは少女にお金を恵まれた。
- (17) a. 神様があの夫婦に子宝を恵んだ。  
 b. あの夫婦は神様により子宝を恵まれた。  
 c. あの夫婦は子宝に恵まれている。

(馮 2020b: 47-48)

(16b) と (17b) の「恵まれる」を用いた受動文は第1種であり、構造的に直接受動文と同じ構造を持っている。(17c) の「恵まれる」を用いた受動文は第2種<sup>5)</sup>であり、第1種の受動文とは異なり、直接受動文と違う構造を持っている。「恵まれる」構文と第1種の「恵まれる」を用いた受動文との違いについては次のように指摘されている。

- (18) a. 「恵まれる」構文の主語になるものは能動文の「二格」であり、能動文の主語は付加詞になり、基本的に文中に現れない。  
 b. 「恵まれる」構文において、能動文の「ヲ格」が「二格」に変わるという格変化が起こっている。

(馮 2020b: 50)

馮 (2020b) は、「恵まれる」構文と第1種の「恵まれる」を用いた受動文が同じ能動文から生成されたと主張している。また、「恵まれる」構文に起こっている格変化は、投射原理に違反しているため、「恵まれる」構文が排除されるはずであったが、非文になっていないのは生成過程において、Halpert (2016) が指摘している「適用態」(applicative) という操作が適用することによって許されると主張している。さらに、「恵まれる」は自動詞化されているということも指摘されている。

Croft (1991) は典型的な事象が「因果連鎖 (causal chain)」という事象参与者間の相互作用によって捉えられると想定した。

- (19) a. John broke the boulder with a hammer.  
 b. John hand hammer boulder (boulder) (boulder)

· · · · ·  
 Vol Grasp Contact Change Result  
 State State

(Croft 1991: 166)

(19b) に示すように、John は因果連鎖の始点であり、それが hand や hammer などの事象参与者に次々と力を伝えていく。(19)の因果連鎖のモデルに基づいて、「恵む」は次のような因果連鎖によって捉えることができると考えられる。

(20) a. 少女はホームレスにお金を恵んだ。

b. 少女    お金    ホームレス    (ホームレス)    (ホームレス)

· ----- · ----- · ----- · ----- ·

Take	Move	Change	Result	
		State	State	

(20b) に示すように、「少女」は因果連鎖の始点であり、それが「お金」や「ホームレス」などの事象参与者に次々と力を伝えていき、「ホームレス」はお金のない状態からお金のある状態に変わり、その状態は継続する。(16b) にはお金の移動という意味が含まれているので、(16b) の第1種の「恵まれる」を用いた受動文も (20b) のような因果連鎖によって捉えることができると考えられる。しかし、(17c)は子供を持っている状態しか表していないため、「恵まれる」構文の場合、「因果連鎖」全体を捉えているのではなく、一部しか捉えていないと言える。この因果連鎖の一部は、(20b) のような因果連鎖の最後の結果の継続の部分に当たると考えられる。この部分の因果連鎖の始点は「ホームレス」であり、連鎖には「少女」が含まれていない。したがって、(18a)は「恵まれる」構文と第1種の「恵まれる」を用いた受動文がそれぞれ捉えている因果連鎖の違いによって説明される。

また、「恵まれる」構文は因果連鎖の一部しか捉えていないため、語彙概念構造も変わってきたと考えられる。

(21) 恵まれる

[<sub>STATE</sub> [ ]<sub>y</sub> BE AT-[ ]<sub>z</sub>]

(21) に示すように、「恵まれる」の概念構造は、(7a) の状態動詞の概念構造と同じである。これは次のような例によって証明される。

(22) a. 中国は資源に富んでいる。

b. あいつは社会的常識に欠けている。

c. 田舎の若者は文化的な娯楽に飢えている。

(馮 2020b: 51)

(22) は状態動詞の例である。(17c) には (22) との類似性が見られる。まず、意味的に充足あるいは不足の意味を表している。そして、形態的に同じく「ている」を使用している。最後に、すべて「二格」を伴っている。この三つの類似点から見れば、「恵まれる」構文における「恵まれる」は「富

む」、「欠ける」、「飢える」と同じように状態自動詞であると考えられる。もし、「恵まれる」構文における「恵まれる」が状態自動詞であれば、状態動詞と同じような概念構造を持つのは明らかである。また、(18b)における格変化も説明される。

一つ留意してほしいのは、「恵まれる」構文の場合、「二格」が現れなくてもよいということである。これは、ほかの状態自動詞とは違い、「恵まれる」の概念構造にすでに「恵み」の概念が代入されていることによって説明される。能動文の場合、「恵み」の外部表示を明示しなければならないのは、「恵む」は三項動詞であり、 $\theta$ 理論に従って項を明示しなければならないからであると考えられる。

しかし、なぜ「恵まれる」が自動詞化されたのかが問題となる。本稿は、捉えている因果連鎖の変化により自動詞化されたと考える。「恵まれる」構文は第1種の「恵まれる」を用いた受動文に比べて因果連鎖の結果継続の部分しか捉えていないため、状態動詞と同じような概念構造に変わった。概念構造が変わったことによって、統辞的な特徴も変わってきた。このため、自動詞化の根本的な原因は因果連鎖の変化である。また、自動詞化は因果連鎖が変わったことによって引き起こされた概念構造の転換で捉えられるのではないかと考える。

このように仮定すると、もう一つの問題が生じる。それは、なぜ「恵まれる」に対してだけそのような因果連鎖の捉え方が可能で、「与えられる」や「教えられる」では不可能なのか、という問題である。この問題について、本稿は「恵む」が名詞転換動詞であり、内項に名詞概念が既に代入されていることと深くかかわっていると考える。内項に名詞概念が代入されていることが因果連鎖の捉え方に影響を及ぼすかどうかについてさらなる検証が必要であり、今後の課題とする。

## 7 おわりに

本稿は、語彙意味論の概念構造と因果連鎖の理論に基づき、「恵む」と「恵まれる」を焦点として日本語における名詞転換動詞及び自動詞化を考察した。

「恵む」の概念構造に「恵み」の概念が代入され、定着しているため、「与える」と異なる概念構造を持っている。それによって、「恵む」と「与える」は意味的にも統辞的にも異なる特徴を持っていると考えられる。しかし、「恵む」の概念構造は特異性を持っている。その特異性は、名詞転換動詞に内項としての抽象度の高い名詞概念が代入される場合、前置詞句の部分が既に語彙的に指定されているということを前提としないと仮定することによって説明される。

「恵まれる」構文も特異性を持っている。直接受動文と同じような構造を持つ「恵まれる」を用いた受動文に比べて、意味的にも統辞的にも状態動詞と同じような特徴を持っている。したがって、「恵まれる」構文における「恵まれる」は自動詞化されていると考えられる。「恵まれる」構文は直接受動文と同じような構造を持つ「恵まれる」を用いた受動文に比べて因果連鎖の結果継続の部分しか捉えていない。これは、「恵まれる」の概念構造の変化を引き起こした根本的な原因であり、自動詞化は因果連鎖が変わったことによって引き起こされた概念構造の転換で捉えることができると考えられる。自動詞化のメカニズムはさらなる研究が必要であり、今後の課題とする。



## 注

- 1 Williams (1981) の提案により、内項 (internal argument) と外項 (external argument) とを区別するために、外項に下線を施した。
- 2 本稿では、「#」は意味的に不適格であることを指す。
- 3 本稿では、「\*」は非文法的であることを指す。
- 4 名詞の抽象度が高ければ高いほど、内項としての名詞の概念の代入の自由度が高くなるという仮説のさらなる検討が必要であるが、現時点ではほかの証拠がないため、今後の課題とする。
- 5 先行研究では、第2種の「恵まれる」を用いた受動文を「恵まれる」構文と呼称している。本稿においても同様に呼称する。

## 参考文献

- 影山太郎 (1996) 『動詞意味論一言語と認知の接点一』 くろしお出版。
- 影山太郎・由本陽子 (1997) 『語形成と概念構造』 研究社出版。
- 馮一峰 (2020a) 「日本語と中国語における受動構文の特異性に関する研究」 修士論文 京都外国語大学大学院。
- 馮一峰 (2020b) 「『恵まれる』構文の特異性」『言語と文化』第14号 pp. 43-52 京都外国語大学大学院。
- Croft, William. 1991. *Syntactic categories and grammatical relations: The cognitive organization of information*. The University of Chicago Press.
- Hale, Ken and Samuel J. Keyser. 1993. On argument structure and the lexical expression of syntactic relations. In *The view from Building 20*, ed Ken Hale and Samuel J. Keyser, pp. 53-109. Cambridge, Mass.: The MIT Press.
- Hale, Ken and Samuel J. Keyser. 1994. Constraints on argument structure. In *Syntactic theory and first language acquisition, vol. 1: Heads, projections and learnability*, ed. Barbara Lust, Margarita Suárez, and John Whitman, pp. 53-71. Hillsdale, New Jersey: Lawrence Erlbaum Associates.
- Halpert, Claire. 2016. *Argument licensing and agreement*. Oxford: Oxford University Press.
- Jackendoff, Ray. 1990. *Semantic structures*. The MIT Press.
- Larson, Richard K. 1988. On the double object construction. *Linguistic Inquiry* 19: pp. 335-381.
- Williams, Edwin. 1981. Argument structure and morphology, *The Linguistic Review* 1: pp. 81-114.



## 中国の「封」概念をめぐる一考察

—「封」と「トゥルク」の関わりを中心に—

広池 真一  
北洋大学

On Chinese ‘*feng*’: The relationship of ‘*feng*’ and ‘*tulku*’

HIROIKE Shinichi  
Hokuyo University

### Abstract

The Chinese word ‘*feng*’ means ‘investiture’. Originally it meant acts of Chinese emperors when they conferred titles upon various people and gods. This kind of acts transcended dichotomies of life/death, inside/outside, and sacred/secular. Although CCP as an atheist party, didn’t permit the *tulku* (*sprul sku*, or reincarnated lama) system of Tibetan Buddhism till 1980’s, Chinese authorities admitted the system from 1989, as they started regarding themselves as the successors of emperors. Chinese recognition of *tulku* is affected by the traditional thought of ‘*feng*’. This article aims to analyze Chinese official media’s discourses about ‘*tulku*’ and ‘*feng*’ in the era of Economic Reform, to reveal how CCP emphasizes the value of “Chinese tradition”. As a matter of fact, so-called “Chinese tradition” is deeply influenced by modern nationalist ideology.

## 0. はじめに

2019年以来、中国ではネットスラングとして「封神」の語が使われているという(百度知道(2021))。ネットスラングとしての「封神」は、「ある領域において卓越した水準に達した」というほどの意味(*ibid*)。ただし、本来は「神を封ずる」であるから「神をその役職に任命する(二階堂(1998),p.13)」の謂いである。これは、神々の世界が現実世界の反映であり、官僚機構と考えられたこと(武(1997),p.249-250)に起因する。

このネットスラングが登場したきっかけは、2019年に袁隆平らが、「共和国勳章」を授与されたことらしい。ネット上ではこの叙勳を「封神」に例える文章が散見された(圓仔(2021)等)。

確かに君主国の場合は、叙勳が中国語メディアで「冊封」と表現される場合がある。中国は共和国なので、「冊封」の語が使われるわけではないが、「叙勳」から「封神」が連想される。古めかしい言葉だが、中国人にとっては比較的なじみのある言葉のようである。

実際、中国製のアニメには「封神」という言葉や考え方が頻出するし、王朝を舞台にした華流ドラマでは豪華な「冊封」シーンが印象的だ。

とはいえ、「神」が、叙勳のように国家権力によって認定されるという想像力のあり方は、一神教文化圏はもとより、同じ東アジアの日本でも必ずしもなじみがない。

かかる想像力のあり方が中国の特徴的な事象だとするならば、これが現代中国において如何なる意味を持ち、現実にとどのような作用を及ぼすのかを考察することは、一定の意義を持つ可能性がある。よって、本稿では、中国における「封」の概念について検討したい。

## 1. 「封」概念

### 1. 1. 「封」の意味

『現代漢語大詞典』の記載では、「封」は「①境域、境界。②帝王が爵位、土地、称号などを下賜する。後に上級者が職務や名誉を下級者に与えること。からかいの意味を含む。③盛り土。④盛り土して墓にする。⑤帝王が壇を築き天地や四方山岳の神を祭る。⑥ふさぐ。派生して通行を禁止する、使用を許可しない。⑦封緘、包んで縛る。⑧助数詞。⑨姓。」の意味を持つ(現代漢語大詞典編委會(2007))。

本稿では、このうち②について扱う。君主が限定された範囲を持つ土地(=封土)を人に与えるというところから②の意味が出てくる。『漢語大詞典』は用例として『春秋左氏伝』「昭公二十九年」の「封為上公(封じて上公となす。下線部は筆者、以下同じ。羅(1986))」を挙げており、王朝時代の君主が爵を授ける際に使用することが分かる。

まさに「封建」の「封」であり、君主の存在しない革命後の中国では時代がかった語感がある。そのために「後に上級者が職務や名誉を下級者に与えること。からかいの意味を含む」とされる。

上記の②の意味での「封」に関連する言葉として「冊封」「冊立」がある。

「冊封」は『現代漢語大詞典』や『漢語大詞典』に「古代の帝王が封爵を皇貴妃、親王、親王世子、藩国等に与えること」とあり、ほぼ「封」の②の意味と同じである。「冊」は封爵の際に印とともに与えられる任命書のことをいう。

日本では「冊封体制」という近代以前の中国とその周辺諸国との関係を示す用語（西嶋(1962),p.276)が有名だ。周辺の非漢民族や周辺国（朝鮮、ベトナム、琉球、日本等）との関係を安定化させるために、中国の皇帝が朝貢して来た彼らの首長を冊封して築いた外交関係のことを言う。

「冊立」は『現代漢語大詞典』に項目がない。『漢語大詞典』によれば、「①古代の帝王が太子、皇后を封じて立てる。②任命と同じ。③支えて立たせる。」とある（羅(1986)）。厳密には「太子・皇后を封じること」が「冊立」で、「皇貴妃、貴妃、親王等を封じること」が「冊封」であるが、ドラマなどで太子や皇后を封じるときも「冊封」が使われることが多い。

## 1. 2. 「封」の主体

「封ずる」の主語は基本的に中国の天子である。これ以外の場合も、帝王相当の存在となる。

文学作品に「封神」が出てくる場合、その任命権者は玉帝など、神々の官僚機構で帝王に相当する神である。『封神演義』では姜子牙が「封神」するが、最高責任者は元始天尊だ。

外国の歴史を記述する際に「封」「冊封」が用いられる際、主語は君主である。例えば、欧州史の「叙任権闘争」は「主教和修道院長冊封権之争」等というが、この場合の主体は「冊封権」を争うローマ教皇と神聖ローマ皇帝になる。

このように、古めかしい（あるいはファンタジックな）語彙であり、それゆえ帝王のいない現代に使用される際は「からかいの意味を含む」ことがあるのは先に見た。

ただし、辛亥革命後に皇帝がいなくなった後も、民国政府はチベット仏教のトゥルク（ダライ・ラマなど）を任命しており、その際に「封ずる」「冊封する」という表現を使っていた。民国政府の指導者が皇帝に相当すると見立てられたからであろう（趙、常、欧(1996)、徐(2001)）。

現代でも、外国（日本、英国、タイ、パチカン等）の君主が主語となる場合は使用される（叙勲や名誉職の任命、立太子、立后等）<sup>2</sup>。カトリックでローマ教皇が聖人を列聖（中国語で「封聖」）する、枢機卿を叙任するなどの際に、「冊封」の語を使う。

## 1. 3. 「封」の対象と儀礼

もともと、帝王に「封じられる」対象は諸侯である。さらに、太子、后妃、王侯、その他文武の官員等が任命されるときにこの語が使用された。

思想集団や宗教教団の長も、この延長で処遇されている。孔子の子孫である「衍聖公」や、道教正一教の指導者である「張天師」も帝王が封じた。

また、冊封体制論で言及されるように、少数民族の首長や藩国の領袖も封の対象となった。朝鮮、琉球、ベトナムの国王、西南地区の土司、チベット・モンゴルの高位トゥルク等がこれに相当する。

王、妃、トゥルクなどが封じられる際、冊封儀式が挙行され、その際は称号や爵位が授与される旨が宣読され（読み上げられ）、被封者のランクに応じて冊（命令書）や印が下賜された。

また、死者や神々、自然物も「封」の対象になる。これは、淫祀/正祀という観念と関わる。何を祭るべきで何を祭るべきでないかを決めるのは帝王のつとめだからである。

中華帝国の政治理念上、祭礼は統治者が最も重視すべき項目だった（小島(1991),p.1873）。『礼記』

(曲礼)に「非其所祭而祭之、名曰淫祀。淫祀無福(祭るべきでないものを祭ることを淫祀という。淫祀は福がない)」といい、淫祀の対義語である正祀を確定することが国家の役割であった。

例えば、王朝のために戦争で斃れた将兵は昭烈祠に祀られ、政府機関による祭祀の対象になる。

特に宋代以降、民間で人気のある神(例えば関羽や媽祖)も政府機関が祭祀の対象とした。彼らは何度も王朝の冊封の対象になった。

民衆に「神を封ずる」という概念が知られるようになったのは、明末の小説『封神演義』の流行が大きく、またこれが中国の宗教の世界に大きな影響を与えた(二階堂(1998) pp.83-89)。

また、天子は天下の名山大川を祭り、諸侯(地方官)は担当地区の名山大川を祭ることが定められていたため(小島(1991),p.1878)、自然物も冊封・祭祀の対象となる。

## 1. 4. 生死・内外・聖俗を超越する「封」

上に見たように、「封」の対象は多様で、生死・内外・聖俗を超越している。

まず、対象者は生者、死者双方である。生きた諸侯も、顕彰すべき死者も対象である。

かつ、内外を問わない。皇帝は自分の家族も、臣下も、少数民族や外国の王も封ずる。

また、聖俗の双方とも「封」の対象となる。皇后、太子、王侯、諸侯は俗人であるが、張天師やトウルクは聖職者である。さらに、神々も対象となる。

これは、旧社会の中国の天子という存在の特殊性に起因している。理念的には天下の主は中国の天子であるから、周辺各地の領袖を統治者として認めることは皇帝のつとめであった。また、政権の重要事項が祭祀であり、封が祭祀と結びついている以上、死者や神々も冊封の対象である。内外の統治者を認めるので、少数民族地域の政教一致体制の領袖も冊封の例外ではない。

## 2. 「封」の歴史的展開

### 2. 1. 近代における変化

「封」とそれに関わる儀礼のあり方は、1911年の清朝の滅亡に至って再編成された。

確かに、変わっていない所もある。民国政府は、清朝と同様に孔子の子孫に特別な地位を授与した(1935年に「衍聖公」から「大成至聖先師奉祀官」と改称している)。また、チベット仏教のトウルクを冊封しており、国家に殉じた戦死者の祭祀は重視されている。

ただし、近代国民国家のルールが入って来ることによって、そこに改変が加えられた。

清末の知識人によって、個々の王朝を超えた偉人として孔子と漢民族の祖としての黄帝が再発見され、ナショナルな英雄として顕彰されるようになる。孔子は尊敬すべき対象とされ、国家統合と国民道德の普及のために儒家經典を読むことが推進された。黄帝に対する祭祀は特に重視され、1911年に孫文が臨時大総統に就任した時、陝西省の黄帝陵に赴いて祭祀を行っている。抗日戦争の際は、国民党と共産党の双方が黄帝陵の祭祀を行っている。他、炎帝や禹に対する官祭も行われた。

前近代においては、祭祀者のランクによって祭る対象が決まっていた、これに違反すると「淫祀」とされた。それが、国民全体が参加する祭祀という考え方が登場し、国のために死んだ忠烈祠の烈士のためのイベントは、一般人も参加しなければならなくなった(高山(2014),p.47-48)。

また、天下の主という考え方がなくなり、列強に蚕食されていく中で中華民国の版図が強く意識されるようになったのに合わせ、冊封や祭祀の性質も変わっていく。これらに対する意味づけが特定の領域に対する主張、近代的概念である「主権」と結びついたのだ。

例えば、民国は現在のモンゴル国、チベット自治区（当時のダライ・ラマ支配地域）に相当する領域に対する影響力を失うが、影響力を失った地域のトゥルクにも、冊封を行っている。1940年、ダライ・ラマ14世が即位した際、国民政府は蒙蔵委員会委員長をチベットに派遣した。その際に呉はこの即位式（坐床典礼）を主宰したのは自分で、中華民国によってダライ・ラマ14世が認定されたことを強く主張した（趙、常、欧(1996),pp.279-305）。

かつて、自然物が国家の祭祀の対象となる場合、それは「天下の名山大川」であった。しかし、民国期に政府が青海湖の祭祀を挙行しているのは、青海湖が中華民国の領域内にあり、しかも少数民族地域だからである（尚(2021)）。

1949年の中華人民共和国成立以降も、しばらくは黄帝や禹などの上古の帝王に対する官祭は続けられている。1950年に初めて「烈士（革命で犠牲になった人）」が正式な身分として定められたが（高山(2014),p.43）、これもある意味「王朝による冊封」という考え方を継ぐものといえよう。ただし、文革期は伝統的な文物が徹底的に破壊された。

## 2. 2. 現代に生きる「封」観念

文革が終わって、改革開放を経て伝統の価値が見直されるようになった。1980年代から「国学熱」といわれる中国古典の再評価がなされるようになり、レトロ趣味と相まって現在に至っている。それとともに政府当局による伝統的な祭祀や冊封儀式を模した儀礼も行われるようになった。

以下は、改革開放以降の政府主催の儀礼である。

表 改革開放後の政府主催の儀礼

儀礼	時期	対象	主催者	備考
黄帝陵祭典 （陝西省黄陵 県黄帝陵）	1980年～毎年 清明節	黄帝	陝西省人民政 府（ただし国 家指導者参 加）	対象は三皇五帝の一人で、漢族の祖とされる。道教などの神、中国の近代ナショナリズムのシンボルでもある。2006年 国家級非物質文化遺産。
伏羲大典 （甘肅省天水 市伏羲陵）	1988年～毎年 6月22日	伏羲	天水市人民政 府	対象は三皇五帝の一人。2006年国家級 非物質文化遺産。
炎帝陵祭典 （湖南省株洲 市炎陵県炎帝 陵）	1989年～毎年 清明節、國慶 節前後	炎帝	湖南省各級政 府	対象は三皇五帝の一人で、漢族の祖とされる。2006年国家級非物質文化遺産。

トゥルク坐床 典礼（チベッ ト地区各地各 寺）	1992年（以後 定期ではなく 転世者が認定 される毎に）	各 ト ウ ル ク	国家、省、自 治州等（トゥ ルク自身の級 別による）	対象はチベット仏教の「転世者」。「坐床」 は即位の意。冊封儀式を模している。
大禹陵典礼 （浙江省紹興 市大禹陵）	1995年～毎年 4月20日	禹	浙江省人民政 府と紹興市人 民政府（2007 年から国の文 化部と共催）	対象は伝説上の帝王で夏王朝の祖。2006 年国家級非物質文化遺産。
11世パンチェ ン・エルデニ 金瓶掣籤冊立 儀式（チベッ ト自治区ラサ 市大昭寺）	1995年11月 29日	パ ン チ ェ ン ・ ラ マ 11 世	國務院	対象はチベット仏教パンチェン・ラマ 10世の「転世者」。乾隆帝が定めた金瓶 掣籤で選定され、國務院から金印金冊が 贈られて冊立された。同12月に坐床典 礼挙行。冊封儀式を模している。
祭孔大典（山 東省曲阜市等 の孔廟）	2004年～毎年 陰曆8月27日 孔子生誕日	孔子	曲阜市委、市 政府（他、各 地の地方政 府）	対象は儒教の祖。曲阜で1984年から民 間の祭礼として復活、その後政府が関与 ようになる。2000年代から各地の 孔廟で地方政府による公祭が行われて いる。2011年国家級非物質文化遺産。
蚩尤大典（湖 南省花垣県蚩 尤文化園）	2009年10月 27日	蚩尤	湖南花垣県、 湘西土家族苗 族自治州	蚩尤は炎帝・黄帝のライバルだが苗族の 祖とされ、苗族知識人が「名誉回復（平 反）」を求めていた（楊（2007）、 pp. 121-137）。

（中国非物質文化遺産網（<http://www.ihchina.cn/chinadirectory.html>）、新聞記事などをもとに筆者  
が整理）

このような儀礼は、特に1980年代後半から始まっている。伝統的、復古調とはいえ、ナショナル  
イズムが強く意識されているのは民国期と同様だ。多くの儀礼で、台湾や香港からも来賓が招かれ、  
「中華民族（中国56の民族を含む）」の語が多用され、国家統一が強調される。

復古調の儀礼は、「封」の概念を現代中国人に意識させるのに役立っていると思われる。

アニメやドラマでも「封」が描かれることは多い。例えば『悟空伝』（2017年、郭子健監督、新  
麗傳媒股份有限公司、天津磨鐵娛樂有限公司等）、『姜子牙』（2020年、李焯・程騰・王昕・李夏監  
督、霍爾果斯綵條屋影業有限公司・中傳合道文化發展有限公司）のように、原作を大きく改変した



作品においても、「官僚機構としての天界の指導者が神々を冊封する」という「封神」のモチーフが見られる。ドラマ『如懿伝』（2018年汪俊監督、新麗電視文化投資有限公司）では皇后の冊封儀式のシーンが登場した。

さらに、「封」の観念は政治の場でも生きている。

例えば、中華人民共和国はパチカンと国交を持たず、2018年まで中国国内の司教の任命をめぐって長年対立してきた。これはまさに西洋史でいう「叙任権闘争」、「冊封権之争」だ。

2000年には中国政府とパチカンとの間で、列聖（封聖）をめぐる紛争が起きている。当時の教皇ヨハネ・パウロ二世が中国で殉教した中国人信徒と宣教師計120人を聖人に「冊封」した際に、中国政府がその中に中国侵略に加担した外国人や漢奸がいると批判した（国務院公報2000年第34号 [http://www.gov.cn/gongbao/content/2000/content\\_60536.htm](http://www.gov.cn/gongbao/content/2000/content_60536.htm)）。歴史観をめぐる問題であるが、ここに「祀るべきでないものを祀る」という淫祠の考え方を見るのは容易だ（同じことが日本の首相靖国神社参拝批判に対してもいえる）。

### 3. 「トゥルク」言説における「封」

ここまで、「封」概念の伝統が今に至るまで中国で強い影響力を持っていることを示した。

しかし、本質的な「中国文化」なるものが存在するわけではない。以下、実際の文脈で、この概念が現代中国においてどのように生起するかを検討していく。具体的には、現代中国の政府系メディアによって、チベット仏教の「トゥルク」が、「封」との関りにおいて、どのように語られてきたか、を取り上げたい。現代では中国政府が「冊封」を行うことはないが、唯一「冊立」しているのが「トゥルク」であり、ほぼ必ず「冊封」の歴史とセットで語られる存在だからである。以下、当局側のメディアにおける「トゥルク」に対する語り方を、当局者の何らかの政策や価値観の反映とみて、これを（当局の）「トゥルク」言説と呼び、分析を進める。

#### 3. 1. トウルクの冊封

言説の分析に移る前に、トゥルクとトゥルクの冊封についての概略を見ていこう。

「トゥルク(sprul sku)」とはチベット語で、仏身論のいうところの「化身」であり、ある高僧の転世者とされる者を指す。そのような高僧が円寂すると、生まれ変わりとしてされる子供が探索され、その高僧の生前の財産や（例えば寺院の住職といった）地位を受け継ぐ。中国語では「活仏」と言われるが、「活きている仏」を意味するわけではない。「化身ラマ」等の言葉も使用される。

転世の制度は、14世紀半ばにカルマ・カギュ派で始まり、その後他教派に模倣される。最も有名なのはゲルク派貫主のダライ・ラマで、この名跡は16世紀以降に形成された。彼らは過去においてチベットやモンゴルの政教一致体制の長となった。

その後もトゥルクの数は増え続け、様々なランクがいる。2016年に中国仏教協会が発表した数字によれば中国国内のトゥルクの数は1,311名である（趙(2016)）。

現代でもトゥルクは大きな権威を持っており、寺院や多くのチベット人家庭の仏間には高位トゥルクの写真が掲げられているのがよく見られる。

元朝以降の中国王朝は、チベット仏教の主要なトゥルクを冊封することを通して、チベットやモンゴルの間接統治を図った。民国政府も、チベット・モンゴルに対する主権の主張のため、高位トゥルクに対しても冊封を行っている。

中国共産党の政権下において、ダライ・ラマ14世を始めとするトゥルクたちは統一戦線の対象とされ、国家や地方の様々なポストに就いた。

1950年代後半からチベット各地で対中国反乱が頻発するようになり、チベット仏教に対する政府の弾圧が激しくなる。1958年（現在のチベット自治区に相当する地域では1960年）に「宗教民主改革」が行われた際は、トゥルクにも矛先が向き、「宗教封建特権制度」と結びつけられたため、トゥルクの転世制度を廃止することが定められた（美國之音中文網(2016)）。トゥルクたちは還俗を強制されたり、労働に従事させられたり、対中国反乱に関わって殺されたりした。

1959年には、最高位のトゥルクであるダライ・ラマの他、多数のトゥルクが国外に亡命した。ダライ・ラマ亡命後、チベット仏教の最高指導者となったトゥルクのパンチェン・ラマ10世は当局の勘気に触れて1964年に投獄された。1966年に文化大革命の時代を迎えると、寺院が閉鎖されるなど、チベット仏教の宗教活動自体がほぼ完全に禁止された。

### 3. 2. 政府系メディアに見られる「トゥルク」言説

以下に、改革開放以降の政府系メディアにおける「トゥルク」の語り方について検討する。

#### 3. 2. 1. 封建遺制としての「トゥルク」(1978年～1989年)

文革終了後、改革開放を経て徐々に宗教活動が認められるようになった。パンチェン・ラマも出獄し、宗教者に対する統一戦線工作も回復した。

当初は、当局はトゥルクが転世するという制度の復興を認めていなかった。例えば1983年に中央政府は「トゥルクの転世を認めず、転世した者は承認しない」と定めており（若爾蓋縣地方志編纂委員會（1996）,p.786）、青海省の統一戦線部の文件にも「トゥルクの転世は封建制度の産物であり1958年の宗教改革中に既に廃止した」等同様の内容が見られる（青海省統戦部（1984）,p.520）。

1984年のある地方志の記述においても、「仏教の「転世」制度、いわゆる「トゥルク」の転世は、その教義と封建統治階級の政治上の必要性からつくられた一種の独特の産物である。、、、統治階級が用いて労働人民を愚弄する手段に過ぎない（深、王、張、恆(1984) p.314）」と散々な評価である。

しかし、信徒の間では、物故したトゥルクの生まれ変わりを探索するという習慣が復活した（アジャ・ロサン・トップテン（2017）,p.229）政府は認めなかったが、取り締まりもできなかった。

このような情況下で、当局の態度も少しずつ変化してくる。

1985年、青海社会科学院の蒲文成の文章では「宗教界人士によれば、以後は転世制度を実行しない。、、、しかし、目下社会には一定数のトゥルクが存在しており、一般信者に対して非常に高い威信を持っていて、我が党の統一戦線の重要な対象である。（蒲(1985)p26）」

1987年1月の『廣東日報』に出た記事によれば、香港の記者の「将来まだトゥルクは存在しますか。もし今の代のダライやパンチェンが亡くなったら、政府と人民は次のダライ、パンチェンを



探しますか。全人代は彼らの地位を確認しますか。」という質問に対し、チベット自治区宗教局弁公室主任竇新庚は「中央はまだ許すとも許さないとも言っていない。、、、現在、チベットにはまだトゥルクの転世がある。ダライ、パンチェン以外にも、チベット各地にまだ何十人もトゥルクがいて、古いものも新しいものもいる。だから、チベットにはトゥルク転世制度はまだ存在するといえる。しかし二人の最高精神領袖（筆者注：ダライ・ラマとパンチェン・ラマ）を如何に処理するかについては、現在まだ言うことは時期尚早だ。（『廣東日報』1987.1.25）。」

1988年の共産党幹部養成学校（党校）が発表した文章では「我々は我が国チベット高原のいくつかの少数民族地区で、これらの地区の宗教問題に対処する際、例えば鳥葬、トゥルク転世、寺院開放や僧侶管理など宗教色があり民族の風俗習慣の問題に対処するにあたっては、真剣に検討し、慎重な態度をとるべきと考える（謝、楊（1988）p.82）。」という。

すなわち、中国当局は当初明らかにトゥルクの転世制度に対して否定的だったが、取り締まることもできず、次第に曖昧な態度になり、ついには政府による承認も検討されるようになった。

また、この時期、トゥルクの冊封に対する積極的な評価が見られる。体制側のチベット学者である牙含章は、1985年出版の書籍で、高位トゥルクを選定する際に清高宗（乾隆帝）が「金瓶」と「籤」を使ったこと（「金瓶掣籤」制度、1792年以降）について述べる。「世界観という点から見れば「金瓶掣籤」と「護法のシャーマニズム」は本質的に同じで、清高宗は無神論者でなかったので、死後の「魂の不滅」という基本的な観点を認めていたのである。、、、しかし、政治的な点から見れば重大な違いがある。、、、ダライ、パンチェンの任免大権が完全に清朝中央政権に集中したということである。これで、さらにチベット地方と清朝中央の従属関係が明確になった。（牙（2000）p.166）」

ここでは牙は「世界観」と「政治」の区別に注意をうながす。即ち、共産党員は無神論者として「金瓶掣籤」や転世のような考え方が信じられないが、清朝が高位トゥルクの人事権を握っていたことは、現代の中国によるチベット統治の根拠になるので重視すべきという主張だ。

パンチェン・ラマ10世は1989年1月24日にチベット・シガツェで開催された宗教人士座談会上で「宗教的伝統に基づき、中央は私にトゥルク確認の権利を与えた。私がトゥルクを確認して各級政府が承認する（班禪大師(1995)）」と発言した。その四日後に急逝する。

### 3. 2. 2. 政策の正当化としての「トゥルク冊封」言説(1989年から)

1989年1月28日、パンチェン・ラマ10世が円寂すると、國務院は1月30日に葬儀と転世問題に関する決定を公布した。それによると、生まれ変わりの探索、認定などの事柄は、タシルンボ寺の責任で、國務院に報告して、その批准を求めなければならない（『人民日報』1989.1.31.）。

中華人民共和国が新トゥルクに認可を与えることが正式に表明されたのは1989年が最初である（桑吉、凌(1997) p.33）。

1991年、國務院弁公庁から、39号文件「チベット仏教トゥルク転世に関する事項の通知」が出される（木里藏族自治縣志編纂委員會編(1995).p.906, 四川省甘孜縣志編纂委員會編(2002).p.452）。

國務院の通知をうけ、各地の宗教主管部門は試点工作、調査研究を行った上で、それぞれトゥルク転世に関する規定を制定した（梅(2000), p.117）。

これらの規定に従い、1992年には、カルマ・カギユ派の最高指導者であるカルマパの生まれ変わりが國務院によって認定批准されている。この時の政府系メディアの記事によると、「カルマ・カギユ派はチベット仏教中重要な教派で、仏教界に大きな影響力を持つ、この派のトゥルクは元、明、清時代に不断に進貢し、何度も皇帝の冊封を受けており、全チベットの政教統治権を握ったこともある。慣例によれば、チベットでは重要なトゥルクを認定するにはすべて中央政府の批准を経なければならず、この度もカルマ・カギユ派の宗教儀軌に照らして執行された。」(『人民日報』1992.6.29. 『西藏日報』1992.6.29.)

ここでは、政府系メディアに見られる「トゥルク」言説に明らかな変化が見られる。1980年代は「トゥルク」が否定的に語られ既に廃止された制度として描かれていたが、1992年に至って「過去に皇帝によって冊封を受けていたゆえに、現在も中央政府の批准を経なければならない存在」とされている。封建遺制を批判していた中国政府が、旧社会の皇帝と同じ立ち位置になったわけだ。

このカルマパの事例に見られるように、1992年以降、多くのトゥルクが各級政府の関与する典禮で坐床するようになる。おおよそのパターンとしては、①(政府主催であったり、政府主催でなかったりするがいずれにせよ) 仏教協会、政府、党、統一戦線部人員の祝電、列席があり、②政府(多くは宗教管理部門の幹部職員)によって、「〇〇政府〇〇部門が〇〇トゥルクの認定及び坐床を挙行することを同意する批復」を宣読し(読み上げ)、③「活仏(トゥルク)認定書」が新トゥルクに授与される。王朝の冊封儀式を模していることが分かる(より直接的な元ネタは民国時代の冊封儀式か)。

政府はトゥルクの認定にあたっては国外勢力の影響を受けてはいけないことを定めていたにも関わらず、カルマパ転世の際は亡命チベット僧が深く関与し、中国政府とダライ・ラマ亡命政府双方の承認を得ている。しかし、1995年以降、中国政府はより態度を硬化させた。

1995年5月14日に亡命中のダライ・ラマがパンチェン・ラマの生まれ変わりを中国政府よりも先に発表すると、中国政府は高位トゥルクの認定には中央政府の批准が必要であるという宗教儀軌と歴史定制に、ダライ・ラマがのっとっていないとして批判した(『北京週報』1995.33(22) p.4など)。この年5月から中国側パンチェンが坐床した12月まで、中国政府と亡命政府は双方のメディアを最大限に使用して批判合戦を行ない、双方はトゥルク認定の最高権威が自分であることを対内的、対外的に主張し続けた。ここに来て、中国政府の宗教者の管理問題が、主権の問題と結びついたわけだ(カトリック司教の叙任権闘争と同じである)。

中国政府はすぐに政府系メディアを通してこのダライ・ラマによる選定に反発した。まず、5月17日國務院宗教事務局スポークスマンが記者会見を開いて反論した。この発表は1995年5月18日『人民日報』に第一面にのり、複数の政府系メディアに掲載された(『北京週報』日本語版33(22)5.30.、英語版6.5.、China's Tibet No.4.)。

ここでは、ダライ・ラマによるこの選定に正統性がないことの根拠を述べている。それによれば、「ダライ・ラマとパンチェン・ラマの称号は清朝中央政府が冊封したものであり、その選定は乾隆帝が1792年に公布した「金瓶掇瑣」の方法によらなければならない。それは数人の候補者を探して釈迦像の前で金瓶の籤をひいて決める方法であり、その後中央政府の認可を受ける。ダライ・ラマ

14世本人も1940年当時の国民党の中央政府の批准によって位を継承している」とする。

1995年5月19日の『人民日報』に「清朝金瓶掣籤制度的設立及其歴史意義」という中国チベット学研究中心の廖慶焯の論文が掲載され、チベットに中央政府の権威を確立し、仏教の教義にも合致した「金瓶掣籤」の歴史的意義が論じられる(廖(1995))。

以後、政府系メディアでは同じような内容が蒸し返される。

どれも王朝時代の冊封から中国政府によるトゥルク承認を正当化しており、高位トゥルクの選定に対しては中央政府の権威の下「金瓶掣籤」が用いられなければならないとする。

これは、1985年の牙含章の考えと異なる(彼は1989年に逝去)。牙は、「世界観」と「政治」の区別を強調し、「金瓶掣籤」は無神論者の考えとは異なると述べていた。しかし1995年に至って、政府自らが「金瓶掣籤」を使用しなければならないことを強く主張するようになったのである。

チベット亡命政府は中国政府の主張に反論するプレス・リリースを6月15日に出している(<http://www.tibet.com>)。ここでは、まず「ダライ・ラマ」、「パンチェン・ラマ」の称号が中国中央政府によるものという主張を否定し、「ダライ・ラマ」はモンゴルのアルタン汗に贈られた称号であり、「パンチェン・ラマ」は15世紀から代々タシルンポ寺僧院長の称号で、16世紀ダライ・ラマ5世によってトゥルクと認められたとする。また、清とダライ・ラマ政権は「施主一応供僧」の関係にあり、ダライ・ラマ、パンチェン・ラマ選定のために「金瓶掣籤」が確立された事実もないとし、中国政府の「金瓶掣籤」によるパンチェン・ラマ選定は認められないと述べる。

これに対しても中国政府から執拗な再反論が加えられるが、注目されるのは、ダライ・ラマ側の「施主一応供僧」という主張を中国政府側が全く受け入れていないことである。

満洲人の征服王朝である清朝の支配体制に、漢民族的な論理とチベット仏教的な論理とがあることは、早くより指摘されてきた(坂野(1973),p.88)。漢民族的な論理では、チベットは冊封を通じて清朝と結びついているが、チベット仏教的な論理では、清朝皇帝とダライ・ラマとの関係は布施する檀家と布施を受ける僧侶との関係となる(石濱(2001),pp.1-24)。均質なナショナリズムを建前とするとそのようなダブルスタンダードが許容されなくなるわけだ。

結局、同年11月になって、実際にこの「金瓶掣籤」の儀式が挙行された。11月29日、ラサ、ジョカン寺で金瓶掣籤のくじ引きが行われ、ギェンツェン・ノルブ少年が中国政府公認のパンチェン・ラマ11世と定められる(ダライ・ラマが選定したゲンドゥン・チョェーキ・ニマ少年はくじの候補者の中に入っていなかった)。同日国務院が彼を認定し、漢蔵両文の金冊金印が国務院代表羅幹から授与される(『人民日報』1995.11.30)。このパンチェン・ラマ11世ギェンツェン・ノルブは国務院が批准した二人目のトゥルクであり、中国共産党政権によって冊印を受けた初めてのトゥルクである。

ここでは、金冊金印の授与などによって、他のトゥルクよりもさらに王朝の冊封儀式に近い形式がとられている。

この時パンチェン・ラマに対して用いられたのは、「冊封」ではなく「冊立」という言葉であるが、先述の通り、意味は「冊封」と変わらない。トゥルクは現代中国において、唯一「冊封」に近い言葉を使われる対象となった。

以後、政府系メディアにおいては、「歴代王朝はダライ・ラマ、パンチェン・ラマ等の高位トゥルクを冊封し、その選定には乾隆以降は金瓶掣籤を用いたのだから、現代の中国政府もその方式を踏襲する」という語り方が反復され、定着する（例えば、陳(2021)等）。

中国知網（CNKI）で「金瓶掣籤」を検索すると、この語についての1982年から2021年までの論文229件がヒットするが、1988年以前はほとんど書かれておらず（2件）、1995年が26件、1996年が56件と突出している。

中国政府によるトゥルク承認や金瓶掣籤の使用は、法規の面でも根拠づけられた。

2004年公布（2017年改訂）「宗教事務条例」では、「第五章宗教教職人員」の第三十六条に、「チベット仏教のトゥルクの継承は、仏教団体の指導の下、宗教儀軌と歴史定制ののっとり行い、省級以上の人民政府宗教事務部門あるいは省級以上の人民政府が批准する。」と記載されている（これに続いて、「カトリックの司教はカトリックの全国性宗教団体が國務院宗教事務局に報告してその記録に載せる。」とあるのは、トゥルク認定の問題が「叙任権闘争」と似た性質のものという中国政府の認識を示唆する。国家宗教事務局のサイト<http://www.sara.gov.cn/flfg/316122.jhtml>より。)

2007年公布の「藏傳佛教活佛轉世管理辦法（チベット仏教トゥルク転世管理辦法）」では、トゥルク転世の際に政府に許可申請が必要であることや、認定の後に政府の批准が必要であることが定められている他、第八条に「歴史上、金瓶掣籤を経て認定されるトゥルクは、その生まれ変わりの認定で金瓶掣籤を実行する」と見える（中国政府のサイト[http://www.gov.cn/flfg/2007-08/02/content\\_704414.htm](http://www.gov.cn/flfg/2007-08/02/content_704414.htm)より。).

2010年にチベット・ロカのデドゥ（徳珠 sde drug）トゥルクが認定された際にも金瓶掣籤が用いられた。この際「藏傳佛教活佛轉世管理辦法」が定められて後に初めて金瓶掣籤で選ばれたトゥルクとして報道された（『環球時報』2010.07.12など）。

### 3. 3. 「トゥルク」言説の変遷に関する考察

以上、二期に分けて、改革開放期中国当局の「トゥルク」に対する語り方の変化を検討した。第一期（1978～1989）は、まだトゥルク制度を廃止するという規定が生きており、封建遺制として否定的に語られた。しかし、第二期（1989～）にトゥルクは過去の王朝によって冊封された歴史を持つがゆえに政府の承認を得なければならない存在とされ、主権の問題と結びつき、法的な裏付けをもって定着し、「金瓶掣籤」の役割が強調されて現在に至る。

この変化の背景には何があるのだろうか。

まず、1980年代末から1990年代は、当局による宗教管理が強まった時期であることに注意すべきである。1989年の天安門事件で趙紫陽総書記が失脚してからは、政治的なりべラルな改革が頓挫し、中央のチベット政策も硬化した（毛里(1998),p.151）。

又、1990年頃から、宗教人員（僧侶、道士、神父、アホン等）に対して証書の発行を始め、証書を持たないものには宗教活動を認めないという条例が各地で始まる。政府のトゥルク管理はこのような宗教人員管理と時期的にも内容的にも平行している。

また、80年代後半以降にチベットや新疆で起こった反中国的な運動への対処から、寺院や宗教者

に対する統制が強まった (ibid, pp.162-163)。

一方で、改革開放から10年以上を経て、既にトゥルク転世を取締りの対象にすることはできなくなっていたばかりか、公的な許容度も相当高まっていた。アジャ・リンポチェの考えでは、中国当局はトゥルク認定を通してダライ・ラマとチベットの寺院とのつながりが強化されるのを恐れ、この制度を承認するに至った (アジャ・ロサン・トゥブテン (2017) p.229-230)。

#### 4. 結語

現代中国において、「封」の観念は生きており、中国政府の行動に影響を及ぼしている。現在の「封」概念は、伝統的思想と近代思想 (特にナショナリズムに関わる思想) とのアマルガムである。

もとは天子を主語とするため、「封」の対象は内外、生死、聖俗を問わなかった。現代中国において復古的な儀礼が挙行される場合においても、その対象に生死、聖俗の区別はない。

一方で、現代では内外のボーダーは強く意識され、伝統的な儀礼や宗教者に対する管理が主権概念と結びついている。

#### 注

<sup>1</sup> なるほど、日本にも菅原道真、徳川家康や戦前の靖国神社「英霊」など、国家によって認定された神々は存在する。日本のサブカルチャーの領域においても「封神」観念がないわけではないが、「封神」が意識される機会は中国ほど多くない。

<sup>2</sup> この用法は特に書き手が大陸以外 (特にバチカンやマレーシアなど君主国の華語メディア) の場合に多い (ただし、ここでは主として大陸の中国語を考察の対象とする)。

<sup>3</sup> 「チベット」は、現在のチベット自治区 (西藏自治区) だけでなく、青海省及び四川省・甘肅省・雲南省のチベット族自治区を含む。

#### 参考文献

- アジャ・ロサン・トゥブテン [アジャ・リンポチェ八世] (2017) 『アジャ・リンポチェ回想録 モンゴル人チベット仏教指導者による中国支配下四十八年の記録』 (馬場裕之訳) 集広社、福岡
- (阿嘉・洛桑図旦(2013) 『逆風順水：阿嘉仁波切的一生和金瓶掣籤の秘密』 大塊文化、臺北)
- 百度知道(2021) 「封神什麼意思網絡用語」  
<https://zhidao.baidu.com/question/432862355620523652.html>
- 班禪大師(1987) 「班禪大師在中國佛教協會第五屆全國代表大會會議上的講話」 『法音』 1987年第3期/総第37期。
- 班禪大師(1995) 「論西藏佛教與活佛轉世問題」



<http://www.xizang-zhiye.org/b5/arch/writings/banchan/banchan6.html>

坂野正高(1973)『近代中国政治外交史』、東京大学出版会。

蔡志純、黄顯編著(1992)『活佛轉世』、中国社会科学出版社、北京。

才仁東智(2002)「試論藏區部落社会制度与習慣法的内容及其特点」張濟民主編『藏族部落習慣法研究叢書之三 諸說求真 藏族部落習慣法專論』青海人民出版社、西寧。

陳金龍(2002)「論1958-1960年中國宗教制度民主改革」『世界宗教研究』200年第3期。

[http://www.usc.cuhk.edu.hk/wk\\_wzdetails.asp?id=1942](http://www.usc.cuhk.edu.hk/wk_wzdetails.asp?id=1942)

陳立健(2021)「活佛轉世制度规范化是藏傳佛教健康发展的必然要求」『中国民族報』2021年1月19日 <http://www.sara.gov.cn/zjyj/353346.jhtml>

迪慶藏族自治州民族宗教事務委員會編(1994)『迪慶藏族自治州宗教志』中国藏学出版社。

甘孜州志編纂委員會(1998)『甘孜州志』四川人民出版社。

Gearing, Julian(2000) The Hunt for Baby Buddhas: Beijing has joined the game. Asia Week. 26(41).

石濱裕美子(2001)『チベット仏教世界の歴史的研究』東方書店。

鎌田正、米山寅太郎(2013)『新漢語林』第二版 大修館書店。

小島毅(1991)「牧民官の祈り-真徳秀の場合-」『史学雑誌』1991年100卷11号 pp. 1873-1906

廖慶煒(1995)「清朝金瓶掣籤制度的設立及其歷史意義」『人民日報』1995.5.19.

羅竹風主編(1986)『漢語大詞典』漢語大詞典出版社、上海。

美國之音中文網(2016)「解密時刻：尋找班禪喇嘛轉世靈童(2016/04/30)」

<https://www.youtube.com/watch?v=3Sfh0k9uXJY>

梅進才主編(2000)『中國当代藏族寺院經濟發展戰略研究』甘肅人民出版社、蘭州。

毛里和子(1998)『周縁からの中国 民族問題と国家』東京大学出版会。

木里藏族自治县編纂委員會編(1995)『木里藏族自治县志』四川人民出版社、成都。

村田雄二郎(2000)「国民統合における宗教と情報化」中牧弘充編『現代世界と宗教』国際書院。

二階堂善弘(1998)『封神演義の世界 中国の戦う神々』大修館書店。

西嶋定生(1962)「六～八世紀の東アジア」天津透他編『岩波講座 日本歴史2』岩波書店。

蒲文成(1985)「關於藏傳佛教活佛轉世制度的幾個問題」『社會科學參考(青海)』, 第18期(西寧, 1985.9)

青海省民族事務委員會(1984)『民族宗教工作文件選編』。

青海民族学院民族研究所(1994)『青海民族宗教工作』青海人民出版社、西寧。

青海省地方志編纂委員會(2000)『青海省志·宗教志』西安出版社、西安。

若爾蓋地方志編纂委員會(1996)『若爾蓋県志』民族出版社。

桑吉、凌海成(1997)「中國佛教協會藏傳佛教工作委員會(擴大)會議在京举行」『法音』1997年第10期(総第158期)。

尚季芳(2021)「民國時期祭祀青海湖研究」『中國邊疆史地研究』2021年第3期

[http://hrc.cass.cn/xsdt/qycg/202112/t20211207\\_5379886.shtml](http://hrc.cass.cn/xsdt/qycg/202112/t20211207_5379886.shtml)

深林、王基信、張兆明、恆秀編撰(1984)『同徳縣志』同徳縣志編委會印。

- 四川省德格縣志編纂委員會編(1995)『德格縣志』四川省人民出版社、成都。
- 四川省甘孜縣志編纂委員會編(2002)『甘孜縣志續編』四川人民出版社、成都。
- 索南吉、劉堡(1988)「拉卜楞寺歷世嘉木樣活仏与西藏仏教的聯系」『法音』1988年第10期。
- 高山陽子(2014)「英雄の表象 -中国の烈士陵园を中心に」『地域研究』14(2) pp.43-58
- ウェーバー、マックス(1971)『儒教と道教』(木全徳雄訳)創文社(Weber, Max(1920) Studienausgabe: Die Wirtschaftsethik der Weltreligionen I. Konfuzianismus und Taoismus)
- 武雅士 (Arthur P. Wolf) (1997)「神、鬼和祖先」『思与言』第35卷第3期, 1997年9月, pp.233-292(Wolf, Arthur P. "Gods, Ghosts, and Ancestors." Religion and Ritual in Chinese Society. Ed. Arthur O. Wolf. Stanford: Stanford University Press, 1974. pg. 131-182.)
- 現代漢語大詞典編委會 (2007)『現代漢語大詞典』上海辭書出版社、上海。
- 謝佐、楊大同(1968)『宗教原理與政策』西寧:中共青海黨校、西寧。
- 徐正光主编 (2001)『民國以來蒙藏重要政策彙編』蒙藏委員會, 臺北。
- 牙含章(2000)『班禪額爾徳尼傳』華文出版社、北京。
- 楊学政主編、雲南社会科学院宗教研究所著(1999)『雲南宗教史』雲南人民出版社。
- 楊志強(2007)「『炎黃子孫』と『中華民族』: 近代中国における国民統合をめぐる二つの言説」『慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要: 社会学心理学教育学: 人間と社会の探求』No.64(2007) pp.121-137
- 于本源(1991)『清王朝的宗教政策』中國社会科学出版社、北京。
- 雲南省維西傈僳族自治縣志編纂委員會編(1999)『省維西傈僳族自治縣志』雲南民族出版社、昆明。
- 圓仔 (2021)「『功勛』何以封神? 在八位“共和國勛章”獲得者的背後, 是這三個戰場啟示」  
<https://new.qq.com/omn/20211104/20211104A0BRAE00.html>
- 趙学毅、常為民、欧声明編(1996)『清代以来中央政府对西藏的治理與活佛轉世制度資料彙集』、華文出版社、北京。
- 趙釗(2016)「中國境内到底有多少活佛? 终于有了准确數字」『中國西藏網』2016-04-28  
<http://app1.tibet.cn/news/focus/1461825879451.shtml>
- 中共中央文献研究室綜合研究室國務院宗教事務局政策法规司(1995)『新时期宗教工作文献选编』宗教文化出版社、北京。

(北洋大学准教授)



# 否定極性のlongにおける適格性について<sup>1</sup>

福嶋 剛司  
北洋大学

Well-formedness of *long* Phrases

FUKUSHIMA Tsuyoshi  
Hokuyo University

## Abstract

This article addresses the following two issues about *long* in English. The paper gives a uniform account of the structural difference between “bare *long*” and “a long time” based on the operation Labeling Algorithm (Chomsky 2013; 2015) and the assumption D\*P analysis (Fukushima 2021). The account captures both behaviors of *long* with degree words and in NPI-environments. The analysis also illustrates the difference between “bare *long*” sentences always get interpreted with narrow scope, and “a long time” sentences can only be interpreted with wide scope. As will be shown, such an approach is superior to previous ones in that it covers not only the standard accounts (where “bare *long*” is simply a kind of NPI expression and the one with a degree word is an exception to this rule.), but also those structures akin to that of degree inversion.

## 1. はじめに

Huddleston and Pullum (2002: 827) や辞書の分類等で一般的に否定極性表現 (Negative Polarity Item: NPI) として記述される、いわゆる副詞 long (以下 *bare long*) は (1) のように否定・疑問の生起環境のみで適格と見なされており、一見何の問題もないように感じられる。

- (1) a. Have you been waiting long?
- b. Fortunately, we haven't been waiting long.
- c. Fortunately, we haven't been waiting very long.
- d. \*Unfortunately, we've been waiting long.
- e. \*Unfortunately, we've been waiting very long. (Kayne 2021: 151)

しかし、大まかには同じ意味を表すことが可能にも関わらず、(2c) のように a long time のように形容詞的に名詞句内に生起させた場合には、否定極性という性質はなくなることが知られている<sup>2</sup>。

- (2) a. Have you been waiting a long time?
- b. Fortunately, we haven't been waiting a long time.
- c. Unfortunately, we've been waiting a long time. (Kayne 2021: 151)

また、(1) のようにいわゆる副詞の long であっても、(3) にあげるような程度表現 (degree word) を伴うことにより、肯定の平叙文での生起が可能となる。

- (3) a. Unfortunately, we've been waiting **too** long.
- b. Unfortunately, we've been waiting **so** long that we've decided to leave.
- c. Unfortunately, we've been waiting **as** long as we can stand it.
- d. Unfortunately, we've been waiting long **enough**. (Kayne 2021: 152 emphases added)

さらに問題となるのが、環境によっては以下のように、*bare long* と a long time において解釈に違いがあることである。

- (4) a. I haven't been in Japan for long.
- b. I haven't been in Japan for a long time. (井上・赤野 2018)

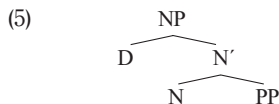
(4a) の場合は、「私は日本に来てまだ日が浅い」といったように、否定辞 n't の作用域が *bare long* にかかっており、(4b) の場合は、「私は日本を離れて長い」といったように、否定辞の作用域が動詞句にかかっている。こういった差異について、(1), (2) を同じものだと捉えていると上手く説明がつかない。

本稿ではKayne (2021) の提案を基に、bare *long*は否定極性の生起環境だけでなく程度表現を伴った環境で、どうして適格とみなされるのか、また (4) のようにbare *long*とa long timeの場合で、どうして解釈に違いが見られるのかということについて議論する。特にこれらの問いをChomsky (2013; 2015; 2019) で提案されている標示付けアルゴリズム (Labeling Algorithm)、福嶋 (2021) で提案したD\*P仮説を基に検証する。

2節では、a long timeといった名詞句というものがどのように分析されてきたのか先行研究を概観し、名詞句の構造がNPではなくDPであることを考察する。3節では、本稿で採用するフェイズ理論について議論し、4節では、3節の理論を踏まえてChomsky (2013; 2015) で提案された標示付けアルゴリズムについて議論する。5節では、名詞句はChomsky (2019)が提案する仮説と平行関係を持つ構造を成していると提案した福嶋 (2021) を基に本稿で取り扱うlongの派生が収束することを論じる。6節は結語である。

## 2. 先行研究

生成文法研究において名詞句は従来X-bar理論内において概略以下のようにNP指定部の位置を占めるものとして分析されており、決定詞は主要部としてX-bar構造を成さないとされてきた。



名詞を主要部とし、冠詞などの決定詞がそれに付随している形というのは、直感的には一見正しいと感じられる。しかし、この分析方法ではNP指定部にJohn'sのような属格名詞句やhisのような属格代名詞が同じように併合されることになる。その結果、この分析方法では、(6a) のように属格を示す「's」の前に名詞句二つが等位接続したときや、片方の代名詞が属格になっていない (6b) の場合、属格名詞句と属格代名詞が混在して等位接続した (6c) の場合で、それぞれ文法性に差が生じることを説明できない。

(6) a. Jack('s) and Jill's house

b. \*we and their house (cf. our and their house)

c. ?\*my and Jack's house

(Bernstein & Tortora 2005: 1229-1230)

他にも (5) の構造で問題となったのがN'削除 (N'-deletion) と呼ばれる現象である。これは、例えば (7) のように言語において音韻上の削除が適用されるのは、最大投射に限ったものであると観察されてきたことにより問題となった。

(7) VP Ellipsis

- a. Mary talked to Bill and Tom did, too.
- b. \*I don't know if Leslie has ever studied karate, and I don't know if Gwendolyn has ever \_\_, either.<sup>3</sup>
- c. I don't know if Leslie has ever studied karate, and I don't know if Gwendolyn ever has \_\_, either. (Sag 1978: 148)

(7a) では、VP全体が削除されているため適格であると判断されている。それに対し (7b) では、付加詞 (adjunct) として副詞 everがVP内に存在しているため、VP全体は削除されていないことを示している。その証拠に、(7c) の場合は、副詞 ever がTPに付加されており、VPには影響がなくVPは全体が削除できているため適格である。以上のようなことを加味し、次のような一般化が成されている。

(8) Ellipsis condition

Only maximal projections can undergo ellipsis. (Radford 2009: 64)

この条件が正しいとすると、N'削除では指定部を残した中間投射が削除されており、(8) の条件に違反し、また名詞句以外の範疇とは違う削除規則となり理論的統一性に欠け問題となっていた。

この問題に対し、Abney (1987) は、決定詞がNPを補部とするDP仮説を提唱し、次の構造で分析を行った。



この仮説により、属格を表す「's」は、統語上独立した形態素としてD主要部の位置を占めることが可能になったため、先の (7) で挙げたような属格名詞句の等位接続などが上手く捉えられるようになったのである。

またAbney (1987) は決定詞が (10) のように単独で、主語や目的語の位置に現れることが可能であるのは、NP全体が省略されているためだと説明している。<sup>4</sup>

- (10) a. [<sub>DP</sub> that [<sub>NP</sub> e ]] was a nice idea
  - b. I would like [<sub>DP</sub> some [<sub>NP</sub> e ]]
  - c. John thought about [<sub>DP</sub> those [<sub>NP</sub> e ]]
- (Abney 1987: 74 partially changed)

この説明はPostal (1966) やRadford (2016) も同様の仮説で、代名詞をD主要部として分析・議論

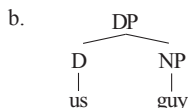
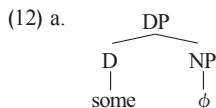
しており次の証拠を挙げている。

- (11) a. did you see us guys
- b. he did not insult you *Communists*
- c. you *troops* will embark but the other troops will remain.

(Postal 1966 cited in Kayne et al. 2014: 19)

この例では、代名詞はD主要部であり、その補部にあるNP部分には具体的な内容を示す名詞要素を表すことが可能であると説明しており、先のAbneyの例とも一致している。

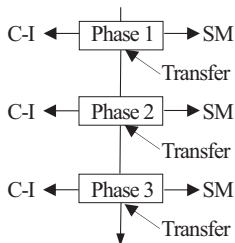
以上のことから、決定詞のみの場合や代名詞の後ろに名詞がある場合は実際には次の (12a, b) のような構造になっていると考えられ、名詞句の構造はNP分析よりもDP分析の方が正しいと考えられる。



### 3. フェイズ理論

極小主義プログラムにおいて仮定されているフェイズ理論は概略以下の通りである。Chomsky (2004; 2007; 2008) は、言語構造の構築において併合が反復適用された統語構築物 (Syntactic Object: SO) が (13) のようにフェイズと呼ばれる統語上の段階ごとに転送 (Transfer) されることで最終的に表現が形成されるとしている。またSOは転送時、意味解釈を担うC-Iインターフェイスと音声解釈を担うSMインターフェイスそれぞれに情報が送られると主張している。

(13) Phase-by-Phase Derivation



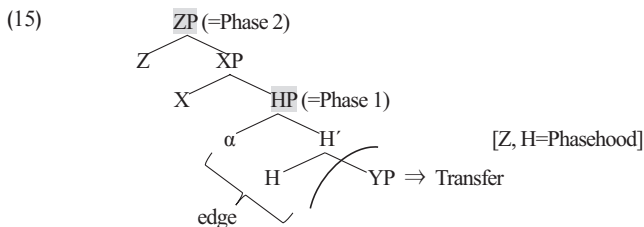
(Totsuka 2015: 4)

そしてこのフェイズは、(14) にあるように統語上でフェイズ主要部 (phasehood) の投射が2つ完成した段階で、1つ目のフェイズ主要部の補部がインターフェイスに転送され、以降この領域へのアクセスを不可能にする(Chomsky 2001: 13-14)。

(14) Phase Impenetrability Condition (PIC)

The domain of H is not accessible to operations at ZP; only H and its edge are accessible to such operations. (Chomsky 2001: 14)

この定義を樹形図で示すと以下の通りである。(15) にあるように、フェイズが2つ生じた段階ZPにおいて1つ目のフェイズ主要部Hの補部YPが転送されることになる。(フェイズが形成された箇所を網掛けで示す。)



このフェイズの概念自体は、以下の厳密循環の条件を満たすために設計されている。

(16) Strict Cycle Condition

No rule can apply to a domain dominated by a cyclic node A in such a way as to affect solely a proper subdomain of A dominated by a node B which is also a cyclic node

(Chomsky 1973: 243)

つまり一度、より大きく包括的な循環へ移った後では、規則をより早い段階の循環に戻って適用することは不可となるのである。

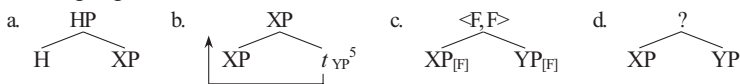
当時この条件の循環節点はどの範疇であるのかということが大きな問題であったが、フェイズにおいては、命題が完成する単位という基準からフェイズ主要部の範疇をCとi\*であるとする(Chomsky 2000: 107)。さらにChomsky (2004; 2005; 2008) はDもフェイズ主要部であると議論しており、本稿ではこの提案を基にDをフェイズ主要部とし議論する。

#### 4. 標示付けアルゴリズム

この節では、Chomsky (2013, 2015) で提案されている標示付けアルゴリズムについて議論する。上の議論で、SOがどのように構築され派生が完了するのを見えてきた。しかし、各インターフェイスに対して、SOがそれぞれ音韻的・意味的のどのような特性であるのかを同定するの必要があり、この状態では情報が不足している。その役割を果たすのが標示 (label) であり、次のようにして標示が

決まるとしている。

(17) Labeling Algorithm



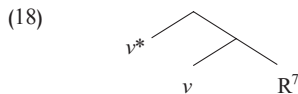
(Chomsky 2013: 43, Goto 2017: 34)

標示付けアルゴリズムは転送の一部として機能する最小探査 (minimal search) であり、最小計算のための第三要因原理<sup>6</sup>によって説明される。(17a) のように主要部と句が併合された場合には、そのSOは主要部の標示が投射される。それに対し句同士が併合された場合に標示付けができる可能性は (17b, c) のどちらかのみである。(17b) のように片方のSOが移動した場合には、集合{XP, YP}の中にすべての生起環境 (occurrence) が関係項 (term) になっているのは残ったXPのみであるため、標示が正しく決定される。また両方の構成素が移動せず残った場合には、(17c) のように素性 (人称・性・数を表す  $\phi$  素性や、whのようなQ素性など) を構成素同士が共有することによってのみ外心構造的に標示付けが可能となる。つまり素性の共有が不可能な句同士の併合が残った (17d) のような場合は、標示付けが適切に行えなかったものとして、非文だと判断される。またこの操作は転送の一部として機能するためフェイズの段階でSOに適用されるとされている (Chomsky 2013: 46)。

5. 提案と分析

5.1. 福嶋 (2021) の提案

ここまでの議論でわかるように、決定詞の違いは名詞句に適用される統語操作の適格性に大きく影響する。この事実を捉えるために、本稿ではChomsky (2019) がフェイズ主要部である  $v^*$  を (18) のように  $v$  と分離させた仮定がD主要部にも存在すると主張する。

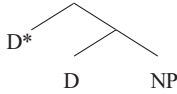


この  $v^*$  は従来の他動詞と自動詞・受動態との区別を示すものではなく、二重目的語構文などの三項動詞を用いる際に表れる範疇である。そのためここでは  $v^*/v$  はそれぞれフェイズ主要部であると考える。

この提案が正しいとするならば同様にフェイズである  $CP^8$  や  $DP$  との並行関係が崩れ、動詞句のみが (18) のようになる概念的説明が必要となる。この並行関係を保つ必要性も加味し、福嶋 (2021) では、この提案をD主要部に適用し (19) の  $D^*P$  仮説と呼ぶ仮定を提案している。



(19) D\*P仮説



(福嶋 2021: 41)

この構造では定冠詞・属格を表す「's」はD\*主要部であり、不定冠詞はD主要部であるとする。

bare longは次の程度倒置 (degree inversion) の例と同じように明示的に表れる場合にも必ず不定冠詞であり定冠詞を伴った名詞句を補部の位置に取ることが不可能であることが観察されており、この理由から本稿でも(19)の仮説を採用する。

(20) a. John is not [very good a student].

b. \*John is not [very good the student].

(Boroff 2006: 520)

上記のことを受けた上で本稿では次の仮定を行う。

(21) NegまたはDegは[uNeg/Deg]を持つ主要部であり、DPを補部に取り、それぞれの素性を持つ要素と素性共有を必要とする主要部である。

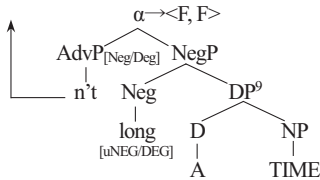
## 5.2. 分析

Kayne (2021) のbare longの基底構造 (22) とD\*P仮説を基に上記で行った仮定を組み合わせると (23) の構造派生が考えられる。

(22) ... been waiting [n't long A TIME]

(Kayne 2021: 158)

(23) 標示付けアルゴリズムを基にしたbare longの構造標示



まず、DとNPが併合することでDPが派生し、そのSOに対しNegが併合する。その後、否定副詞のn'tが併合されることでNegは素性共有を起こし、αに<F, F><sup>10</sup>の標示が付く。その後n'tはT主要部において接辞化される。この際、接辞化のために否定副詞が義務的に移動するため素性共有をした結果である<F, F>標示をperformanceレベルで認識できないためにlongと元は一つの構成素を成していたことを認識するために、NegP補部のDPを音声上省略せざるを得ないと考えられる。その証拠に程度副詞が素性共有し、その場に留まっている (24) の場合は a timeの部分音韻的に削除しなくても適格になる。

- (24) a. You've spent **too** long a time on that project.  
 b. \*You've spent long a time on that project. (Kayne 2021: 153 emphases added)

またそもそも上記構造内でNeg主要部に否定辞のn'tが当てはまるのではないかと直感的には考えられるが、それは以下の議論から否定されている。

- (25) A lord in his household ne hath nat every vessel al of gold (lines 99 100)  
 'A lord in his household does not have all his vessels made entirely of gold' (Radford 2009: 164)

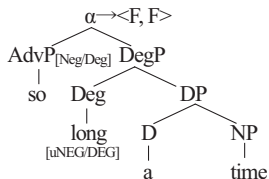
(25) は近代英語の否定文であるが、この時代の否定辞は否定接頭辞のneと否定副詞のnatで構成されており、次のように派生される。

- (26) a. [<sub>NEGP</sub> nat [<sub>NEG</sub> ne + hath] [<sub>VP</sub> [<sub>V</sub> hath] every vessel al of gold]]  
 b. [<sub>TP</sub> A lord . . . [<sub>T</sub> ne + hath + Af] [<sub>NEGP</sub> nat [<sub>NEG</sub> ne + hath] [<sub>VP</sub> [<sub>V</sub> hath] every vessel al of gold]]] (Radford 2009: 165)

近代英語の英語においてNeg主要部は否定接頭辞の ne が担っており、そこに V 主要部が主要部移動 (head movement) を行う際に接辞化され、Tまで上昇していた<sup>11</sup>。これは近代英語においても、しばしば省略されることがあり常時省略された形が現代英語である。そのため現代英語において動詞句の上部に生起する場合のNeg主要部は意味素性だけで音声的にはφの要素であり空所があると十分考えられるため、ここまで議論してきたように名詞句の上部にきたNeg主要部においては素性共有の要求を満たすために何かの要素を必要とする余地があると十分考えられる<sup>12</sup>。

では、次に程度表現の構造派生を見てみる。(23) と同様に (27) では次のような構造派生となる。

- (27) 程度表現を伴った場合の標示



(23)と同じく、DとNPとが併合することでDPが派生し、そのSOに対しその後、程度副詞のsoが併合されることでDegは、soと素性共有を起こし、αに<F, F>の標示が付く。

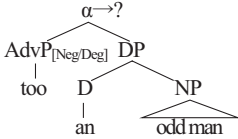
また他の形容詞を使った程度表現倒置 (degree inversion) の場合でも、同様の分析が可能だと考えられる。

(28) a. \*He's too an odd man.

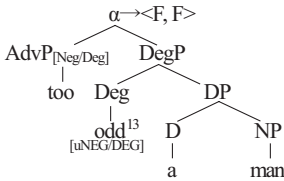
b. He's too odd a man.

(Matushansky 2002: 92)

(29) 程度表現のみ前に出ていた場合の標示 (= 28a)



(30) 程度表現と伴って形容詞が移動した場合の標示 (=28b)



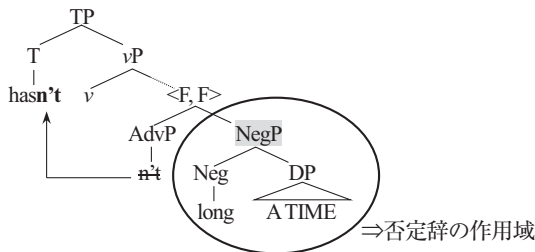
(28a) のように程度表現のみが前に出た場合には非適格であると知られており、本稿で問題にしている bare long における程度表現を伴った場合に酷似している。この例においても、(21) の仮定を当てはめて考えると、(29) のように Deg 主要部が存在しない構造派生になってしまうため、素性共有が行えず  $\alpha$  の標示が定まらないため、派生が破綻してしまうため観察と同じく非適格を導くことができる。それに対し適格文である (30) は (27) と同じ構造派生になっており、素性共有のおかげで程度表現が問題なく併合でき派生が収束している。

以上のように Neg/Deg の主要部と否定・程度副詞が素性共有をすることで適格である場合に DP の前に long が正しく派生することができ、非適格である場合には派生が予測通りに破綻することを見た。

次に、(4a, b) の意味の差異は統語的に次のように表される。

(31) a. I haven't been in Japan for long. (=4a)

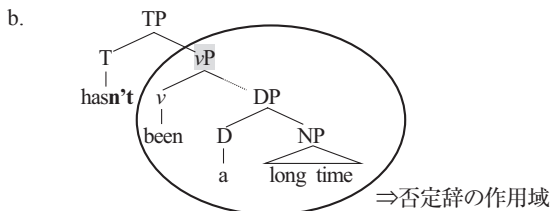
b.



(23) で見たように<F, F>の派生が完成した時点では、この部分では一つの構成素であるため否定の作用域はNegPとなり「時間が長くない」の意味が出る。

それに対し、(4b) の場合、否定副詞のn'tは直接接辞として挿入されるため、否定の作用域は動詞句vPとなり「居ない時間が長い」の意味が出る。

(32) a. I haven't been in Japan for a long time. (=4b)



以上の分析から、第1節で見てきたbare long、a long timeにおける適格性の差と解釈の差異が構造の違いにより正しく捉えられることを議論した。

## 6. おわりに

以上、bare longとa long timeにおける適格性の差、またbare longとa long timeの場合で、どうして解釈に違いが見られるのかについてChomsky (2013; 2015; 2019) で提案されている標示付けアルゴリズム、福嶋 (2021) で提案したD\*P仮説を基に検証した。Chomsky (2019) を元にしたD\*P仮説を採用することにより、Neg/DegPの補部には不定冠詞における名詞句であるDPであると一元的に決定することが容易になり、標示付けアルゴリズムの枠組みでも構造的に不可思議な位置にあったlongを否定・程度副詞と共にXP-YP構造において素性共有をすることで捉えることが可能であることを示した。

## 注

<sup>1</sup> 本稿は、福嶋 (2022) を基に発展、加筆修正したものである。

<sup>2</sup> 査読者から、(2c) においてもunfortunatelyと否定接頭辞のun- があることから否定・疑問の生起環境を守っているのではないかとの指摘があったが、否定極性表現のbare long である中の(1d, e)の例においてunfortunatelyが生起していても非文になることから、unfortunatelyは否定・疑問の生起環境には寄与していないと考えられる。

<sup>3</sup> Jackendoff (1972) の主張するようにcompletelyのような副詞はVP内に生じる必要のある動詞句内副詞だとすると、次の例が非文法的であることは、VPが削除されたにも関わらずVP内に存在するはずの副詞が生起しているためだ

と考えられる。このことから(7b)の場合も副詞はVP内に生起していると本稿では考えることとする。

(i) \*Annie has partially finished the book, and Judy has *completely* \_\_\_\_\_. (Sag 1978: 149)

査読者の指摘の通り、副詞everに関してはTP部にも生起できるため、上記の動詞句副詞とは厳密には違うが、あくまでもTに後続した位置にeverが生起する場合はVPに付加しており、VP全体が削除される必要がある点には変わりないと考えられる。

<sup>4</sup> 当然ながら次の(ii)のように定冠詞のみで統語構造上に生起した場合、不適格になる。ただし、依然として(10)のように決定詞によっては単独で生起可能なものが存在することも事実であり、本質的に何が、これらの適格性に差を及ぼしているのか解明する必要がある。しかし、この問題は本稿での議論の範囲を超えるため論じない。

(ii) \*<sub>DP</sub> The <sub>NP</sub> e ] was wrong

<sup>5</sup> ここでは便宜上、痕跡 (trace) にて元位置のYPを表示しているが、内併合によりコピーが形成されたのみであり、元位置のYPに移動はなくそのまま存在している。

<sup>6</sup> 第三要因という限りは第一・第二要因というものもある。言語設計の3要因 (three factors in language design) とは以下のものである。

(iii) Three factors in language design

1. Genetic endowment
2. Experience
3. Principles not specific to the faculty of language

(Chomsky 2005: 6)

第一要因とは、ヒトのみが進化の過程において変異により遺伝子に組み込まれた言語特有の資質のことである。第二要因とは、後天的な経験や環境のことを指す。これにより多様な個別言語が生まれることは自明であろう。第三要因とは、言語だけに固有ではなく、生命体全般さらに自然界全般に共通して働いているような、領域中立的な原理のことである(中島 2016: 139)。

つまり、言語における標示付けはインターフェイスにSOを転送する際に、その対象となるそれぞれのSOの最短距離にある要素を標示として選択するという自然界の原理に共通もしくは由来するような方法から来しているのである。第三要因にどのようなものが存在するのかに関する議論は、Chomsky (2005, 2007, 2010)、Boeckx (2010)、Berwick and Chomsky (2011)などを参照されたい。

<sup>7</sup> R (root)は根要素などと呼ばれ、*v*といった範疇決定子(categorizer, category marker)によってその範疇を決定される要素のことである。本稿では従来分析で示されてきたVと読み替えても大きな影響はない。

<sup>8</sup> 中島 (2016)もChomsky (2019) の (18) の仮説と非常に近い考えをCPにおいて提案している。

<sup>9</sup> 中島 (2016) の提案によると移動はフェイズ単位であり、拡張すると省略もフェイズ単位であるために <sub>DP</sub> A TIME] が省略されている可能性もあるが、この部分に関しては本稿の議論の範囲を超えるため論じない。

<sup>10</sup> 素性共有は第4節でも説明したように、本来標示としては素性を<φ, φ>などのように<>表記で行う慣例であるが、本稿で提案している[NEG/DEG]素性は表記の煩雑さを避けるために、単に素性 (feature) の共有が行われたことを表す<F, F>で示すこととする。

- <sup>11</sup> 同様の現象は共時的に見た場合に現代フランス語における否定辞 *ne ... pas* でも観察される。詳細は Pollock (1989) を参照されたい。
- <sup>12</sup> 査読者の指摘通り、どうして動詞句の上部の場合は主要部が音声的に存在せず、本稿で議論している名詞句の上部のような場合には義務的に必要となるのかは説明が必要である。本稿では議論の範囲を超えるため今後の課題とした。
- <sup>13</sup> 査読者の指摘通り、程度倒置の差異の形容詞に関して *bare long* と同じように *[uNeg/Deg]* とする必要があるのかは検討の余地があるが、程度倒置の場合も否定と程度表現を伴った場合に移動が生じる点では一致していることから、本稿での仮定をこの表現にそのまま踏襲しても問題がないため、表記上 *bare long* と同様にしておく。

## 参考文献

- Abney, Steven P. 1987. *The English noun phrase in its sentential aspect*. Doctoral dissertation, MIT.
- Bernstein, Judy B., and Christina Tortora. 2005. Two types of possessive forms in English. *Lingua* 115: 1221–1242.
- Borroff, Marianne L. 2006. Degree Phrase Inversion in the Scope of Negation. *Linguistic Inquiry* 37: 514–521.
- Chomsky, Noam. 1973. Conditions on Transformations. In *A festschrift for Morris Halle*, ed. Stephen R. Anderson and Paul Kiparsky, 232–286. Academic Press, New York.
- Chomsky, Noam. 2001. Derivation by Phase. In *Ken Hale: A life in language*, ed. Michael Kenstowicz, 1–52. Cambridge, MA: MIT Press.
- Chomsky, Noam. 2004. Beyond Explanatory Adequacy. In *Structures and Beyond. The cartography of syntactic structures, Volume 3*, ed. Adriana Belletti, 104–131. Oxford: Oxford University Press.
- Chomsky, Noam. 2005. Three Factors in Language Design. *Linguistic Inquiry* 36: 1–22.
- Chomsky, Noam. 2007. Approaching UG from Below. In *Interfaces + Recursion = Language?: Chomsky's Minimalism and the View from Syntax-Semantics*, ed. Uli Sauerland and Hans-Martin Gärtner, 1–30. Berlin: Mouton de Gruyter.
- Chomsky, Noam. 2008. On Phases. In *Foundational Issues in Linguistic Theory: Essays in Honor of Jean-Roger Vergnaud*, ed. Robert Freidin, Carlos P. Otero, and Maria Luisa Zubizarreta, 133–166. Cambridge, MA: MIT Press.
- Chomsky, Noam. 2013. Problems of projection. *Lingua* 130: 33–49.
- Chomsky, Noam. 2015. Problems of projection: Extensions. In *Structures, Strategies and Beyond: Studies in honour of Adriana Belletti*, ed. Elisa Di Domenico, Cornelia Hamann, and Simona Matteini, 1–16. Amsterdam: John Benjamins.
- Chomsky, Noam. 2019. UCLA Lectures. <<https://linguistics.ucla.edu/noam-chomsky/>>.
- Goto, Nobu. 2017. How to Label There-Constructions. *Studies in English Literature Regional Branches Combined Issue* 9: 33–43.
- Huddleston, Rodney D., and Geoffrey K. Pullum. 2002. *The Cambridge Grammar of the English Language*. Cambridge, UK ; New York: Cambridge University Press.
- Jackendoff, Ray. 1972. *Semantic interpretation in generative grammar*. Cambridge, MA: MIT Press.
- Kayne, Richard, Thomas Reu, and Raffaella Zanuttini, ed. 2014. *An annotated syntax reader: lasting insights and questions*. Hoboken: John Wiley & Sons.
- Kayne, Richard S. 2021. A Short Note on English long and the Why of Negative Polarity. *English Linguistics* 37: 151–160.
- Matushansky, Ora. 2002. *Movement of degree/degree of movement*. Doctoral dissertation, MIT.

- Pollock, Jean-Yves. 1989. Verb Movement, Universal Grammar, and the Structure of IP. *Linguistic Inquiry* 20: 365–424.
- Postal, Paul M. 1966. On so-called pronouns in English. *Monograph series on language and linguistics* 19: 177–206.
- Radford, Andrew. 2009. *Analysing English Sentences: A Minimalist Approach*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Radford, Andrew. 2016. *Analysing English Sentences*. Second Edition. Cambridge: Cambridge University Press.
- Sag, Ivan A. 1978. Floated Quantifiers, Adverbs, and Extraction Sites. *Linguistic Inquiry* 9: 146–150.
- Totsuka, Masashi. 2015. On Phasehood of Functional Categories in the Left Periphery. Doctoral dissertation, Tohoku University.
- 中島平三. 2016. 『鳥の眺望：補文標識選択と鳥の制約と受動化』. 東京：研究社.
- 井上永幸・赤野一郎. 2018. 『ウィズダム英和辞典 第4版』. 東京：三省堂.
- 福嶋剛司. 2021. 「決定詞の違いによる名詞句の適格性について」. 『言語と文化』 第15号, pp. 35–46.
- 福嶋剛司. 2022. 「否定極性の副詞longにおける精緻化した一般化を求めて」, 国際言語文化学会 第9回大会, 2022年1月.



# 家族内における特別な敬語使用の分析

—平成時代初期の小説やテレビドラマシナリオの中の会話例を通して—

福本 達也  
北洋大学

Analysis of Special Honorific Usage within the Family  
-through Conversation Examples in Novels and TV Drama Scenarios in  
the Early Heisei Era-

FUKUMOTO Tatsuya  
Hokuyo University

## Abstract

In this paper, I will investigate when and how disrespectful honorifics are used based on the relationships between the characters in modern novels and TV scenarios in the early Heisei era. The examples come from various conversations.

In family relationships, it can be said that the use of honorifics is determined by the family environment and education, the environment and atmosphere of the place where you are, as well as the consciousness, personality, way of thinking, and psychological state of the speaker. There were many examples of usages that gave the recipient a special impression such as ridiculousness, teasing, playfulness, sarcasm, distortion, dissatisfaction, patronization, and sticking out.

In particular, endearing expressions were mainly seen in women. There is a theory that this is due to the psychology of women who want to use soft and elegant honorifics.

When using honorifics, it can be said that not only the form of honorifics but also the way of thinking, psychology, facial expressions, attitudes, and actions are important. In honorific education, it is necessary not only to teach the form of honorifics, but also to relate the speaker's thoughts, facial expressions, and attitudes when using honorifics.

## I. はじめに

日本語の敬語は社会や人間関係と密接に結び付いているものであり、話す人の心理や考え方を表しているものである。現代日本社会で、さらに日本語、日本文化の中で敬語は重要な位置を占めている。しかし、現代日本社会において敬語は元来の敬意をもって使われている場合の他に社交敬語としての使用方法や敬意の全くない使い方もされている。どのような時にどのような敬語が使われるのかを知ることは、敬語の教育をする上で重要になってくる。そのために、敬語がどのように使用されているかを調べることで社会の特性や人間関係や人々の考え方・心理等を明らかにする必要があると考える。

日本の社会の根幹をなす家族内の人間関係における敬語使用の様相について、いわゆる文法上の敬語形式全般が使われている場合において、具体的にどのような時にどのような敬語が使われるのか、また何が敬語使用の条件になっているのかなどを具体的に調べる必要があると考える。

本稿では現代小説やテレビシナリオの中に登場する人物の心理・性格や場面の雰囲気・人間関係を会話例を通して分析し、敬意のない特別な敬語使用がどのような時にどのように現れているのかということ考察して行くことにする。

## II. 先行研究

敬語成立の条件として、辻村敏樹は「敬語を成立させる基本条件としての上位待遇意識を生み出す条件」<sup>1</sup>として、

(一)上下関係として、(1)同一組織内の地位—職場では部下が上役に対して。(2)社会階層—皇室や府県知事や国会議員、会社の重役、医者などに対して高く遇する傾向がある。(3)年上に対して敬語を使う。(4)経歴の長短—後輩が先輩に対して、能力よりも経歴の長さを重要視する、年功序列の存在。

(二)恩恵・負い目の関係—恩恵を受ける者は与える者に対して敬語をもって接するのが普通。医者と患者、客と商人、教師と生徒の父兄などの関係で後者が前者に対して。

(三)力関係—権力、腕力のある者に対して。

(四)親疎関係—疎い者に対しては敬語を使い、親しい者には使わない。

と言うふうに考察している。

また、菊池康人は待遇表現の使い分けに関係する諸ファクターとして次のようなものを上げている<sup>2</sup>。

(1)社会的ファクターとして、A. 場および話題—その場の構成者 話手 聞手 第三者：それぞれどういう人か、お互いの関係。場面の性質：どういう場面か、話題：どういう話題か。B. 人間関係—上下関係：社会的地位、先輩 後輩、年齢上下。立場関係：恩恵授受関係、強弱関係、優劣関係。親疎関係。内外関係。

(2)心理的ファクターとして、A. 待遇意図。ごく一般的な待遇意図：相手に丁寧な表現をするかしないか。恩恵の捉え方、親疎の距離の取り方、内外の捉え方。特別な待遇意図：皮肉、いじわる、ふざけ等。B. 背景的ファクター：人物や場面等に対して持つ心理。C. 表現技術：伝達効果の観

点からの考察。

このように上げている。これらの先行研究では具体的にどうなっているのかは表されていない。そこで本稿ではこれらの先行研究を踏まえながら、具体的に特別な敬語使用の様相と条件がどうなっているのかを調べてみたいと思う。

### Ⅲ. 研究方法

本稿では平成時代初期(1989～1993年)のテレビドラマシナリオや小説の中の家族内の各人間関係を細かく分類しその人間関係の中でどういう場面や時、話者の心理状態にどういう敬語形式・表現が現れたり用いられたりするのかについて例文を挙げながら調べて行くことにする。

例文を挙げたテレビドラマシナリオや小説は次のとおりである。

1. ひらり 内館牧子 講談社文庫 1993年 →(ひ)
2. 愛という名のもとに 野島伸司 1993年 →(愛)
3. 101回目のプロポーズ 野島伸司 角川書店 1992年 →(101回)
4. 思い出に変わるまで 内館牧子 ワニブックス 1991年 →(想)
5. 決闘 赤川次郎 角川文庫 1989年 →(決)
6. 恍惚の人 有吉佐和子 新潮文庫 1982年 (1990年テレビドラマ 放映) →(恍)

今回はこれらのテレビドラマシナリオや小説の中に出てくる家族内の人間関係での特別な敬語使用の様相や特性について調べて行くことにする。

家族内の人間関係の分類方法は上記の先行研究のファクターの分類をもとにして自分なりに整理し直し次のように分類した。親子(父母息子娘)間、兄弟姉妹間、夫婦間のように分類し、それぞれの関係での文法上の敬語形式が使われている会話文の中で、敬意のない特別な用法の敬語使用(親愛表現、おどけ、茶化し、からかい、皮肉、ひがみ、不満、たしなめ、突き放しなど)の会話文を抜き出し、例文として挙げながら考察していく。それぞれの場合の例文において誰が誰に言った言葉なのか、どういう場面・状況で、どういう意図で言った言葉なのか等を具体的に見ていくことにする。ここでは話し手と聞き手だけの会話の例(話題が当事者だけ)を挙げることにする。

### Ⅳ. 家族内の各人間関係別の敬意のない特別な敬語使用の例

#### 1. 親子間

##### (1)父親→息子

父親が息子に対して敬語を使う例は見当たらなかった。

##### (2)父親→娘

例1. 行きなさい。(父→20才娘：101回P25)親愛、注意

2. 自分が稽古してるわけじゃないでしょう。(48才父→20才娘：ひ1—16)皮肉

父親が娘に対して敬語を使う例はほとんどない。上の例1は敬語の命令形である「なさい」を使

って娘に柔らかく親愛の情を持って要求している例である<sup>3</sup>。また例2のように普通の時には使わない敬語をわざと使うことによって相手に皮肉を言う特別の場合がある。

### (3)母親→息子

例3. ラーメンぐらい自分でやれるでしょ。(40代母→高校生息子：恍P177)不機嫌、たしなめ

4. おなか空いてるんなら、すぐにご飯にしがげます。(40代母→高校生息子：恍P89)不機嫌
5. 子供に返ったみたいですね。(40代母→高校生息子：恍P128)親愛、注意を引く
6. 離れへ一人で入ってお便所でしゃがんでるんでしょう。(40代母→高校生息子：恍P181)親愛、注意を引く
7. なんですって。(40代母→高校生息子：恍P128)親愛、注意を引く
8. ごはん食べるでしょ。(46才母→20才息子：想P213)親愛
9. 見てみましょう。(母→20才息子：決P238)親愛

母親が息子に対して敬意のない敬語を使う例はかなり見られる。上の例は敬語を使って柔らかく言う場合であり、親愛語<sup>4</sup>・美化語的な使い方と言える(例5、6、7、8、9)。次に、例3、4のように母親が息子に対して不機嫌の時わざと敬語を使って冷たく相手を突き放す感じや相手をたしなめる感じ、怒りや皮肉の気持ちを表している場合もある。また、敬語を使って特別の印象を与え相手の注意を引く意図が見られる場合もある(例5、6、7)。例3、6、8のように形式では「でしょ(う)」が一番多く見られる。<sup>5</sup>

### (4)母親→娘

例10. 由美ちゃん、そろそろ時間でしょう。(母→大学生娘：愛3-2)親愛

11. おねえちゃん、今日、昼まででしょう。(母→25才娘：愛3-6)親愛
12. おくれるわよオ。早くしなさいよーッ。(母→26才娘：想P18)親愛、要求
13. ガラスのことを瑠璃ってよんだんですって。(母→26才娘：想P88)親愛
14. 知らせないわけにはいかないでしょ。(母→19才娘：決P175)たしなめ
15. 待ちなさい。(母→19才娘：決P175)注意、要求
16. 先にお風呂に入りますか。(母→19才娘：決P210)親愛、誘い
17. すみませんね。(47才母→20才娘：ひ2-286)卑下、ひがみ

母親が娘に対して敬意のない敬語を使う例はかなり見られる。上の例のように敬語を使うことによって柔らかく言う親愛語・美化語的な使い方(例10、11、12、13、16)が多く見られる。また、例10は「で(ま)しょう」を使って柔らかく相手に注意を促す効果を与えている。例12や15のように「なさい」を使って相手に柔らかい要求や注意等をする場合も少し見られる。例14は「でしょ」を使い軽く相手に注意を与えたり相手をたしなめたりする場合である。例16は「ましょう」を使いやさしく何かをさせたり誘ったりする場合である。例17は母親が娘に対して謝ってはいるが、わざと敬語

を使うことによって冷たく相手を突き放したり怒りやひがみ、皮肉、卑下の気持ちを表している場合である。

(5)息子→父親

例18. 俺はよ、江戸以来275年の歴史を誇る一匹狼の町トビに誇りをお持ちだからよ。(43才息子トビ職→75才父トビ職組頭：ひ1-60) 茶化し

19. 具体的には何もありません。(48才息子→75才父：ひ1-197)不満
20. そのバカ作ったのはオタクでしょうが。(19才息子→父：想P78)皮肉
21. 有難てえキャベツ肴に一杯いきますか。(43才息子→75才父：ひ2-151)茶化し

例18は自分自身に敬語を使うことによって相手に特別の印象を与える用法で、茶化しやおどけ、ふざげの感じを与える場合である。例19は皮肉と不満の意を込めて冷たく言っている場合であり、敬意が感じられない。例20は普段は父親に対して敬語を使わない息子が、不満と怒り、皮肉の気持ちを示すためにわざと敬語を使っている場合である。例21は相手に敬語を使うことによって特別の印象を与える用法で、茶化しやおどけ、ふざげの感じを与える場合である。

(6)息子→母親

例22. やっぱりママの作るのはいち違うね。お母さんの味です。(高校生息子→母：恍P10)おどけ

23. お爺ちゃんみたいに泣きたいくらいですよ。(高校生息子→母：恍P88)からかい、ふざげ
24. はあはあ、お願いします。(高校生息子→母：恍P89)からかい、ふざげ

例22は茶化しやおどけ、例23、24はからかいとふざげの場合であり、特別な用法である。その他に息子が母親に対して敬語を使っている例は見られない。

(7)娘→父親

例25. お父さん、それなら休暇とれるんでしょ？(25才娘→48才父：ひ1-15)親愛

26. おはよ、お父さん、ホントはごはんに味噌汁がいいんでしょ。(20才娘→48才父：ひ1-212) 親愛、からかい
27. 自然に会いましょ、自然に。(26才娘→父：想P87)親愛、提案
28. はい、出来ました。(30才娘→父：101回P24)親愛、注意
29. ちゃんと寝かしたげるからいらっしやい。(40代後半娘→84才父：恍P92)不機嫌

例25、26、27、28は親愛語としての用法である。形式では「で(ま)しょ」「でしょう」が多く見られた(例25、26、27)。例26、27は少し柔らかく相手に質問・確認したり、提案したり、注意を促す効果を与え、またからかいの意味を含んでいる。例28も注意を促す効果を与えている場合である。例29は「いらっしやい」という敬語の命令形を使って、精神異常を来してまるで子供のようになっ

ている父親に対して面倒くさいとか不機嫌な気持ちがあるのでぞんざいな言葉使いになっている場合である。

(8)娘→母親

例30. また、泣くことないでしょう。(25才娘→母：愛1-12)親愛、たしなめ

31. まじめに考えてるって言ったでしょう。(20才娘→47才母：ひ1-67)不満
32. 朝からトンカツってのもきびしいものがありますねエ。(21才娘→母：想P141)おどけ
33. いいでしょ。(20才娘→母：決P37)親愛、要求

例30、31、33は親愛語としての用法で、形式では「でしょ」「でしょう」が使われている。例30は娘の恋人が挨拶に来て同席している場面で、柔らかに相手のことをたしなめたり注意を促したりしている場合である。例31は相手に対する不満を表している。例32はわざと敬語を使っておどけとふざけ、また少しからかいの意図も感じられる場合である。例33は親愛の情を持って相手に確認や要求をしている場合である。

2. 兄弟間

(1)兄→弟

例34. いやあ、残念会は残念でした。(42才兄会社員→21才弟大学生：101回P5)おどけ

35. 大事なお兄様が取られそうなんで恐くなってるのか。(42才兄会社員→21才弟 大学生：101回P6)茶化し、からかい
36. 男ってのはね、女を追っかけるものですよ。(42才兄会社員→21才弟大学生：101回P26)注意
37. ご声援ありがとうございます。(42才兄会社員→21才弟大学生：101回P26)おどけ

例34はおどけた場合であり、例35は自分に敬語を使って相手を茶化したりからかっている場合である。例36は相手に説法や忠告をするような場合でわざと敬語を使って相手に注意を促している場合である。例37は少しのおどけと相手に感謝する意味で敬語を使っていて、相手や自分に対するけじめと決意の気持ちも窺える場合である。

(2)弟→兄

例38. 無いでしょう、あなたには返す言葉なんて無いでしょう。(21才弟大学生→42才兄会社員：101回P26)怒り

39. これは何でしょう。(21才弟大学生→42才兄会社員：101回P28)おどけ
40. そうです。彼女の家のです。(21才弟大学生→42才兄会社員：101回P28)おどけ
41. お袋の話が効いてしまいましたね。(21才弟大学生→42才兄会社員：101回P28)おどけ
42. こんだけ集めてもらいました。選り取りみどりですよ。(21才弟大学生→42才 兄会社員：101回P26)おどけ、ふざけ

43. ほおらお客さん、これなんかいかがでしょう。(21才弟大学生→42才兄会社員：101回P29)おどけ、ふざけ
44. そう思うでしょ。(21才弟大学生→42才兄会社員：101回P26)親愛
45. 付きあってる暇はないんですよ。(21才弟大学生→42才兄会社員：101回P26)たしなめ、突き放し

例39～43はおどけた場合である。例39は相手に対しておどけや茶化しの意味を表す場合である。例40は相手に自慢をしておどけている場合である。例42はおどけながらも相手に注意や興味を引かせようとしている場合である。例38は相手のためにした自分の好意が相手によってだめになってしまったので怒っている場面で、敬語を使って相手に冷たく突き放している印象を与えている。例44は親愛、例45は相手をたしなめ冷たく突き放したり皮肉を言っている場合である。

### (3)兄→妹

兄が妹に対して敬語を使う例は見当たらなかった。

### (4)妹→兄

- 例46. お兄さんに関係ないでしょ。(19才妹→20才兄：決P169)怒り、突き放し
47. 四十腰、五十肩とかいうでしょ。(40代後半妹→50代前半兄：恍P51)注意喚起
48. まあお兄さんを？嘘でしょう？(40代後半妹→50代前半兄：恍P52)親愛、注意喚起

上の例で、形式では「でしょ」「でしょう」が使われている。例46は柔らかく言いながらも相手のことをたしなめ冷たく突き放したり怒りを表している場合である。例47相手に注意を促したり関心を持つように誘導している場合である。例48は兄に対して親密感を表しながら柔らかく質問・確認したり注意を促している場合である。

### (5)姉→弟

- 例49. ひょっとして女のことで悩んでんじゃないスかァ。(21才姉→19才弟：想P79)からかい、皮肉
50. 待ちなさい、誤解よ。(26才姉→19才弟：想P219)親愛、要求
51. とにかく夜、うちに寄んなさい。(47才姉→43才弟：ひ1-19)親愛、要求
52. きれいな人でしょ。(47才姉→43才弟：ひ1-114)注意喚起、誘導
53. 助けあったりしていくわけでしょうが。(47才姉→43才弟：ひ1-314)たしなめ

例50、51、52、53では、「でしょ」「でしょう」「なさい」が使われている。例50、51は相手に強く要求している場合であるが、親愛と優しさを感じられるようである。例52は柔らかく相手に注意を促し関心を持つように誘導し、軽く念を押している場合である。例53は強く相手をたしなめ言



い聞かせている場合である。例49の「ンスか」は「ですか」の省略・簡略形とも言うべきものであり、相手をからかい・皮肉の意味で敬語を使っている場合である。

(6)弟→姉

例54. 姉上、もう次の男を見つけたわけですか。(19才弟→26才姉：想P219)皮肉

例54はからかいと皮肉の意味で敬語を使っている場合である。

(7)姉→妹

例55. 相手として見られてないってことでしょ。(25才姉→20才妹：ひ1-69)自己卑下

56. 親が出たってどうしようもないでしょう。(47才姉→45才妹：ひ1-140)たしなめ

57. お義理でおしゃべりしてゴハン食べたって迷惑なだけじゃないの。(25才姉→20才妹：ひ1-337)卑下、皮肉

58. 実は山下から自由になれない情けない女でした。(25才姉→20才妹：ひ1-345)卑下、おどけ

59. どれ、着がえましょー。(25才姉→20才妹：ひ1-318)提案、おどけ

60. 今日も一日元気で頑張りましょう。(25才姉→20才妹：ひ1-344)提案、おどけ

61. 奥さんになる前の恋が下手ですから。(25才姉→20才妹：ひ2-55)卑屈

62. 女もいるから分かりませんがねッ。(25才姉→20才妹：ひ2-67)いかり、ひがみ

63. しませんよ。ただ、…。(26才姉→21才妹：想P45)否定、卑屈

64. 退職届出して、結婚します。(26才姉→21才妹：想P146)突き放し

65. しかたないでしょ。(30才姉→20才妹大学生：101回P25)親愛、たしなめ

66. 自分の食べたのくらい洗いなさい。(25才姉→妹：愛3-2)たしなめ

67. 思います。(25才姉→20才妹：ひ2-293)おどけ、ふざけ

68. ご注意申し上げておくけど…。(25才姉→20才妹：ひ2-342)突き放し、皮肉

例55、56、65の形式は「でしょ(う)」である。例55自分を卑下しながらも少しおどけて見せた場合である。例56は柔らかく相手をたしなめ冷たく突き放して言い聞かせようとしている場合である。例65は相手をたしなめたり皮肉を言ったり怒りを表したり言い聞かせようとしている場合である。例57は「お義理」で「義理」にわざと「お-」をつけて皮肉や卑下の気持ちを表している場合である。例58は皮肉・卑下と、少しのおどけの意図があるのが感じられる。例59、60は「ましょ(う)」の形式で柔らかく相手にだけでなく自分自身に対しても注意を促したり提案したりしている場合である。例61は自己卑下・卑屈、例62は怒りとひがみの気持ちを表している。例63は相手の言葉を否定しようとする場合であるが、少し卑屈の気持ちが感じられる。例64は自分の決意を相手に伝えようとする場合である。これらはいずれも敬語を使うことによって相手に強い印象を与えているようである。例66は相手をたしなめ要求している場合である。例67はわざと敬語を使っておどけとふざけの感じを表そうとした場合である。例68は「ご-申し上げる」という丁寧な敬語をわざと使って冷

たく突き放し忠告と皮肉の感じを表し、相手に特別の印象を与えようとしている場合である。

#### (8)妹→姉

- 例69. 山下さんの方から話があるって言ったんでしょ。(20才妹→25才姉：ひ1-69)親愛、確認
70. 今迄は学生でほとんどみんな同じ年でしょう。(20才妹→25才姉：ひ1-340)親愛、確認
71. ホントはケンカしたでしょ。(21才妹→26才姉：想P45)親愛、確認
72. お姉ちゃんがなくした鍵持ってきてくれたんでしょ。(20才妹→30才姉：101回P25)注意、たしなめ
73. いいんじゃないですか。(21才妹→26才姉：想P124)ひがみ、卑屈
74. おー、ウワサをすればカゲですねエ。(21才妹→26才姉：想P46)からかい、皮肉
75. そ、あれは来ますよ。(20才妹→25才姉：ひ1-509)注意を引く
76. せめてものお礼ってやつです。(20才妹→25才姉：ひ2-173)茶化し、お礼
77. 何かシラジラしいパーティだったと思いません。(20才妹→25才姉：ひ2-293)おどけ、ふざけ

例69～72は「でしょ(う)」を使っている。例69は柔らかく相手に確認したり注意を促したり興味を持たせたりする場合である。例70、71は軽く相手に確認したり注意を促す場合である。例72は柔らかく相手をたしなめたり言い聞かせようとしている場合である。例73は卑屈とひがみや皮肉を表している場合であり、例74はからかいと皮肉を言ったり相手に注意を促そうとする場合、例75はおどけと茶化し、同時に注意を促そうとしている場合である。例76は茶化しながらも相手にお礼の気持ちを表そうとしている場合である。例77はおどけとふざけの意図を表そうとしている場合である。これらはいずれも敬語を使うことによって特別の印象を与えようとしている。

### 3. 夫婦間

#### (1)夫→妻

- 例78. わかりました。いいですよ、パンで。(48才夫→47才妻：ひ1-14)皮肉
79. 喫茶店でランチしてきますよ。(48才夫→47才妻：ひ1-29)皮肉
80. 残りの人生を楽しく刷るためにですな。(48才夫→47才妻：ひ1-29)注意を引く、茶化し
81. 僕のところで目を止めないで下さいよ。(48才夫→47才妻：ひ4-26)皮肉
82. すみませんね。(48才夫→47才妻：ひ4-26)卑屈、不満
83. 僕のことにも心配して下さいよ。(48才夫→47才妻：ひ2-468)ひがみ

例78、79、81は相手に不満を持った時にわざと敬語を使うことによって皮肉やひがみや不満の気持ちを表そうとしている場合である。例80は敬語を使うことによって相手を茶化したり相手の注意を引こうとしている場合である。例82はわざと敬語を使うことによって卑屈やひがみや不満の気持ちを表そうとしている場合である。例83はわざと敬語を使うことによって相手に対してひがみ

と寂しさと不満を表そうとしている場合である。

(2)妻→夫

- 例84. ちょっと話しかけないでって言うてるでしょ。(47才妻→48才夫：ひ1-29)突き放し
85. どうぞ、シャワー使ってください。(47才妻→48才夫：ひ1-428)怒り、突き放し
  86. 水なら、そこに蛇口があります。(46才妻→夫：想P184)憤り
  87. ものを頼む時は、子供も大人もないでしょう。(46才妻→夫：想P212)たしなめ
  88. 謝らないじゃありませんか。(46才妻→夫：想P212)たしなめ
  89. わかりました！(46才妻→夫：想P214)憤り
  90. 機械にお金を使うのはやめましょうよ。(46才妻→夫：想P259)要求、たしなめ
  91. ゆっくり食事しましょ。(21才妻→30才夫：想P249)親愛
  92. お電話よ、専務さんから。(妻→52才夫：決P191)親愛、美化語
  93. 可愛い子は、でしょ。(妻→52才夫：決P191)親愛
  94. お帰りを待ってる間にね。(妻→52才夫：決P191)親愛
  95. その後、会社に行かれるんですよ。(妻→52才夫：決P191)親愛
  96. およしなさいよ、あなた。(40代妻→50代夫：恍P116)たしなめ
  97. 騙されたと思って飲んでごらんなさい。(40代妻→50代夫：恍P231)親愛、強気で
  98. あのお爺ちゃんが死ぬものですか。(40代妻→50代夫：恍P231)突き放し、たしなめ、強気
  99. やめなさい。(56才妻相撲部屋おかみ→53才夫相撲部屋親方：ひ1-362)命令口調
  100. 作ってるでしょッ。(47才妻→48才夫：ひ1-428)怒り
  101. それは屁理屈ですッ。(56才妻相撲部屋おかみ→53才夫相撲部屋親方：ひ2-53)きっぱり否定

妻が夫に対して敬意のない敬語を使う例もかなり見られた。例84は強い怒り・突き放しを、例85は冷たく突き放し怒りを、例86は冷たく突き放し怒りを、例89は強く怒り・憤りを表そうとしている場合である。例87は柔らかく相手をたしなめ、例88は少し強く相手を批判している。例90は柔らかく提案と軽い要求をしている。例91は軽く親愛的に誘っている。例92、94は美化語・親愛語的用法<sup>6</sup>であり、例93、95は「でしょ」で親愛的に相手に確認しようとする場合である。例96、97、99は「なさい」を使っているが、例96は柔らかく相手をたしなめ、例97はやや強気で相手に要求し、例99はほぼ命令口調で中止要求をしている。例98は強気で相手の言うことをたしなめたり否定しようとしている。例100は「でしょッ」で強い怒り・突き放しを表している。例101は「ですッ」で強くきっぱりと相手の言っていることを否定している。

## V. 終わりに

本稿では平成時代初期(1989～1993年)のテレビドラマシナリオや小説の中の家族内の各人間関係を細かく分類しその人間関係の中でどういう場面や時、話者の心理状態にどういう敬語形式・表現

が現れたり用いられたりするのかについて例文を挙げながら考察した。

考察した結果、敬意のない敬語使用である親愛表現、おどけ、茶化し、ふざけ、からかい、皮肉、ひがみ、不満、たしなめ、突き放し等の特別な印象を相手に与える用法の例が多かった。この中で、親愛表現は「でしょ(う)」「なさい」の例がほとんどであったが、これらは女性が使用していた。これは敬語を使って柔らかく上品に言いたいという女性の心理によるものである<sup>7</sup>という説もある。おどけ、茶化し、ふざけ、からかい、皮肉、ひがみなどは男女ともに見られ、これらは相手に特別な印象を与える機能のためであると考えられる。不満、たしなめ、突き放しなども男女ともに見られ、相手との距離を置く機能のためであると考えられる。このように敬意がない敬語を使う場合は敬語本来の相手を敬い敬意を表す機能・効能ではなく他の、または逆の敬語の機能・効能が現れるようになると考えられる。

敬語を使用する時には、敬語の形式だけでなく、敬語使用時の考え方や心理、表情、態度、動作なども重要になってくると言える。敬語教育ではただ単に敬語の形式だけを教えるのではなく、敬語使用時の話者の考えや表情、態度など<sup>8</sup>についても指導していく必要があるであろう。

今回調べたテレビドラマシナリオや小説は限られたものであるため、他のものは今後も引き続き調べていく必要がある。

## 注

- 1) 岩波講座日本語 4 敬語 p 49～58
- 2) 菊池康人『敬語』1994年 p 30～58
- 3) 「『一なさい』などはもはや敬語というよりは親愛語と扱うが適当である」という大石の説がある。(大石初太郎、1983年：p181)
- 4) 大石初太郎「現在敬語研究」1983年：p159～162
- 5) ここで「でしょ(う)」は男性語の「だろう」に対する女性語として、男女の位相語の差でしかないという説もある。(「現在の敬語とマナー」1972年、p45、48)
- 6) 国文学編集部「あなたも敬語が正しく使える」學燈社 p 86
- 7) 至文堂編集部「現代の敬語とマナー」p 45
- 8) 菊池康人は敬語を考えるのに三つの面(①<語形(かたち)>、②<機能(はたらき)>、③<適用(あてはめ)>)に分けて整理して捉えているが(1996年『敬語再入門』丸善ライブラリー p 14～15)、筆者は人との対話時の敬語使用の基準と規則を次のように分類・設定してみた。
  1. 適切な敬語形式の使用
  2. TPOに応じた敬語使用。TPOに合う敬語使用。
  3. 良い話の内容・言葉
  4. 良い話し方
  5. 良い態度・表情・行動
  6. 相手を敬う、大事に思う心・気持ち

## 参考文献

- 宇野義方（1985）『敬語をどのように考えるか』南雲堂  
大石初太郎（1983）『現代敬語研究』筑摩書房  
大石初太郎・林四郎編（1975）『敬語の使い方』明治書院  
奥山益朗（1972）『日本人と敬語』東京堂出版  
奥村益朗（1973）『現代敬語辞典』東京堂出版  
菊池康人（1994）『敬語』角川書店  
菊池康人（1996）『敬語再入門』丸善ライブラリー  
國文學編集部（1977）『あなたも敬語が正しく使える』學燈社  
国立国語研究所（1957）『敬語と敬語意識』  
国立国語研究所（1990）『日本語教育指導参考書17敬語教育の基本問題（上）』  
国立国語研究所（1992）『日本語教育指導参考書17敬語教育の基本問題（下）』  
佐藤喜代治編（1982）『講座日本語の語彙第2巻日本語の語彙の特色』明治書院  
至文堂編集部（1972）『現代の敬語とマナー』至文堂  
鈴木一彦・林巨樹（1984）『研究資料日本文法敬語法編』明治書院  
西田直敏（1987）『國語學号叢書13敬語』東京堂出版  
平林周祐・浜由美子（1987）『外国人のための日本語例文 問題シリーズ10敬語』荒竹出版  
文化庁（1971）『日本語教育指導参考書2待遇表現』  
水谷修（1979）『話しことばと日本人』創拓社  
南不二男他8名（1977）『岩波講座日本語4敬語』岩波書店  
南不二・林四郎編（1974）『敬語講座第1巻敬語の体系』明治書院  
南不二・林四郎編（1973）『敬語講座第6巻現代の敬語』明治書院  
南不二・林四郎編（1973）『敬語講座第8巻世界の敬語』明治書院

# 外国人向け介護の日本語指導テキストへの提案 —「共感的なコミュニケーション」の再検討とともに—

藤田 航輝  
北洋大学

Proposals for a Textbook of Caregiving Japanese for Non-native Speakers  
with the Reconsideration of “the Empathetic Communications”

FUJITA Koki  
Hokuyo University

## 提要

“共鸣”是担任护理工作所要求的一项基本能力。先行研究指出在面向外国人的护理指导教材当中已经有很多包含了“共鸣”要素的会话。但是，在对“共鸣”的理解上还存在很多不足，而且在语言教学指导方法上也留有很多研究余地。本文将会针对“共鸣”的涵义以及“共鸣表达方式”进行重新审视。另外针对面向外国人的护理专业日语指导方法上提出两点具体意见。首先，在教材当中尽量不用相同的表达方式来表达“共鸣”，尽量用类似的表达来替换。其次，在日语指导过程当中针对不能在护理工作当中使用的具体表达方式进行特别指导。

## 1. はじめに

我が国では少子高齢化の進行が著しく、それに伴い要介護者数の増加も予想される。<sup>1)</sup> 我が国では、今日までに介護人材確保を目的として様々な外国人介護人材の受け入れ政策が講じられてきたが、2008年の経済連携協定 (EPA: Economic Partnership Agreement)、2016年の技能実習「介護」の追加、2019年の特定技能「介護」の受け入れ開始と、次第に受け入れ人数の枠が拡大してきた経緯をみるに、外国人介護人材のニーズは年々高まり続けていることが窺える。

介護はその業務内容から、介護技能とは別に高い日本語運用能力が要求される<sup>2)</sup> が、日常生活におけるコミュニケーションとは異なるため、その能力の評価基準も従来とは異なるものが求められるとされる<sup>3)</sup>。藤田 (2021) は介護職に求められる能力の一つである「共感」の概念に着目し、それが発話内容から観察可能であるという前提のもと、外国人向け介護指導テキストの会話文において「共感」の要素が表れているものを抽出し分析を行った。本稿は、藤田 (2021) が定義した「共感的なコミュニケーション」の再検討とともに、外国人向け介護指導テキストに対し、日本語教育の観点から「共感」に関わる表現の記述や、それらの指導法について提案を行うものである。

## 2. 先行研究

### 2.1 「共感」の定義

日本語母語話者向けの介護資格取得講座<sup>4)</sup> においても使用されている日本医療企画 (2018) は、介護職が聞き手にまわる場面における重要な要素として「受容」「傾聴」「共感」を挙げている。それぞれの要素を以下にまとめる。

受容：利用者の言動に対して否定もしくは批判的な態度を示さず、彼らのありのままの姿や感情をそのままうけとめる姿勢。

傾聴：利用者の言動に対する関心を持ってこころと耳を傾ける、積極的に「理解しようとする」姿勢。

共感：利用者の立場に立ち、対等な関係 (同じ目線) で物事を捉え、共に感受し理解を深める姿勢。

Rogers (1957) は「共感 (empathy)」は話し手と聞き手が対等な立場にあるという点で「同情 (sympathy)」とは区別されると主張している。また、デイヴィス (1999) は共感性という概念については情動的な側面だけではなく、相手を理解する認知的な側面もあるとし、共感を広く定義したうえで多面的な構造モデルを提唱した。日本医療企画 (2018) の文言から、同情とは区別されていること、情動と認知の両側面を捉えていることがわかる。相手の心情を理解する或いは理解しようとする姿勢において三者には共通する部分がみられるが、本稿では日本医療企画 (2018) を参考に、相手の心情の理解に至るまでの過程に着目しそれぞれを「傾聴：相手を理解しようとする姿勢」「受容：ありのままを受け止める姿勢」「共感：理解を示して対等な立場で接する姿勢」のように区別する。会話を行わずとも、表情などから利用者の様子、心情を推測することができるが、あくまで介



介護職の主観的な判断に基づくものであるため、介護職が話し手に回っている例は「共感」に含まないものとする。

## 2.2 評価の方法

### 2.2.1 「共感」能力の評価

心理的現象である「共感」の能力を評価するためには、それが外部から観察可能でなければならない。日本医療企画（2018）は、利用者のさらなる発話を引き出すテクニックとして、5つの言語的コミュニケーション技法（質問、要約、明確化、繰り返し、言い換え）を挙げている。特に繰り返しの技法は自身の話を聞いてもらっていることを利用者が実感できる技法のため、利用者の感情に寄り添い理解を示す「共感」においては効果的であるといえる。

一方浅野（2010）は、繰り返しの技法はあくまで繰り返しであるため、相手が言った以上のことを口にするにはできないと指摘し、相手の発話に対する応答を「確認型応答」と「反応型応答」とに分類した。前者を「相手が言いたいことの要点を相手に言葉で確かめる（浅野2010：176）」こと、後者を「自分の考えや気持ちをいう（浅野2010：176）」ことと定義することで共感的態度を観察可能な行動として捉えた。特に前者は、相手が口にした以上のことを言うことができるという点で繰り返しの技法以上に有用であるとしている。藤田（2021）は、これらを参考に、介護職の発話から「共感」の態度を読み取ることができるという前提のもと、分析を行った。本稿においても同様の立場をとる。

### 2.2.2 介護の日本語能力の評価

西郡（2019a, 2019b）は技能実習1年目、2年目の段階で求められる日本語のコミュニケーション能力をまとめて「介護の日本語Can-doステートメント（KCDS）」<sup>5)</sup>を作成した。これは全114項目から構成され、言語技能、場面、対話相手等がカテゴリー化されている。その中には「利用者と共に感性的なやりとりをする」というカテゴリーに該当する15の項目が確認でき、それらは藤田（2021）における分析の観点の基礎となった。

宮崎・中野・早川・奥村（2017）は普段日常生活で用いる日本語とは大きく異なる介護の日本語の運用能力を測定する基準として「ワセダバンドスケール（介護版）」を用いた日本語の指導法についてまとめている。ワセダバンドスケールの特徴としては、特定の学習者の日本語能力を測定したとき、その学習者のレベルに合った指導を行えるだけでなく、次のレベルに至るための学習計画や目標を立てやすいことが挙げられる。なお、ワセダバンドスケールにおいて「共感」の要素が確認できるのはレベル4（最高レベル8）の「話す」技能の項目における「相手の気持ちに寄り添って話すことができる」という記述のみである。このことから、中級以上の学習者は「共感」の概念やその要素を含んだ表現について理解し、運用できなければならないとみなされていることが窺える。

## 2.3 外国人向け介護指導テキストにみられる「共感」の表現

藤田（2021）では、2020年までに出版された外国人向け介護指導テキスト11冊<sup>6)</sup>を分析し、会

話文に表れている表現の中から「共感」の要素が含まれていると判断できるものを抽出した。その結果、KCDSの各項目に該当する言語的やり取りや話題に加え、「介護行為の拒否・否定的反応への対応」や浅野（2010）の提唱する「確認型応答」のほか、言語的コミュニケーションの技法（質問、要約、明確化、繰り返し、言い換え）が用いられている表現が確認できた。「共感的なコミュニケーション」は各テキストに表れていることが明らかになったが、「共感」という概念を一面的に捉えていたため、情動的な要素、認知的な要素を混同してしまっているほか、「受容」「傾聴」「共感」の要素を明確に区別していなかったため、正確な分析が行えたかどうか疑問である。

## 2.4 既存のテキストにおける「共感」の指導

宮崎・中野・早川・奥村（2017）は「共感」に関わる内容の指導法として、「共感」という語彙を導入し介護福祉士国家試験問題などを提示しつつ回答として適切なもの、適切でないものを学習者が理解できるよう解説しているほか、会話例の中に含まれる「共感」の表現をピックアップし、あいつち表現、話を促す表現などを導入することを提案している。

藤田（2021）は「共感的なコミュニケーション」の語学指導は、少なくとも外国人向け介護指導テキストにおいては重視されていないことを指摘し、バリエーションのある表現の中からその場に応じて適切なものを選択する能力の指導が必要であると主張したが、テキストのレビューと、外国人介護職が想定していない事態に陥った場合（介護拒否など）への懸念を示すにとどまっている。

## 3. 「共感的なコミュニケーション」の再検討

表1 「藤田（2021）における『共感的なコミュニケーション』」

No.	分析の観点	名称
①	言語的やりとり	利用者の多様な話し方
②		認知症を持つ利用者との会話
③		相槌表現
④		利用者の持ち物や利用者本人を褒める表現
⑤		困っている利用者、体調が悪そうな利用者とのやりとり
⑥	話題	利用者の趣味や好きなもの・ことに関する話題
⑦		家族などの人間関係に関する話題
⑧		利用者や介護職の体験に関する話題
⑨	分析の過程で判明したもの	介護行為の拒否・否定的反応への対応
⑩		コミュニケーションの技法が確認できるもの

藤田（2021）は、KCDSの項目を参考に①～⑤を「言語的やりとり」、⑥～⑧を「話題」の観点から分類した。「共感的なコミュニケーション」とは「介護職の言動から利用者への関心・思いやり

を読み取ることができるもの」であるとし、分析の過程で明らかとなった⑨と⑩もまた「共感」の要素が含まれていると判断した。藤田(2021)は「共感的なコミュニケーション」には「受容」「傾聴」の要素も含まれ得ると定義したが、「関心・思いやり」については「傾聴」の姿勢に最も近く、「共感」の要素とするのは適切ではない。

また、介護場面における介護職の言動は、介護行為の遂行を目的としたものであるため、そこで用いられる表現は相互理解による信頼関係を損ねないものでなければならないが、藤田(2021)の定義した「共感的なコミュニケーション」には「対等な立場」という視点が欠如しており、指導にあたっては学習者が「同情」と「共感」の概念を混同する恐れがある。

### ①利用者の多様な話し方

藤田(2021)において、利用者の発話の多くは普通体または普通体混じりであり、介護職はそれに対し丁寧体で応答する例が多くみられた。それに加え、方言やくだけた言い回しなどの多様な話し方に対応する会話文の中で、言語障害の影響により流暢な発話が困難な利用者がアイコンタクトや最低限の発話で介護職とコミュニケーションをとる例が確認された。藤田(2021)はこれらから「利用者への関心・思いやり」が感じられるため「共感」の要素と捉えたが、より正確には、実際にはその立場にない(言語障害を抱えていない)介護職が、困難を抱える利用者の心情や内面を推測し自身の中に模倣・再現することで同じ立場に立とうとし、最終的に理解に至っている。これは感情の共有以上に利用者の事情や伝えたいことを理解するという認知的な側面が強く現れた「共感」であるといえる。

(1) 介護職 はい、森田さん、お疲れ様でした。

柵を戻しますね。〈ベッド柵を戻す〉

カーテン (は) 開けておいてもいいですか。

利用者 〈目で合図する〉

介護職 じゃ、開けておきますね。〈カーテンを開ける〉

(田辺：2018 p. 148より)

### ②認知症を持つ利用者との会話

藤田(2021)が分析したのは認知症を持つ利用者との会話文であり、利用者の属性や場面に着目したものであるため、「言語的なやりとり」に分類することは適切ではない。この場面において多用される表現としては後述の「⑨介護行為の拒否・否定的反応への対応」と重なる部分がある。

### ③相槌表現

藤田(2021)では利用者の発話に同意を示す「はい」や「ええ」が会話文の中に散見され、これらを利用者の言葉を否定しない「受容」の要素として捉え、「共感的なコミュニケーション」とした。しかし、利用者の発話や表情、抑揚などから感情を読み取り同調することは、感情の共有に他

ならず、それによって情動的にも認知的にも「共感」の要素は強く含まれているといえる。

#### ④利用者の持ち物や利用者本人を褒める表現

藤田（2021）は、利用者の自己肯定感を高める目的で利用者の持ち物や家族、能力を賞賛することがあると指摘し、利用者の状態や趣味嗜好を把握していることが前提であるとしている。しかし、これは利用者の様子から感情を読み取り「共感」を示すのではなく、介護職が先に気づいたことを利用者に伝えて感情を引き出そうとしている。介護職の感想を述べる中で賞賛の言葉が含まれる場合は、介護職が利用者の趣味嗜好を把握していたとしても「共感」を示しているとはいえないが、利用者の発話を受けて賞賛の言葉をかける場合は感情の共有という側面が強い「共感」とみなすことができるだろう。

また、利用者本人の能力を賞賛するとき、「お疲れ様でした」のような労いの声掛けをする例が確認された。このとき、利用者の努力・頑張りを理解していることを示すと同時に、達成感による喜びや疲労感を共有しているという点で「共感」の要素が含まれているといえるが、抑場によっては、利用者を見下しているかのように捉えられてしまう恐れがある。

#### ⑤困っている利用者、体調が悪そうな利用者とのやりとり

藤田（2021）は、声掛けなどをして利用者の様子を伺い状態を確認し、緊急を要するかそうでないかを判断することが「共感的なコミュニケーション」としている。利用者の異状を理解した上での発話であることは明らかであるが、それもあくまで介護職の主観から異状であると判断したのであり、「どうなさいましたか」「大丈夫ですか」といった体調確認の声掛けは感情の共有を目的とはしていない。相手を理解しようとする姿勢は感じられるが、介護職が聞き手に回っている場面ではないので、藤田（2021）の挙げた例を「共感」とするのは適切ではない。

ただし、「お腹が痛い」と訴える利用者に対し「お腹が痛いんですね」と返した場合や、利用者がその苦痛からうめき声しか上げられず、具体的な説明ができない場合であっても同様で、それらに対する応答は、①でも述べたような認知的な「共感」が含まれているとみなすことができる。

#### ⑥利用者の趣味や好きなもの・ことに関する話題

##### ⑦家族などの人間関係に関する話題

##### ⑧利用者や介護職の体験に関する話題

藤田（2021）は「話題」を分析の観点としたが、⑥⑦⑧に該当する会話文の中には、複数の話題が含まれるものもあり、何を主題とするかによって分類が変わってしまう懸念があった。また、特定の話題において多く用いられる表現の中には「言語的やりとり」にあたるものも含まれているため、分析の観点としてこの二者を明確に区別できていたかという点には疑問が残る。本稿においては語学指導において提示する具体的な表現に焦点を絞るため、再検討にあたって「話題」の観点は考慮しないものとする。

## ⑨介護行為の拒否・否定的反応への対応

介護職と利用者との間の信頼関係や利用者の状態が良好ではないときなどは、介護行為を拒否されてしまう可能性がある。しかしながら、介護職はあくまで介護行為の遂行を目的としているため、そういった事態に陥ったとき、何とかして利用者の同意を得るための働きかけをしなければならぬ。藤田（2021）において利用者の同意を得るためのテクニックとして「メリット、デメリットの提示」「譲歩」「勧誘」などが確認できた。時には利用者の言動が正しくない場合も考えられるが、それでも不安などの感情を抱えていることは事実であり、介護職はそれを理解した上で利用者の感情に寄り添う対応が求められる、こういったケースでは、感情の共有以上に相手を理解する側面が強く現れている「共感」とみなすことができる。こういった介護拒否への対応は、認知症を抱える利用者への対応として提示される場合もある。

(2) フン 田中さん、今日は歩行練習の日ですよ。

出かけますから、窓を閉めますね。

田中 外は寒そうだから、いやだなあ。

フン ずっと部屋にいと、運動不足になりますよ。

少しいいですから、いっしょに散歩しましょう。

外に出ると気持ちがいいですよ。

田中 そっか。

じゃあ行こうか。

（アークアカデミー：2017 p. 39より）

## ⑩コミュニケーションの技法が確認できるもの

藤田（2021）は、日本医療企画（2018）が示した技法も「共感的なコミュニケーション」として扱った。(3)の下線部は、利用者の言いたいことを察知して確認しつつ、利用者の頑張りを賞賛する意図も感じられる。また、(4)の下線部は利用者が言おうとしている言葉を理解し、代わりに言語化する明確化や、詳しく説明する言い換えの技法が用いられている。どちらも相手の言いたいことを理解しているという点で認知的な側面の「共感」の要素が表れているといえる。例3については浅野（2010）の「確認型応答」にも該当する。しかし、藤田（2021）では「コミュニケーションの技法が用いられているもの」として分類したが、それは「言語的なやりとり」の観点からみた①～⑤に重なるものも多く、明確に区別できているとはいえない。

(3) 〈利用者さんと、リハビリ室で〉

田中 フンさん、見て。

だいぶ歩けるようになったでしょう。

フン 本当だ。

田中さん、いつも熱心に、リハビリに取り組んでいますよね。

田中 うん、また家に帰るのが、私の希望だからね。

(アークアカデミー：2018 p. 151より) 下線は筆者によるもの)

(4) 田中 だから、リハ…。

FUN リハビリテーション。

田中 カタカナのことばは、難しいね。

FUN そうですね。

身体の機能を回復するための訓練ですよ。

(アークアカデミー：2018 p. 151より) 下線は筆者によるもの)

以上のことを整理し、藤田（2021）における「共感的なコミュニケーション」を改め、「共感的な表現」として表2に示す。藤田（2021）の分類において重複していた箇所を改善し、表現の例、目的の項を加えた。語学指導にあたっては、「共感」の概念とともに表2に該当する表現を学習者に提示することができる。

表2 「共感的な表現」

No.	名称	表現の例	目的
①	利用者の多様な話し方への対応	・普通体、方言、アイコンタクト等を受けて、相手の様子をみながら話す丁寧語	相手の心情、意図、言いたいことを理解する。
②	相槌	「はい」「ええ」「なるほど」 「そうですか」 「そうなんですね」	相手に対し、話を聞いていること、心情を理解していることを示す。
③	賞賛・労い	・利用者の持ち物や家族への賞賛（主観的感想は除く） ・利用者本人への賞賛・労い 「お疲れ様でした」	相手の心情の理解 達成感や疲労感などの共有
④	困っている利用者、体調が悪い利用者への対応	・利用者の訴えに対し理解を示す応答（聞き返しによる確認など）	相手の異状、痛み、苦しい心情を理解し、時に寄り添う。
⑤	介護拒否への対応	・メリット、デメリットの提示 ・勧誘・提案・依頼 「～ませんか」「～ましょう」 ・譲歩	相手に理解を示しつつ、否定しないよう注意しながら介護行為を遂行するための同意を得る。



		「少しでいいので」 ・代案の提示、提案 「～はどうですか」	
⑥	その他	・明確化 ・言い換え ・聞き返しによる確認 ・話題の継続 など	相手の心情、意図、言いたいことを理解する。

#### 4. 「共感的な表現」の導入・指導について

藤田（2021）は、分析対象となったテキストの中で「共感」を表す表現が導入されている4冊のうち、4冊全てで「よかったですね」が導入されていることを明らかにすると同時に、コミュニケーションの技法等を導入しているものが皆無であったことから「共感的なコミュニケーション」の指導は少なくとも初級の時点では重視されておらず、表現のバリエーションも少ないと結論づけたが、既存のテキストの内容をまとめるだけにとどまっており、学習者がそれらの表現を習得するための難易度や順番等は特に考慮されていない。ここでは、本稿で改めて提示した表2の表現をテキストにどのようにして取り入れるかを検討する。

##### 4.1 「共感」の概念の導入

本稿における「共感的なコミュニケーション」の再検討の結果、介護現場において求められる「共感」は感情の共有よりも相手の理解という認知的側面が強く現れているといえる。これはあくまで介護場面では業務の遂行が最終目標であること、利用者との信頼関係を損なわないようにする配慮が常に介護職に求められることが理由として考えられる。

藤田（2021）の分析対象の一つである加藤・奥村・生出（2019）は、利用者の気持ちを考えながら聞くことを「傾聴」、利用者の言葉や感情をそのまま受け止めることを「受容」、その気持ちを理解して寄り添うことを「共感」とし、簡略化した説明と多言語による翻訳で学習者が理解しやすいように提示しているが、「同じ立場に立つ」という要素は「共感」の説明に含まれていないほか、「共感」の表現が会話文の中だけで提示されているため、学習者が実際の現場で用いることのできる表現のレパートリーの数に限られてしまう恐れがある。利用者とは対等な関係でいることは、介護の大前提であるため、介護技能の講習等では必ず導入されるが、日本語学習の側面もある教材においても、利用者との関係についての記述を挟むことによって、学習者の誤解、混同は避けられる。

初めて介護について学ぶ学習者（日本語能力としては初中級程度）を対象とする加藤・奥村・生出（2019）は介護技能としての「傾聴」の導入と同時に「傾聴」「受容」「共感」を、多言語の翻訳とともに新出語彙として提示している。「共感的な表現」の導入については後述するが、「共感」の概念については、初級～中級の時点であっても語彙として導入することは可能であると考えられる。



介護指導テキストは専門日本語教育の教材としての要素は薄いという側面があるが、「傾聴」「受容」「共感」などの概念については介護職の基本姿勢であり、また介護技能評価試験や介護福祉士試験においては知識としてこれらの概念の理解が求められるため、介護技能と並行して語彙や表現を習得させる構成は介護職の育成を図るテキストとして理に適っている。ただし、実践の場で不適切な表現の使用を避けるためには、利用者と介護職の対等な関係を強調し、「同情」と区別されることは示すべきだろう。藤田（2021）は介護職の対応としての好例、悪例を事例として提示することが効果的であると主張した。

## 4.2 言い換えのレパートリーを増やすための指導

藤田（2021）は、内容にかかわらず会話文が収録されているテキストを対象としたため、コミュニケーション技術ではなく漢字や語彙の習得を目的としたものなども含まれていた。また、介護の日本語に関する記述と同程度以上の分量で介護技能に関する記述がみられるものが大半であり、専門日本語教育のテキストとしての要素は留学生向けのものよりも薄く、明確化や聞き返しによる確認といった技法についての解説は特になされていない。本稿は言い換えの技法が何より重要で指導が困難な技法であると考ええる。

介護拒否への対応に関しては勧誘や提案の表現が用いられるため、細かな表現の違いを学習者が理解するためにテキスト内で示される必要があるが、「共感」の表現が会話文の中のみで提示されている現状では、田辺（2018）が主張しているように、学習者が会話文の内容をそのまま記憶してしまった結果、実際に用いることのできる表現のレパートリーが限定され、場面や利用者の状態に応じて適切な声掛けを行うことが困難になる恐れがある。

言い換えのレパートリーを増やすためのテキストのつくりとして、短めのフレーズという形で似たような表現を列挙し、それらが用いられると想定される場面や具体例を同時に提示するものが考えられる。例えば、既存のテキストにおいては「よかったですね」が「共感」の表現として複数のテキストにて取り上げられているが、同様の表現としては「(それは) いいですね」「(それは) 素敵ですね」なども考えられる。しかし、この三者は常に言い換えが可能というわけではない。

- (5) a. 山田 近所の公園で、親戚と花見をしたときの写真だよ。

夜中までお酒を飲んで、たくさん食べたよ。

フン いいですね。

(アークアカデミー：2018 p. 123より)

- b. 木村 じゃ、あとでカメラを持って行きたいなあ。

春の花の写真をたくさんとって、山田さんに見せてあげよう。

フン いいですね。

(アークアカデミー：2018 p. 137より)

(5)a)の「いいですね」は、利用者の過去に体験した嬉しい出来事に関する発話への応答であり、「よかったですね」「素敵ですね」と言い換えても問題はないが、(5)b)の「いいですね」は利用者の提案に同意を示すものであり、「素敵(なアイデア)ですね」などと言い換えることはできても「よかったですね」と言い換えることはできない。また、(6)のように介護職から利用者へ働きかける声掛けとして用いられる場合もある。

(6) ハン 昨日38度あった熱が下がりましたね。

よかったですね。

ご気分はどうですか。

前田 ええ、大丈夫。

(田辺：2018 p. 141より)

厳密には(6)の「よかったですね」は介護職の主観的な推測・判断に基づく発話であるため「共感の表現」とは異なるが、介護の日本語の習得を目的とするテキスト内においては、似たような表現であっても互いに言い換えることができない事例があることを徹底して示す必要がある。そのためには、あくまで介護職養成のために介護技能と日本語の両方を指導している既存のテキストに先述の内容を単純に加えるのでは不適切だろう。収録する表現については介護現場の言語使用の実態に即したものを吟味する必要があるが、本稿では、既存のテキストを用いての学習の補助となるような単語帳に近い形で提示するのが望ましいと考える。

#### 4.3 使用を避けるべき表現を明示する

4.2とは逆のアプローチとして、利用者に対して用いるのはタブーとされる語彙、フレーズ等を指導する方法も考えられる。この場合、会話場面における言い換えのレパートリーの増加は期待できないが、利用者への発話として適切ではない例を提示することで、介護業務の遂行上、利用者を傷つけてしまうなどの事態を避けることができる。

介護においてやってはいけない言動として、指示・命令、利用者の否定・侮辱・脅迫、上から目線などがある。これらに該当する初中級レベルの語彙・表現の中で代表的なものは「だめ」や「～ではいけません」、「嫌」などが挙げられる。学習者が知らないレベルの難解な侮辱表現などについてはそもそも導入する必要はなく、既習内容(初中級レベル)の語彙、表現で誤って用いる恐れのあるものに限定できるため、その分指導も容易であると考えられる。また、藤田(2021)の分析や宮崎・中野・早川・奥村(2017)において確認された指導法として、事例問題等のドリル形式を採用し、良い例と悪い例を提示するというものがある。

懸念すべき問題として、依頼のつもりで発した「～てください」が、利用者に強制力を感じさせてしまう(指示・命令として捉えられてしまう)ケースなどがある。こういった事態を避けるためには、発音指導も少なからず行われる必要がある。技能実習制度においては、学習者は実習の開始前に日本語と並行して職種ごとの専門技能を学ぶため、技能の授業内でロールプレイを行えば、そ

の都度学習者の発音や使用する表現などを確認し、個々人に合わせた指導を行うことができるが、発音指導を介護の日本語テキストにおいてどのように行うか、また導入することの是非については、介護現場における外国人介護職の言語使用の実態を明らかにしたうえで考察することが望ましいため、今後の課題とする。

#### 4.4 まとめ

結論として、既存のテキストのつくりでは、収録できる日本語教育的内容のボリュームに限界がある。田辺（2018）は代表的な介護場面ごとに頻出する声掛け表現をフレーズとしてまとめ、シャドーイングで学ぶことで発音上の課題にも対応している。「共感の表現」を中心として利用者の発話に対する適切な応答についても同様の形で教材として作成することは十分可能であると考えられる。ただし、先述したように、時として言い換えがきかない事例も事実存在する。学習者の誤用を避ける工夫は取り入れられるべきだが、実際の介護現場においてみられる誤用や、トラブルの事例にみられた表現などに限定していく必要があるだろう。

#### 5. おわりに

本稿では藤田（2021）における「共感的なコミュニケーション」を再検討し、それらの語学指導に活用しやすい形で改めて提示した。また語学指導については「共感」の概念の指導とともに言い換えのレパートリーを増やすこと、使用を避けるべき表現を提示するアプローチ等が考えられる。特に前者については介護現場の実態に即した内容が求められるため、日本に滞在する外国人介護職の言語使用状況の調査を行う必要がある。また、「共感の表現」に限らず、介護の日本語の評価に関しては今後も検討されていくべきだろう。

---

#### 注

- 1) 『令和3年版高齢社会白書』（内閣府：2021）では、2025年には日本の高齢化率（65歳以上の人口割合）が30%に達すると予測されている。
- 2) 「介護職種について外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律施行規則に規定する特定の職種および作業に特有の事情にかんがみて事業所管大臣が定める基準等」（平成29年厚生労働省告示第320号）において、①「技能実習1号」を取得する時点で日本語能力試験のN4またはそれに相当する日本語能力を有していること、②「技能実習2号」を取得する時点で日本語能力試験のN3またはそれに相当する日本語能力を有していることが「介護」の固有要件として定められている。
- 3) 布尾（2018）は、介護現場における日本語能力を、従来の日本語能力試験における評価基準で測ることは適切ではないと主張している。
- 4) 2020年2月13日（木）～同年3月16日（月）にかけて兵庫県神戸市で開講された「介護資格取得スクールK校 介護職員初任者研修 2月平日短期コース」において日本医療企画（2018）がテキストとして使用されていた。

- 5) KCDSは、西郡（2019a）の技能実習2年目に必要な日本語のレベルとされる68項目、西郡（2019b）の技能実習2年目に到達していることが望ましいレベルとされる48項目で構成されている。
- 6) 藤田（2021）は、（i）利用者と介護職の会話文が収録されていること。（ii）対象の日本語レベルが初級修了以上であることの2点を満たす以下の11冊を分析対象とした。
- ①アークアカデミー（2017）『介護・看護の漢字とことば N4レベル編』三修社
  - ②アークアカデミー（2018）『介護・看護の漢字とことば N3レベル編』三修社
  - ③アークアカデミー（2019a）『外国人介護士のための声かけとコミュニケーションの日本語 Vol.1』三修社
  - ④アークアカデミー（2019b）『外国人介護士のための声かけとコミュニケーションの日本語 Vol.2』三修社
  - ⑤一般社団法人国際交流&日本語支援Y編著（2019）『外国人のための 始めよう！介護の日本語—介護現場ですぐに使えるコミュニケーション—』株式会社光洋スクエア
  - ⑥一般社団法人国際交流&日本語支援Y編著（2020）『外国人のための 会話で学ぼう！介護の日本語 第2版』中央法規出版
  - ⑦株式会社TOPランゲージ（2018）『外国人のための介護の日本語100時間【ベトナム語訳】』株式会社TOPランゲージ
  - ⑧加藤真美子、奥村恵子、生出亜希（2019）『介護のにはんご1年生 現場でさいしょに使うことば・表現』アスク出版
  - ⑨加藤美知代、桑原禎子、小林秀樹、黒木葉子（2020）『写真とイラストでわかる！外国人のためのやさしい介護 N4レベル』アスク出版
  - ⑩田辺淳子（2018）『シャドーイングで学ぶ介護の日本語 場面別声かけ表現集』凡人社
  - ⑪三橋麻子、丸山真貴子、堀内貴子、西己加子（2017）『はじめて学ぶ介護の日本語 基本のことば』スリーエーネットワーク

## 参考文献

- アークアカデミー（2018）『介護・看護の漢字とことば N3レベル編』三修社
- 浅野良雄（2010）「共感的態度を評価するための一方法—確認型応答という概念の導入—」『医学教育』第41巻 第3号pp.175-178 一般社団法人日本医学教育学会
- 加藤真美子、奥村恵子、生出亜希（2019）『介護のにはんご1年生 現場でさいしょに使うことば・表現』アスク出版
- 田辺淳子（2018）『シャドーイングで学ぶ介護の日本語 場面別声かけ表現集』凡人社
- 日本医療企画（2018）『介護職員初任者研修課程テキスト2 コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解（第4版）』株式会社日本医療企画
- 布尾勝一郎（2018）「介護分野の外国人技能実習生に求められる日本語能力はいかに議論されたか：厚生労働省有識者検討会を題材に」『佐賀大学全学教育機構紀要』第6号pp.71-83佐賀大学全学教育機構
- 藤田航輝（2021）「日本語教育の観点からみた外国人向け介護指導テキストへの提案—介護指導テキストの会話文における「共感」の表現に注目して—」神戸大学大学院国際文化科学研究科修士論文（未公開）

- マーク・H・デイヴィス（1999）『共感の社会心理学』 菊池章夫 訳 川島書店
- 宮崎里司、中野玲子、早川直子、奥村恵子（2017）『外国人介護職への日本語教育法 ワセダバ  
ンドスケール（介護版）を用いた教え方』 日経メディカル開発
- Rogers, Carl. 1957. The necessary and sufficient conditions of therapeutic personality change. *Journal of  
Consulting Psychology*. 21. 2. 95 - 103. American Psychological Association.

### 参考資料（最終情報取得日：2022年2月11日）

- 西郡仁朗（2019a）『介護の日本語Can-doステートメント（KCDS）K2aレベル』  
（<http://nihongo.hum.tmu.ac.jp/KCDS/KCDS%20K2a%20J.pdf>）
- 西郡仁朗（2019b）『介護の日本語Can-doステートメント（KCDS）K2bレベル』  
（<http://nihongo.hum.tmu.ac.jp/KCDS/KCDS%20K2b%20J.pdf>）
- 内閣府（2021）「1 高齢化の現状と将来像」『令和3年版高齢社会白書』  
“第1章 第1節 高齢化の現状” pp.2-6 内閣府ホームページより  
（[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s1s\\_01.pdf](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s1s_01.pdf)）
- 厚生労働省（2019）「介護職種について外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護  
に関する法律施行規則に規定する特定の職種および作業に特有の事情にかんがみて事業所管  
大臣が定める基準等」（平成29年厚生労働省告示第320号）厚生労働省ホームページより  
（[https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11800000-Shokugyounouryokukaihatsukyo  
ku/0000178822\\_1.pdf](https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11800000-Shokugyounouryokukaihatsukyo<br/>ku/0000178822_1.pdf)）

## 英米文化としてのリベラリズムの系譜

山田 利一  
北洋大学

A Genealogy of Liberalism as an Anglo-American Political Tradition

YAMADA Toshikazu  
Hokuyo University

Liberalism became popular with John Locke's book, *Two Treatises of Government* published in 1690. But there had been an ancient flow of liberalism in England since the Magna Carta. English kings were always feud with the aristocracy in the Middle Ages, and then with the bourgeoisie in the early modern age. After repeated conflicts and compromises the English kings became constitutional monarchs in the late seventeenth century when the Glorious Revolution was successful.

The United States of America became an independent country thanks to liberalism. Yet the idea changed into an egocentric one, that is to say, libertarianism in the South where local despotism was often antagonistic toward the central government mainly represented by the North. The southern leaders firmly believed in *laissez faire* and wished to be independent from or at least keep away from the national authorities. Their true aim was to line their pockets by being free from the laws and regulations of the central government. Their libertarianism is nothing but a curtain that hides their plutocracy. Under the banner of libertarianism the southern oligarchs have been plotting to establish a free zone within a free country.

## 序

日本では「リベラリズム」は「民主主義」や「人権」と共に、「自由の国アメリカ」を象徴的に示す言葉としてとらえられているようだ。実際、「戦後民主主義」は「アメリカ」と表裏一体の関係にある。「アメリカ」不在の日本の「戦後民主主義」は存在しない。同様に、日本ではアメリカ抜きにリベラリズムを語ることも不可能である。ならばリベラリズムはアメリカ「原産」なのだろうか？

興味深いことに、アメリカ人の多くもそれがアメリカ固有の概念だと信じている節がある。冷戦下の1950年、著名な文芸評論家ライオネル・トリリングは、「リベラリズムは、アメリカの大きな知的伝統であると同時に、唯一の知的伝統でもある」と述べている。<sup>1</sup>

他方、「アメリカ人は、リベラリズムが英米に共通する価値観 (an Anglo-American tradition) だと教わってきたので、それがフランス革命に由来すると知ったらびっくりするだろう」という発言もある。<sup>2</sup>

フランス革命がリベラリズムのルーツであるか否かは、この思想のとらえ方による。本稿では、ジョン・ロックの著書『市民政府論』(*Two Treatises of Government*)<sup>3</sup>の核心理念をリベラリズムとする。すなわち、ロックによれば、人間は誕生した時から自由に生きる権利(自然権)をもち、他人からその権利を奪われることはないのである。そして「他人」とは権力者(君主)を指す。彼の考えでは、人間はもともと、自然状態にあったとき、自由で、他人から束縛されたり、命や財産を奪われることはなかったのである。ところが文明が誕生し、貧富の差が生じ、さらにそれが身分の差となり、人間は支配する者(自由な者)と支配される者(不自由な者)とに分かれてしまったが、これは間違いだというのである。なぜならば人は神の前において平等だからである。ロックはこの基本原理が無視され、君主による専制に異論を呈したのである。

自然法の下では、君主が他の人間の上に立つ根拠は存在しないのである。にもかかわらず彼は暴力や権威を振りかざし臣民の生命や自由、財産を奪うことができるのである。ロックはこの理不尽な現実を変え、彼自身を含めた人間の生命と自由、財産を守る正統的根拠を示し、王権による不合理な搾取や略奪を阻止しようとしたのである。この考え方、人間には神から与えられた、自由に生きる権利があり、何人もこれを侵害してはならないとする思想、これがリベラリズムである。

とはいえ、彼が活躍した17世紀末において、「リベラリズム」という言葉は存在しなかった。名詞「リベラリズム」が合成される前から存在していた形容詞「リベラル」も、基本的には「寛大」もしくは「偏見にとらわれない」の意味であり、「自由」の意味が付加されたのは1772年以降のことであった。<sup>4</sup> 英語の「リベラリズム」は、19世紀はじめにフランスで造語された「リベラリスム」(liberalisme)から来た外来語である。<sup>5</sup> 『オックスフォード英語辞典』(*OED*)によれば英語 liberalismの初出はロックの死後1世紀のち、1819年のことであった。そしてそれがアメリカで最初に使用されたのは1912年になってからのことであった。<sup>6</sup>

しかし、たとえ言葉は不在であってもリベラリズムという想念(本質)は確実に存在していた。一般に言葉は現象を後追いで定義づけるのであって、言葉がないから実体がないということにはならないのである。いずれにせよ、リベラリズムはフランス革命に先立って存在していたのであり、



そのルーツをフランス革命に求めるのは適切ではない。フランス革命は、先行して存在していたリベラリズム思想の具現化、あるいは応用の一例ととらえるべきであろう。同時に、フランスにおいて、この思想に質的变化が生じたことは疑いのない事実である。上述したように、ロックは神の存在を当然のこととし、さらにその権威を利用して自説を展開したが、フランス革命は完全に神を否定し、王権と教会との癒着を断ち切り、教会制度を破壊し、政教分離を行ったのである。

何はともあれ、本稿が目的にするのは、リベラリズムがイギリス人——正確にはイングランド人——によって着想され、その地において、また植民地アメリカにおいて発展した経緯を明らかにすることである。付言すれば、リベラリズムはアメリカの風土の中で独自の進化を遂げた。そして生まれたのが、南部を中心に自己中心的な、野放しの自由を叫ぶリベタリアニズム (libertarianism) である。いずれも個人の自由を価値を置く思想だが、ロックのそれと、20世紀アメリカにおいて急成長を遂げたそれとは似て非なる思想である。以下に詳しく論じたい。

## 1章 リベラリズムの土壌

イングランドでは王と有力貴族の間でしばしば緊張関係が存在し、王権の乱用を阻んでいた。貴族は王の言いなりにはならず、言うべきこと (権利) を主張し、王と対峙した。この駆け引きから臣下に対する王の主権は絶対的ではなく、相対的にならざるをえなかった。他方、貴族は形式的には王に服従しつつも、実質的には独自の存在感を示した。団結すれば彼らはいつでも王権に挑戦することができたのであり、この威圧感を武器に自己の権益を守っていたのである。つまり彼らの主張 (権利) とは権益 (財産) と表裏一体であった。後世、ロックが自由と財産を併置させたが、両者は一体のものと考えるべきである。

いずれにせよ、貴族の既得権を無視したイングランド王は反乱という脅迫を受けることになった。実際1215年、最初の事件が起きた。フランスでの王位継承に関与したジョン王は戦費調達のために課税を強化した。すると貴族たちは反発し、王と対峙した。彼らは王に、武力行使の威圧をかけつつ、議会を通じた彼らの意向、すなわち法に基づく統治 (法治主義) を行うよう求め、譲歩を引き出すことに成功した。このとき王と議会が交わした誓書が大憲章 (マグナカルタ) である。この誓約により王の絶対性は消滅し、王といえども法秩序に従わなければならなくなった。一方、貴族の側にすれば自己の生命と財産を理不尽な形で王から奪われることがなくなったのである。この状態、生命と財産の保障、これが個人の権利に他ならない。マグナカルタはこれを保障したのである。<sup>7</sup>

ちなみに後世、ジョン・ロックは個人の自由 (civil liberty) を声高に主張したが、ロックによれば、それは「生まれながらにもっている権利 (自然権)」(Man being born, as has been proved, with a Title to perfect Freedom, and an uncontroled enjoyment of all the Rights and Privileges of the Law of Nature, ...) <sup>8</sup> であって、法律によって保障されるべきものではないし、ましてや支配者から恩恵として特別に付与される特権でもない。マグナカルタ成立以前のイングランドにおいては、個人の自由は権力者が臣下に与える特権であり、これが当時の常識であった。参考までに紹介すれば、「権力者が臣下に与える特権」の意味での最も古い用例は、OEDによれば、1166年であった。

いずれにせよ、次章で詳しく述べるが、ロックの著書によりリベラリズムの概念が確立したが、その源流はマグナカルタにあったといえる。

さてそのマグナカルタにより、いわば立憲君主制が確立されたはずだが、法の精神は時の経過と共に形骸化し、忘却されてしまった。そして後世のイングランド王が少なからず専制君主と化した。その代表が16世紀前半のチャールズ1世である。彼もジョン王と同様に議会に諮ることなく軍事費調達を強行した。くわえて彼はイングランド国教会の改革・浄化を求めるピューリタンを弾圧した。当時は進歩的な思想であったプロテスタンティズム——イングランドではピューリタニズム——の信奉者の多くが富と教養をもつ都市の新興階級（ブルジョア・「市民」）であり、社会的および政治的に大きな影響力を有していた。その結果、彼らは武力を持って専制君主の非道に抗し、体制を覆した。チャールズは処刑され、イングランドは共和国になった。

だが皮肉なことに、専制君主を倒したピューリタン革命の立役者オリバー・クロムウェル自身も後に独裁者と化する。そこで彼の死を契機に政治は逆回転し、1660年、オランダに亡命していたチャールズの息子がチャールズ2世として即位することになった。その際、彼は王位に就く条件として、専制君主にはならないと明言していたが、いざ王位に就くとカトリック偏重の反動政策を行い、議会と対立した。そして彼の死後、弟がジェームズ2世として即位したが、兄と同様の暴君となったため議会により国外追放された。

にもかかわらず共和政は復活せず、議会は1688年、ジェームズ2世の娘メアリと、配偶者で事実上のオランダ国王であったウィレムを新君主として迎え入れた。この際、ふたりは法治主義遵守を約束したが、その誓約の中身が権利の章典（Bill of Rights）であった。これによりイングランド国王は憲法に拘束される、史上初の立憲君主となった。

以上のように、イングランドにおいては、貴族と資産階級（市民）は横暴な君主の悪政に抗議し、対峙し、これに挑戦することを繰り返し、生命と自由、財産を守ってきたのである。つまりイングランドの歴史には、マグナカルタ以来ずっと暗黙の、粗野なりベラリズムが底流として流れていたと言える。ロックの思想、彼のリベラリズムは当然この文脈の上に築かれたのであり、すべてが彼のオリジナルということではない。彼の業績は、イングランド社会に断片的に埋もれていたリベラリズムを収集し、体系化したことにあると言える。

実際、『市民政府論』の中で彼が言及しているように、彼が活躍した時代よりも1世紀前、神学者リチャード・フッカーはすでに人間の平等性を説いていたし、イングランド教会の高位聖職者トマス・ビルソンも王権篡奪の可能性を論じていた。そしてロックの同時代人ウィリアム・バークレーは国王に対する抵抗権に言及していたのである。<sup>9</sup>

## 2章 ジョン・ロックの思想

ロックの思想は、イングランド政治哲学の伝統を受けつつも、やはり画期的であるといえる。『市民政府論』における彼の主張のエッセンスを取り出すと次のようになるだろう。①「共同体」（社会や国家）成立以前の自然状態においては、人間は自由で平等であった。②しかし自然状態は必ずし

も平和ではないので（自然法を守らず、他人の自然権[生命や自由、財産]を奪う者が出る可能性がある）ので、人間は自然権を守るために共同体（国家）をつくり、それに自然権をゆだねる。③しかし共同体（国家権力）が自然権を保全するのではなく、それを奪う可能性がある。④その場合は権力を変えなければならない。

ロックが活躍した17世紀は中世（封建時代）が明けた時代とはいえ、支配する者（君主）と支配される者との格差は大きかった。また被支配者は多様で、君主と肩を並べるほどに財力と武力を有する大貴族から、社会の末端に位置した、ほとんど奴隷と変わらない農業労働者（農奴）まで多様であった。そんな時代に、人間は自由で平等だとする発想はまったくユニークであった。とはいえ、ロックが言及した「人間」は誰かという問題がある。これは1世紀のちのアメリカ独立宣言書についてもいえる問題である。独立宣言の中に言及されている「われわれ」（We）や「すべての人々」（all men）は誰を指すのかという問いでもある。

少なくともロックが言及している「人間」の対象が農奴であったということはない。彼にとっての人間は、社会の上層に位置し、国家や地方の政治動向を決定する場にいる人、あるいはそこにアクセスできる人のことで、具体的には、そして中世においては王を含む貴族と大商人（ブルジョア）、それに貴族と自営農民の間に位置する地主階級（gentry）が上流階級を構成していた。たとえば14世紀、英仏百年戦争当時に宮廷人そして官僚として活躍した詩人ジェフリー・チョーサーがその典型である。彼の父はワイン商人（vitner）であったが、商売を通じて貴族との交流があり、息子を宮廷に仕官させることができたのである。

ロックの生きた17世紀には社会・経済が発展しており、大商人でなくても、すなわち数世代続く中流の資産家（プチ・ブルジョア）であれば政界へのアクセスをもつことができ、広い意味では政策決定に関わることができたのである。ロックの家庭もそのような資産家（the men of property）<sup>10</sup>であった。ロックが言及した「人間」とはこのような人々のことであり、彼が市民社会（Civil Society）に言及した時の「市民」もこのような人々を指していたはずである。

今日の視点では、中流階級は恵まれた社会的地位におり、ある程度の自由も享受していたと考えられるが、貴族と比較するとどうい自由な身分とは言えなかった。要するに彼はこの不合理を指摘し、その是正を訴えていたのである。ブルジョアも貴族と同じ人間である、というのが彼の本音であったと考えられる。

次に、彼が『市民政府論』の中で問題にしたのは、国家を動かす人や組織が暴走することに対する警戒心であった。彼は著書の中で「政府には民主制、寡頭制、君主制の3種がある」と述べているが、いずれの場合においても、政府が（彼が考える）国家の目的——自由と財産を守ること——を実行しないどころか、政府により自由や財産が奪われる可能性があることを危惧している。とりわけ彼が恐れたのが君主制である。なぜなら「君主は立法権も行政権も独占している」し、私利私欲のために権力を乱用する傾向があるからだ。<sup>11</sup> それゆえ、君主の統治は、議会での立法に基づかなければならない、とする君主独裁に対する防護策を提案したのである。これなくしては、貴族も同様だが、ブルジョアは君主の気まぐれで突発的な徴税命令により、財産を減らされる可能性を甘受しなければならないのであった。よって、ロックは何としてもこのような不合理を除去したい

と望んだのである。

上で述べたように、ロックは資産家の出身である。井上公正氏の研究によると、ジョン・ロックの4代前は、

……ヘンリー八世の宮廷の絹織物などの御用商人、ロンドンの市参事会員になり、1548年には執政長官に就任し……祖父ニコラス・ロック(1574-1648)は、織物(服地)製造販売業者であり……土地を買って地主(ジェントリ)となり、同時に毛織物を営む織元となっている……。

そして彼の父は、

……父祖からの生業を継がず、つまり、この投機的ではあるにしても収益の高い職業には従事せず法律家になった。複雑な人間関係を嫌ったのかもしれない。彼は Pensford にいくらかの土地をもつ小地主で、下層ジェントリの末端に連なる弁護士であり、チャー・マグナの治安判事フランシス・パーパーの書記を勤めたともいわれている。

さらに、

このようなロックの父の資産状態は、父自身やその息子(哲学者)が紳士としての体面を保つには心もとなかったが息子を学校に遣るなどして、後年偉大な思想家になる資質を延ばさせるには十分であった。<sup>12</sup>

ちなみに、当時の「紳士」は、今日的な意味とはことなり、貴族に準じる身分を指していた。<sup>13</sup> いずれにせよ、このような家庭的背景を負っているがゆえに、彼はしきりに「財産」に言及したと考えられる。今日では「自由」は政治的な意味で用いられるが——ロックの語法にももちろんこの意味は内包されてはいるが——彼にとっての自由は財産とセットになっているのである。自由とは財産をもつことで、財産は自由——権力からの自由——が前提となるのである。何となれば、悪意のある権力はその気になれば容易に財産を奪うことができるし、それは財産を保有する権利(自由)の侵害にほかならない。同じことは生命についても言える。権力は個人の命を奪うこともできるし、その場合も自由に生きるという権利(生存権)の侵害である。殺害された人間に自由は存在しないのである。それゆえロックは自由を訴えたのである。自由は生命とも財産とも一体なのである。

彼は権力の暴走を恐れ、それから逃れること、自由でいることを痛切に訴えたのである。自由主義(リベラリズム)とは、すなわち権力に干渉されない権利であり、権力から放っておかれる権利の主張に他ならないといえる。裏を返せば、国家は個人の生活(プライバシー)に干渉してはならず、これを放置しなければならないのである。これが、現在ではもっぱら経済政策に関して使用されるが、自由放任(laissez-faire)の原則である。

さらにこの、国家から放っておかれる権利、国家から自由でいる権利は個人主義の芽生えでもあった。十分な財産を有したブルジョアは共同体に依存することなく、一人で、個人で生きていくことができるし、それを望んだ。そして社会の進歩に伴い、富の分配が広まるにつれ、小さな資産家（プチ・ブルジョア）が誕生し、増大し、個人主義もまた社会に浸透していき、最終的には、英米はもちろん、北西ヨーロッパ全体に普及していったのであるが、これは同時にリベラリズムの拡散現象であり、ロック思想の普遍化であったといえる。

### 3章 アメリカのリベラリズム

植民地アメリカには17世紀はじめの開拓当初からリベラリズムが横溢していた。イングランド人の入植は南部バージニア（今日のバージニア州を含む南部大西洋岸一帯）で最初にはじまった。植民地の利用・開発は組織的で、貴族と資産階級による土地の買い占め、そこでの大農園（プランテーション）経営が中心であった。経営者（土地所有者）の中には不在地主もおり、農場の開発・経営は現場代理人に任されていた。特徴的なことは、少数の経営者（家族）が多数の労働者を雇って、農業を行う大規模農業であったことである。サウスカロライナ沿岸部では500～1000エーカーという広大な農園が主流であった。<sup>14</sup> そしてそこでの労働力は、イングランド国内に満ち溢れていた失業者が当てられた。彼らは、農地が羊の放牧地に変換したために失業した農業労働者であった。植民地アメリカの農園主は彼らの渡航費を負担することで、一定年数の労働を約束させた。これを年季労働者というが、事実上の奴隷であった。時をほぼ同じくしてアフリカ人も奴隷として連れて来られた。プランテーション経営者はこのような安価な労働力を入手し、広大な農地でたばこや綿花の栽培を行い、イングランド本国に輸出することで、莫大な富を築くことができたのである。

そして本国の田舎貴族と資産家が地方を支配してきたのと同じように、農園経営者は南部植民地を支配するようになった。少数の資産家が経済を支配するだけでなく、寡頭制政治を行い植民地の中の植民地、「田舎紳士の楽園」を形成し、私利私欲に走る自由主義者（リベタリアン）の独裁支配地域（a liberal autocracy）としたのである。<sup>15</sup>

他方、チャールズ2世の弾圧を逃れたピューリタンは北部プリマス（今日のマサチューセッツ州の一部）に上陸し、そこで宗教共同体、「小さな共和国」（a tiny republic）<sup>16</sup>を形成した。上陸に際し、彼らは船上で建国の誓いを行った。それが「メイフラワー号上の契約」（The Mayflower Compact）である。

この契約によると、政府はピューリタンの代表から成り、法律や規則を制定し、植民地共同体に秩序をもたらす役目を負っていた。一方で、ピューリタンを含む植民地住民はその政府に服従することを約束し、署名した。わずか120名の移民団が政府をもつというのは滑稽に聞こえるが、「法律や規則」を制定できるのは政府である。しかもその政府は選挙で選ばれた代表から構成されるのである。もちろん法律や規則ができればそれらを施行しなければならないが、実際、その後のピューリタン社会はそれを行ったのである。ゆえに彼らが意図した政府は単な



る私的組織ではなく、また「法律や規則」はその会則ではなかったのである。

そして何より大切なことは自治という概念である。ピューリタンは信仰の自由を求めて祖国を捨てたが、彼らは無政府主義者ではなかった。自由はもとより大切であるが、同時に彼らは法秩序の必要も認識していた。にもかかわらず、彼らは君主の恣意的な指示には従いたくはなかった。すると、残された選択は権力の外に出て、自治共同体を結成することであった。ちなみに自治共同体を拡大すれば共和国になる。つまりピューリタンは、アメリカ革命に先立つこと150年以上前に共和制を試みたといえる。<sup>17</sup>

ロックは自然状態が調和的であると考えていた。他方、同時代人のホブズはそこが「万人が万人に対する戦いの場」と想定していた。するとマサチューセッツのプリマスに共同体をつくったピューリタンは、権力からの独立という意味ではリベラリズムを先取りする一方、過度の個人主義、<sup>18</sup> すなわちリバタリアニズムを警戒した点ではホブズ的であったと言える。それどころか、厳格なピューリタンが政府を構成したプリマス植民地は、政教一致の集団主義的・権威主義的社会であり、ロックの自由主義・個人主義とは対極に位置する社会であった。

このように、植民地アメリカは南北でまったく異なる性格の社会を築いていったが、18世紀になると、アメリカは西に向かって領土が拡大した。すると西北部でフランス領に抵触し、それが英仏間の戦争になった。1754年から63年まで長きに及んだ対フランス・インディアン戦争 (French-Indian War) である。この時期、イギリスはヨーロッパ大陸でもインドでもフランスと戦い (七年戦争)、膨大な戦費を消費し、政府は財政危機に直面したが、その打開策として植民地からの徴税に頼ることにした。その結果、関税強化を目的とした砂糖法、あらゆる印刷物に収入印紙を貼ることを求めた印紙法、そして東インド会社による紅茶の独占販売を意図する紅茶法が相次いで施行された。植民地住民は代表不在の議会で一方的に不利な税法が可決されたことに憤った。これ以前、彼らは自由を謳歌していたが、青天の霹靂のごとく資産を侵害されることになったのである。言うまでもなく財産権の侵害は自由の侵害に等しく、彼らは今までの自由と利権を守るためには独立するしか道はないと決断した。

ところで、上で植民地住民に言及したが、この場合の住民は同時代のイギリスの「市民」と同じ資産家階級を指す。イングランド政府の植民地政策により従来の既得権を失うのは資産をもつ人々である。彼らの下で働く労働者や奴隷にとっては失うべき財産や自由ははじめからないのであるし、自分の居場所が植民地であろうが独立国家であろうがまったく関係のないことであった。過酷な税に苦しみ、そのような苦しみを与える国家権力に対する憎しみと敵意を抱いたのは既得権をもつブルジョア階級であったし、初代大統領ワシントンを含め、独立運動の先頭に立った人々は皆、植民地の上・中流階級に属する人々であった。<sup>19</sup>

そして独立運動だが、旗振りを務めたのはトマス・ペインであった。独立闘争がはじまった1776年2月、彼は『常識』(Common Sense)<sup>20</sup>を出版し、独立の意義とメリットを語り、世論をリードした。だがこれはロックの思想のエッセンスにはほかならなかった。ロックが原理を唱え、ペインがそれを実践したのである。冒頭でペインは、イギリスに対する挑戦は「人類の自然権」(the natural

rights of all Mankind) の発動であると断じた。次いで彼は人間の平等と (Mankind being originally equals) 君主制の弊害を説き (an inveterate enemy to liberty)、それを否定した (nature disapproves it)。そしてアメリカは独立することによりヨーロッパ諸国と良好な関係を築くことができ、貿易によって国富を築くことができると論じたのである。

他方、同年7月には「独立宣言書」(The Declaration of Independence, 1776) が公表されたが、この中身もまたロックの思想を体現するものであった。文書の中には「すべての人は等しくつくられており、創造主から生命、自由、幸福追求の権利を与えられた。何人もこの権利を奪うことはできない。以上は自明である」とする文言がある<sup>21</sup>

言うまでもないことだが、戦争は1775年から83年までの長きに及び、最終的には植民地独立軍が勝利し、新国家を樹立することになった。そして1791年、憲法に連なる憲法修正条項として「権利章典」(Amendments to the Constitution) が作成されたが、この第1条で人権保障が以下の様に謳われている。

議会は国教を創設する法律を制定してはならない。またいかなる宗教行為であってもこれを禁じる法律を制定してはならない。さらに言論および出版の自由を制限する法律、国民が平和裏に集う権利および政府に対して不満の解決を請願する権利を減じる法律を制定してはならない。

この条項はロックが深く言及しなかった、信仰を含めた思想信条の自由を保障する内容であり、ロックの思想の背後にあった観念を明瞭に表現している。同時にこれはリベラリズムを明示的かつ具体的に説明する文章になっている。

以上からわかることは、植民地アメリカが独立する原動力となったのはロックの思想、リベラリズムである。アメリカは、リベラリズム理論が現実になった最初の例といえるし、<sup>22</sup> これなくして今日のアメリカ合衆国は存在しないのである。またこの思想の正当性・合理性がここではっきりと証明されたことにより、これがその後の世界に広く浸透することとなった。

独立戦争時、フランスのラファイエット侯爵は独立軍と共に戦った体験をもつが、彼は合衆国憲法が「自由にして高貴なる」(free and liberal) 憲法であると絶賛した。古代ローマ時代から「リベラル」は英語でもフランス語でも「貴族的」な意味を伝える言葉であったが、ラファイエットの表現を通じて、「リベラル」が「フリー」に等しい概念であるという新たな意味が追加されたのである。よって彼の賛辞は「本当にリベラルな憲法」、「自由主義にもとづく憲法」と解釈すべきである。さらに、この画期的な憲法がフランスに届き、人権宣言の土台となった。

より正確に言えば、この宣言はラファイエットと駐仏アメリカ大使トマス・ジェファソンが起草したのであり、「人は生まれながらに自由であり、諸権利を有する」とか「政府の目的はこれらの権利を保護することである」、そして「主権は国民 (the nation) にある」といった文言が謳われ、絶対王政を廃止し、リベラルな国家の創造をめざすメッセージとなっている。<sup>23</sup> 幸か不幸か、この宣言が公表される前に革命がはじまってしまったが、ルイ14世はまだ王位に就いていた。この時点でフランスは国民主権の近代国家に生まれ変わるのか、絶対王政が続くのかの岐路に立っていた。



しかし人権宣言が前者に向かって国民の肩を押したこと、革命の意義を説いたことは明らかであり、リベラリズムは史上第二の近代国家を創造しつつあったといえる。

一方、独立後のアメリカでは、中央集権国家を目指す連邦主義者、主に北部人と、各州の自治を尊重し、「独立国家連合」を望む南部人との意見対立が生じた。北部人は世界の模範となるべき国家の建設を夢見ていた。<sup>24</sup> たえばアレクサンダー・ハミルトンは、広大な国土を秩序的に開発するためには中央政府による周到な計画と公共投資が必須であると考えていた。<sup>25</sup> そうしなければ地域の利害が表面化し、連邦が崩壊してしまうと彼は危惧していた。また強力な中央政権は国民の自由と財産を守るためにも必須であったし、政府は国民の敵ではなく、国民の象徴 (an embodiment of its citizens) であるとも考えていた。<sup>26</sup>

他方、植民地時代から南部人、正確にはプランテーション経営者たちは政府による規制を好まず、個人の自由を極端なまでに主張し (リバタリアニズム)、事業収益を拡大させ、地域社会を支配していた (寡頭政治)。よって彼らは強い権限をもつ中央政府の創造には否定的であった。政府は彼らの自由と財産を奪いかねない存在であったので、可能な限り小さなもの、形式的なものであるべし、というのが彼らの本音であった。双方の主張は折り合いがつかず、今日まで対立が続いている。

一方、イギリスでは19世紀後半に自由党 (The British Liberal Party) が政権を取り、ウィリアム・グラッドストンの指揮下、信仰や言論の自由といった従来からのテーゼにくわえて、「進歩」 (progress) と「改革」 (reform) に取り組んだ。これは具体的にはリベラリズムが軽視してきた社会的平等 (civil equality) を推し進めることであり、<sup>27</sup> 弱者救済であった。従来のリベラリズムは国家と個人との間に距離を置くこと、国家が個人生活に干渉しないこと、国家が個人の自由を尊重すること (自由放任) であった。しかし私利私欲むき出しの資本主義のもとで弱者・貧者が自立向上することは望み薄で、悪循環を繰り返すことは自明であり、真の平等は永遠に実現しない。この社会の構造を改革・改善するためには、政府が積極的に援助の手を差し伸べる必要がある、すなわち自由放任政策を転換する必要があるとする考えが起こった。リベラリズムの変容である。

そしてこの新思想はすぐにアメリカにも伝播した。従来、アメリカでは、古いリベラリズムとリバタリアニズムの間で政治的な綱引きが行われてきたが、いずれにおいても自由放任が原則であった。アメリカは自由の国であり、国民は何をしても自由であるが、その責任は自分で負わねばならないという原理である。しかしこれは強者には有利に、弱者には不利に働いた。南部の奴隷制度がその典型だが、人間を奴隷として酷使することで、すなわち人件費ゼロという好条件により農園経営者は莫大な富を築くことができたのである。彼らには「奴隷を所有する自由」 (the liberty to own slaves) <sup>28</sup>があったのである。これだけではない。たとえば南北戦争後のアメリカでは、信じられないことだが、所得税がなかったのである。また専門職に必要な免許や許可証もなかった。経済活動を規制する規則や監督官庁もなかった。当然、社会保障や医療保険、福祉制度などもなかった。つまり政府が存在しないに等しい状態であり、あるとすれば最小の政府であった。これはもちろん過度の自由放任政策、リバタリアニズムのなせる業であった。<sup>29</sup>

このようなリバタリアニズムの伝統を覆したのが1901年に大統領になったセオドア・ルーズベルトである。彼は財閥を解体し、企業献金を禁止し、食品・医薬品法、食肉検査法、鉄道運賃規制

法を制定し、女性と子供の深夜作業を禁止し、子供の検診制度を創設し、工場査察制度を整備し、鉄道安全委員会を設けた。<sup>30</sup>

このような政策を通じて彼は大企業・資本家による金権主義を封じ、女性や子ども、ひいてはすべての人にとって必要な食品・医薬品や交通機関の安全対策を企業に義務付けたのである。言うまでもなく、これは何もしないリバタリアニズムから新しいリベラリズムへの政治の変換であった。同時に、国民に対して様々なサービスを提供するためには官庁の増設や職員の増員を実施しなければならないし、それに必要な税収を確保するために税制度を拡充・近代化する必要があった。つまるところ大きな政府が必要になったのである。独立時の連邦主義者とリバタリアンの綱引きはずっと後者が優勢になったが、南北戦争直後とルーズベルト政権においては連邦主義が後者を圧倒したのである。

しかし振り子は再び右に揺れる。ルーズベルトは共和党出身でありながら、自由放任をやめて国民生活向上をめざして積極的な政策、大きな政府を展開したが、彼の後に続いた大統領は、民主党のウィルソンを含め全員が、第一次大戦後の好景気が社会全体を楽観ムードにしたこともあり、社会改革には興味を示さなかった。しかし1929年の大恐慌を境に世相は激変し、ハーバート・フーヴァーの自由放任政策では立ち行かなくなり、大きな政府が求められる事態となった。言うまでもなく、フランクリン・ルーズベルトが大統領に選ばれ、巨額の財政を投じて失業者の救済と経済の立て直しを図った。彼は、国民が特権をもつ少数者に食い物にされる自由主義経済を否定し、国民の自由と(生活の)安定を求めると宣言し、そのために政府機関を個人や市場、銀行、企業の安定を高めるためのサービス組織にすると約束した。そして1933年から35年にかけて一連の立法を講じ、実験的改革を行い、失業対策費用として数十億ドルを計上した。<sup>31</sup> これ以降も彼は国民救済の積極政策を打ち続け、大きな政府を普通の政府にしたのである。もちろん、これに対してリバタリアンは抵抗したが、ルーズベルトは「経済的安定と自立なくして個人の自由は存在しない」と切り返し、<sup>32</sup> リベラリズムの旗を振り続けたのである。

戦後、民主党と共和党の間で政権が何度も交換されたが、もはや大きな政府が小さくなることはなかった。とはいえリバタリアニズムは在野勢力として拡大し続けた。戦後は冷戦とも重なるが、リバタリアニズムは共産主義の集団主義を嫌悪するにとどまらず、肥大化したアメリカの行政制度にも痛烈な批判を続け、また弱者救済を、怠け者を甘やかす無駄な政策と酷評し続けてきた。だが1980年のレーガン政権発足と同時にリバタリアニズムは政策に反映されはじめ、19世紀末の、何でも有りの「金びか」時代、1920年代の「金持ちの太平」時代が復活した。大企業と金持ちはこのレーガノミックスの恩恵を受け、富を増大させた一方、貧富の格差は拡大し、貧困者は2,700万人から3,200万人に増大し、ホームレスは33万人から100万人に激増した。「欲は善」(Greed is right)の弊害はこれだけではない。6割の国民が教育・医療予算が不足していると感じ、9割が、環境規制が不備であると指摘しているのである。しかし、レーガンは国民へのサービスをカットして小さな政府を運営したにもかかわらず、政権終了後は巨額の財政赤字が残った。<sup>33</sup> 「小さな政府」が国民に残した巨大な負の遺産であった。

## 結論

ロックの自由思想は、身分制社会にあつては画期的な理念であつたといえるが、同時にそれが発想の限界に直面していたことも明らかである。彼の主張は、君主と貴族、ブルジョアで構成される上流社会、支配階級の不合理と不当性に対する批判であつたが、彼は支配される者の存在に思慮を及ぼすことができなかつた。当然、彼らが彼と、そして君主と平等であると考えすることはできなかつたのである。それは、彼がしきりに財産に言及していることから明白である。上流階級の支配を受ける、人口の圧倒的多数を占める下層階級は財産と呼べるものをもつてはゐなかつたのである。ゆえに彼が財産 (the property) に拘泥する限り、彼の主張は仲間内に留まらざるを得なかつた。

そして、その仲間だが、彼と階級を共にする中流階級、プチ・ブルジョアである。彼らは財産も教養も家柄もあり、地域社会に対する影響を誇示することができた。だがそれはしよせん君主の掌の中での見栄でしかなく、君主がその気になれば彼らはいつでも握りつぶされる運命にあつたし、命を取られない場合でも金を取られ、財産を損なつていた。そこで彼らは王がいなければ、すべてはバラ色、という夢を描いたのである。ロックの理論はこのような時代的雰囲気のもとで醸造されたと思われる。

できることなら君主のいない世界をつくりたいが、せめて君主から距離を置いて自由になりたい、そして不当な課税から財産を守りたい。これがロックの思想の核であり、リベラリズムであつた。彼は、そして仲間——「市民層」——も自由になりたかつた。しかし彼も仲間も下層階級に配慮することはなかつたし、できなかつた。互いに住む世界が異なつていたのである。「市民」とつて、下層民もまた人間であり、自由を欲しているということは想像の範囲を超えることであつた。なぜなら上・中流階級の人間にとって、下層階級は少なくとも政治的、社会的には人間ではなかつたからだ。後世、すべての成人は、政治に参加する資格があるとする民主主義 (デモクラシー) が政治的課題になつたとき、リベラリズム信奉者はこれに反対した。金も教養もないのに、数だけは膨大な下層民が参政権をもてば、自分たちの特権を奪うことになるからである。実際、19世紀後半のイギリスでは、産業労働者の公民権運動が盛んになつたが、政権与党の自由党 (文字通りのリベラル政党) の腰は重たかつた。

さてリベラリズムは、王権 (国家権力) からの自由を求める運動であつたが、これがアメリカに伝播すると、権力からの自由にくわえて、何をしても自由という思想に変異した。これをリバタリアニズムという。広い国土で行政が行き届かないのを幸いに、社会の指導的立場にいた人々は無限の自由を謳歌したのである。一方で、昔日のイギリスにおいてそうであつたように、社会の底辺で生きる人々には謳歌すべき自由はなかつた。なぜなら彼らは生存のために他人の監督下で日々長時間、そして長期間にわたつて低賃金で働き続けなければならなかつたからだ。つまり精神的にも身体的にも下層民に自由はないのである。他方、権力の影響をほとんど受けることになつた企業家は最小限の労働条件で労働力を入手し、最大の利益を得ることができたのである。何をしても自由とは、強欲な企業や経営者が弱肉強食の限りを尽くして、無限の富を築く自由に他ならなかつたのである。これがリバタリアニズムであり、現代アメリカの支配的イデオロギーに成長した。

エーリッヒ・フロムは『自由からの逃走』の中で、近代人は自由をもてあまし、それから逃れ、それを放棄し、それがナチスを創ったと論じたが、近代人は本当にもてあます程の自由を享受していたのだろうか。リベラリズムの視点では、自由を本当に享受するためには富と教養、それに余暇が必要である。しかし世に富と教養は満ちていただろうか。19世紀末、リベラリズムは弱者救済に舵を切った。なぜなら、貧困を解決しない限り人間は自由になれない、という考え方が支配的となったからである。ならばナチスをつくったのは自由ではなく貧困ではなかったのかという疑問が生じる。衣食満ち足りた人間は権力からの自由を欲するが、貧者は権力による救済を望むのである。そして今日、皮肉なことに、かつて貧しかった国々が豊かになったが、そこにリベラリズムはなく、逆に国家権力の肥大化、権威主義化が顕著である。

リベラリズムの将来は危うい。それは同時にデモクラシーの危機でもある。

---

## 注

1. *The New Yorker*, October 24, 2005
2. Helena Rosenblatt, *The Lost History of Liberalism*, Princeton University Press, 2018, p.42.
3. 角田安正はロックの*Two Treatises of Government*の翻訳に際して、先行訳書の多くが『統治論』と題してきたことに言及し、コンテキストによってはgovernmentが必ずしも「統治」の意味になるとは限らないことを考慮し、自著の署名を『市民政府論』（光文社、2011年）としたことを明らかにしている。著者はこの意見に賛成である。そして本稿でロックの著書の内容に触れるとき、角田訳を借用もしくは参考にさせていただいたことを付して述べておく。
4. Rosenblatt上掲書、p.22.
5. 同上、p.245.
6. 同上、p.200.
7. G. A. Jacobsen and M. H. Lipman, *Political Science*, Barnes & Noble, Inc., 1969, p.63.
8. *Two Treatises of Government*, edited with an introduction and notes by Peter Laslett, Cambridge University Press, 2008, p.323.
9. 上掲書、pp.418-428.
10. Colin Woodard, *American Character*, Penguin Books, 2016, p.86.
11. *Two Treatises of Government*, p.326.
12. 井上公正著、「ジョン・ロックの生涯と思想の展開（I）——幼・少年期の環境——」、奈良大学紀要、第24号、1996年、pp.266-67.
13. 山田利一著、「アメリカ白人貧困層（プアホワイト）の歴史と文化」、苫小牧駒澤大学紀要、第33号、2018年、p.143.
14. Woodard上掲書、p.69.
15. 同上、pp.69-70.
16. 同上、p.63.
17. 山田利一著、「*Plymouth Plantation*からWilliam Bladfordの意図を探る」、湘南英文学、第13号、

- 2018年、pp.6-7.
18. Woodard上掲書、p.43.
  19. 苫小牧駒澤大学紀要、第33号、p.145.
  20. Thomas Paine, *Common Sense*, Dover Publications, Inc., 1997
  21. Richard D. Heffner and Alexander Heffner, *A Documentary History of The United States*, A Signet Book, 2002
  22. Woodard上掲書、p.10.
  23. Rosenblatt上掲書、pp.41-43.
  24. Woodard上掲書、p.97.
  25. 同上、p.69.
  26. 同上、p.63.
  27. Rosenblatt上掲書、p.178.
  28. Woodard上掲書、p.110.
  29. 同上、p.112.
  30. 同上、pp.132-35.
  31. 同上、pp.150-51.
  32. 同上、p.160.
  33. 同上、pp.204-05.

## 引用・参考文献目録

*The New Yorker*, October 24, 2005

Helena Rosenblatt, *The Lost History of Liberalism*, Princeton University Press, 2018

G. A. Jacobsen and M. H. Lipman, *Political Science*, Barnes & Noble, Inc., 1969

*Two Treatises of Government*, edited with an introduction and notes by Peter Laslett, Cambridge University Press, 2008

Colin Woodard, *American Character*, Penguin Books, 2016

Thomas Paine, *Common Sense*, Dover Publications, Inc., 1997

Richard D. Heffner and Alexander Heffner, *A Documentary History of The United States*, A Signet Book, 2002

角田安正訳『市民政府論』（光文社、2011年）

山岡龍一監訳『リベラリズムとは何か』（筑摩書房、2011年）

日高六郎訳『自由からの逃走』（東京創元社、2020年）

井上公正著、「ジョン・ロックの生涯と思想の展開（I）——幼・少年期の環境——」、奈良大学紀要、第24号、1996年

山田利一著、「アメリカ白人貧困層（ブアホワイト）の歴史と文化」、苫小牧駒澤大学紀要、第33号、2018年

山田利一著、「*Plymouth Plantation*からWilliam Bladfordの意図を探る」、湘南英文学、第13号、2018年

## 第2部：北洋大学のこの一年

## 第2部：北洋大学のこの1年を振り返る

北洋大学のこの1年は、本当に大変な1年となった。その理由の多くを、これから期すこととなるのだが、その理由の最たるものは、昨年までの担当教員の半数が入替わり、この大学の従来のやり方や北海道でも慣習に全く無知である事だった。

従って、先人が作成していった新カリキュラムと、それまで行われていた旧カリキュラムの双方を熟知する者が限られており、調整や不測の事態に遭遇することが多かった点を挙げる事が出来る。

### 1 年間行事（表）：

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月			
日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日	日	曜日		
1	木	1	土	1	火	1	木	1	日	1	水		
【アロニアフェスティバル】 第1回開校50周年記念 前年度秋セメスター成績評価 直前										秋セメスター授業開始 【前期5・後期5年制学生交付（10日）			
2	金	2	日	2	水	2	金	2	月	2	木		
3	土	3	月	3	木	3	土	3	火	3	金		
入学式		夏休み みどりの日		夏休み みどりの日		夏休み みどりの日		夏休み みどりの日		夏休み みどりの日			
4	日	4	火	4	金	4	日	4	水	4	土		
5	月	5	水	5	土	5	月	5	木	5	日		
【アロニアフェスティバル】 第2回開校50周年記念 前年度秋セメスター成績評価 直前		【開校50周年記念】		【開校50周年記念】		【開校50周年記念】		【開校50周年記念】		【開校50周年記念】			
6	火	6	木	6	日	6	火	6	金	6	月		
7	水	7	金	7	月	7	水	7	土	7	火		
教員会		教員会		教員会		教員会		教員会		教員会			
8	木	8	土	8	月	8	木	8	日	8	水		
9	金	9	日	9	水	9	金	9	月	9	木		
10	土	10	月	10	木	10	土	10	火	10	金		
11	日	11	火	11	金	11	日	11	水	11	土		
12	月	12	水	12	土	12	月	12	木	12	日		
13	火	13	木	13	日	13	火	13	金	13	月		
14	水	14	金	14	月	14	水	14	土	14	火		
15	木	15	土	15	月	15	木	15	日	15	水		
16	金	16	日	16	水	16	金	16	月	16	木		
17	土	17	月	17	木	17	土	17	火	17	金		
18	日	18	火	18	金	18	日	18	水	18	土		
19	月	19	水	19	土	19	月	19	木	19	日		
20	火	20	木	20	日	20	火	20	金	20	月		
21	水	21	金	21	月	21	水	21	土	21	火		
22	木	22	土	22	月	22	木	22	日	22	水		
23	金	23	日	23	水	23	金	23	月	23	木		
24	土	24	月	24	木	24	土	24	火	24	金		
25	日	25	火	25	金	25	日	25	水	25	土		
26	月	26	水	26	土	26	月	26	木	26	日		
27	火	27	木	27	日	27	火	27	金	27	月		
28	水	28	金	28	月	28	水	28	土	28	火		
29	木	29	土	29	月	29	木	29	日	29	水		
30	金	30	日	30	水	30	金	30	月	30	木		
31	土	31	月	31	木	31	土	31	火	31	金		
*秋セメスター入学式（10/2主） *本学生支援機構等学生生活協賛委員会 *本学生支援機構等学生生活協賛委員会 *札幌教務 *クラブ・同好会連絡委員会 *留学生基礎講座 *秋セメスター授業開始		*開校50周年記念（10/1主） *学内職員の感謝状（10/1主） *学内職員の感謝状（10/1主） *学内職員の感謝状（10/1主） *学内職員の感謝状（10/1主）		*第1回学生自治会総会（10/2主） *第1回学生自治会総会（10/2主） *第1回学生自治会総会（10/2主） *第1回学生自治会総会（10/2主）		*第2回学生自治会総会（10/2主） *第2回学生自治会総会（10/2主） *第2回学生自治会総会（10/2主） *第2回学生自治会総会（10/2主）		*第3回学生自治会総会（10/2主） *第3回学生自治会総会（10/2主） *第3回学生自治会総会（10/2主） *第3回学生自治会総会（10/2主）		*秋セメスター授業開始 *秋セメスター授業開始 *秋セメスター授業開始 *秋セメスター授業開始		*秋セメスター入学式（10/2主） *秋セメスター入学式（10/2主） *秋セメスター入学式（10/2主） *秋セメスター入学式（10/2主）	



10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事
1	金		1	月	日	1	土	来日	1	火	← 集中講義①
2	土		2	火	水	2	日		2	水	
3	日		3	水	文化の日	3	月		3	木	
4	月	4	4	木	水	4	火		4	金	教務会【卒業判定】
5	火	5	5	金	金曜	5	日		5	土	卒業研究発表
6	水	6	6	土		6	月		6	日	
7	木	7	7	日		7	火		7	水	← 集中講義②
8	金	8	8	月	9	8	木		8	土	
9	土		9	火	水	9	日	教務会	9	月	
10	日		10	水	水	10	月	祝日の日	10	火	教務会
11	月	11	11	木	水	11	火		11	水	建国記念の日
12	火	12	12	金	金	12	日	← 北米研修（原身研修）	12	月	
13	水	13	13	土		13	月	教務会	13	火	
14	木	14	14	日		14	水	国語者(以外)入居日	14	木	
15	金	15	15	月	16	15	土	(大平大学共通テスト)	15	日	卒業式 卒業生総会
16	土		16	火	水	16	日	(大平大学共通テスト)	16	月	
17	日		17	水	水	17	月	→ 退陣	17	火	
18	月	18	18	木	水	18	火		18	水	集中講義(石巻校)
19	火	19	19	金	金	19	日		19	月	
20	水	20	20	土		20	月		20	火	
21	木	21	21	日		21	水	← 北米研修	21	木	定期試験(石巻校)
22	金	22	22	月	11	22	火	← 卒業研究(石巻校)	22	水	
23	土		23	火	水	23	日		23	月	卒業生の日
24	日		24	水	水	24	月		24	火	
25	月	25	25	木	水	25	火		25	水	4年生成績発表 成績詳細発表日(卒業生)
26	火	26	26	金	水	26	日	卒業生総会	26	月	
27	水	27	27	土		27	月	← 冬休休業(全学休業)	27	火	
28	木	28	28	日		28	水		28	木	
29	金	29	29	月	12	29	火		29	水	
30	土		30	火	水	30	日		30	月	
31	日		31	水		31	月		31	火	

北洋大学

今年はコロナ蔓延防止などの為、特別休講にする期間や、オンラインへの授業変更、な並びに札幌在住の先生が、苫小牧に来られないという事態など、想定外のことに悩まされた。次年度の以降のwithコロナ、afterコロナ対策としてのアクティブ・ラーニングのより一層の改善と研究に取り組みたいと考えている。

また、基本的に事務サイドの多くは継続者であり、流れを熟知しているにもかかわらず、新しい教員との間に情報の共有が無く、手探りの教授会となったことを深く反省している。

## 2 新旧カリキュラム対照表：

(2年時以上は、旧カリキュラム。1年時のみ新カリキュラム)

旧カリキュラムは、曹洞宗を中心とした仏教系のカリキュラムであり、新カリキュラムの基本は外国語を中心とした言語系のカリキュラムらしい。らしいというのは、大変失礼な表現であるが、作成者の殆どが前年度で退職し、新任者が引き継いでいるからである。

おまけに前日の様に仏教系の方々が作成した言語系のカリキュラムは、言語系の教員から見ると不備だらけで驚かされるが多かった。

その辺の不備をカバーするために可能な変更を行った。それらが、次章の新カリキュラムの特徴となっている。

2021キャリア創造学科	分野	2017キャリア創造学科	分野	2021キャリア創造学科	分野	2017キャリア創造学科	分野
1 基礎ゼミナールⅠ	演習科目	大学で学ぶために1	入門	53 変化の時代のキャリア形成	キャリア・情報	キャリア専門B	キャリア専門B
2 基礎ゼミナールⅡ	演習科目	大学で学ぶために2	入門	54 プレゼンテーション・スキル	キャリア・情報	キャリア専門C	キャリア専門C
3 キャリアデザイン入門	入門	キャリアデザイン入門	入門	55		人材育成と生涯学習	キャリア専門B
4 キャリアデザイン概論	入門	キャリアデザイン基礎	入門	56 スポーツビジネス論	キャリア・情報	ビジネスリサーチA	キャリア専門B
5		仏教学	人間	57		ビジネスリサーチB	キャリア専門B
6 宗教学	人間	宗教学	人間	58		日本経済論	専門科目
7 哲学	人間	哲学	人間	59 地域産業論	キャリア・情報	地域経済論	専門科目
8 倫理学	人間	倫理学	人間	60		国際経済論	専門科目
9 歴史学	人間	歴史学	人間	61		貿易実務	専門科目
10 心理学	人間	心理学	人間	62		マーケティング論	専門科目
11 憲法学	社会	憲法学	社会	63 マネジメント論	キャリア・情報	経営学概論	専門科目
12 政治学	社会	政治学	社会	64 会計の基礎	キャリア・情報	会計学概論	専門科目
13 経済学	社会	経済学	社会	65		原価計算論	専門科目
14 社会学	社会	社会学	社会	66		経営分析論	専門科目
15 自然科学の現在	科学	自然科学の現在	科学	67 情報システム	キャリア・情報	情報システム	専門科目
16 科学技術と社会	科学	科学技術と社会	科学	68		データベース	専門科目
17 生物と環境	科学	生物と環境	科学	69 機械学習とAI	キャリア・情報	データマイニング	専門科目
18 情報とコンピュータ	情報	情報とコンピュータ	情報	70 プログラミング	キャリア・情報	プログラミング	専門科目
19 情報とコミュニケーション	情報	情報とネットワーク	情報	71		マルチメディアとWeb技術	専門科目
20 情報セキュリティ	情報	情報セキュリティ1	情報	72		情報とデータ処理	専門科目
21		情報セキュリティ2	情報	73 情報の収集と発信	キャリア・情報	情報の検索と発信	専門科目
22 情報とメディア	情報			74 法学	人間	法学概論	専門科目
23 Intensive Reading I	英語・文系一級	Basic English 1	言語	75		民法	専門科目
24 Intensive ReadingⅢ	英語・文系一級	Basic English 2	言語	76		行政法	専門科目
25 Intensive ReadingⅡ	英語・文系一級			77 地方自治論	キャリア・情報	地方自治法	専門科目
26 Intensive ReadingⅣ	英語・文系一級			78 地方行政論	キャリア・情報	自治行政	専門科目
27		Listening-Speaking	言語	79		国際社会概論	専門科目
28		日本語基礎1(留学生)	言語	80		国際法	専門科目
29		日本語基礎2(留学生)	言語	81 国際関係論	文化・社会	国際関係論	専門科目
30 健康とスポーツ	健康	保健体育	健康	82		コミュニケーション論	専門科目
31 スポーツ実技	健康	体育実技	健康	83		家族社会学	専門科目
32 多文化社会論	文化・社会	多文化社会論	文化・社会	84 ジェンダー論	文化・社会	女性論	専門科目
33 比較文化論	文化・社会	比較文化論	文化・社会	85 社会福祉論	キャリア・情報	社会福祉論	専門科目
34 日本歴史文化論	文化・社会	日本文化概論	文化・社会	86 現代日本文化論	文化・社会	日本文化論	専門科目
35		アイヌ文化概論	文化・社会	87		北海道文化論	専門科目
36		禅文化論	文化・社会	88		北方文化論	専門科目
37 異文化交流論	文化・社会	異文化交流論	文化・社会	89 オセアニア歴史文化論	文化・社会	地域文化論	専門科目
38 アジア歴史文化論	文化・社会	インド文化論	文化・社会	90 先住民学	文化・社会	アイヌ文化論	専門科目
39		チベット文化論	文化・社会	91		日本食文化論	専門科目
40 中国歴史文化論	文化・社会	中国文化論	文化・社会	92 北海道の自然と食文化	文化・社会	北海道の自然と食文化	専門科目
41 北米歴史文化論	文化・社会	アメリカ文化論	文化・社会	93 観光と文化	文化・社会	北海道観光論	専門科目
42 イギリス歴史文化論	文化・社会	イギリス文化論	文化・社会	94 持続可能社会論	文化・社会	北海道環境論	専門科目
43 ヨーロッパ歴史文化論	文化・社会	ヨーロッパ文化A	文化・社会	95 北海道歴史文化論	文化・社会	北海道地方史	専門科目
44		ヨーロッパ文化B	文化・社会	96 アイヌ歴史文化論	文化・社会	アイヌ史	専門科目
45		ヨーロッパ文化C	文化・社会	97 アイヌ口承文芸論	学芸員	アイヌ口承文芸論	専門科目
46		ドイツ文学論	文化・社会	98 アイヌ語	英語・文系一級	アイヌ語	専門科目
47 English Phonology	英語・文化	アメリカ文学論	文化・社会	99		社会思想論	専門科目
48 Literature	英語・文化	イギリス文学論	文化・社会	100		比較宗教論	専門科目
49 北洋大学の「社会学」	キャリア・情報	インターンシップとビジネススキル	キャリア・情報	101		日本宗教史	専門科目
50 職業能力とキャリア	キャリア・情報	職業と進路	キャリア・情報	102		インド仏教史A	専門科目
51 協働と対人関係	キャリア・情報	進路とキャリア	キャリア・情報	103		インド仏教史B	専門科目
52 スポーツとキャリア	キャリア・情報	キャリア専門A	キャリア・情報	104		中国仏教史	専門科目

2021キャリア創造学科	分野	2017キャリア創造学科	分野
105		中国禅思想史	専門科目
106		日本仏教史A	専門科目
107		日本仏教史B	専門科目
108		日本禅思想史	専門科目
109		仏典講読A	専門科目
110		仏典講読B	専門科目
111		禅籍講読A	専門科目
112		禅籍講読B	専門科目
113		仏教説話	専門科目
114		曹洞宗学A	専門科目
115		曹洞宗学B	専門科目
116		曹洞宗経典・行持解説	専門科目
117	Writing I	英語・文化 Composition 1	専門科目
118	Writing II	英語・文化 Composition 2	専門科目
119	Public Speaking	英語・文化 Discussion 1	専門科目
120	Discussion and Debate	英語・文化 Discussion 2	専門科目
121	Advanced Reading I	英語・文化 Advanced English	専門科目
122	English for Tourism	英語・文化 Travel English 1	専門科目
123	Japanese Culture	英語・文化 Travel English 2	専門科目
124	Business English I	英語・文化 Business English 1	専門科目
125	Business English II	英語・文化 Business English 2	専門科目
126		Economic English 1	専門科目
127		Economic English 2	専門科目
128	Listening and Pronunciation	英語・文化 Current English A	専門科目
129		Current English B	専門科目
130	Extensive ReadingⅢ	英語・文化(単) Reading A	専門科目
131	Extensive ReadingⅣ	英語・文化(単) Reading B	専門科目
132	Advanced Reading II	英語・文化 Reading C	専門科目
133		Grammar-Composition 1	専門科目
134	Advanced Writing	英語・文化 Grammar-Composition 2	専門科目
135	専門ゼミナールⅠ	演習科目 専門ゼミナール1	演習科目
136	専門ゼミナールⅡ	演習科目 専門ゼミナール2	演習科目
137	専門ゼミナールⅢ	演習科目 専門ゼミナール3	演習科目
138	専門ゼミナールⅣ	演習科目 専門ゼミナール4	演習科目
139		坐禅A	実習科目
140		坐禅B	実習科目
141	伝統文化A(茶道)	実習科目 伝統文化A(茶道)	実習科目
142	伝統文化B(華道)	実習科目 伝統文化B(華道)	実習科目
143	伝統文化C(書道)	実習科目 伝統文化C(書道)	実習科目
144	伝統文化D(アイヌ)	実習科目 伝統文化D(アイヌ)	実習科目
145		ボランティア活動	実習科目
146	実践型インターンシップⅠ	実習科目 インターンシップA	実習科目
147	実践型インターンシップⅡ	実習科目 インターンシップB	実習科目
148	地域創生A	実習科目 まちなかにぎわい実習A	実習科目
149	地域創生B	実習科目 まちなかにぎわい実習B	実習科目
150	フィールドスタディ	実習科目 フィールドスタディ	実習科目
151		総合講座A	関連科目
152		総合講座B	関連科目
153		総合講座C	関連科目
154		総合講座D	関連科目
155		簿記特別演習A	関連科目
156		簿記特別演習B	関連科目

2021キャリア創造学科	分野	2017キャリア創造学科	分野
157	情報特別講座	キャリア情報 情報特別演習A	関連科目
159		総合英語A	関連科目
160		総合英語B	関連科目
161		総合英語C	関連科目
162		総合英語D	関連科目
163		総合英語E	関連科目
164	博物館学概論	学芸員 博物館学概論	学芸員
165	博物館論(経営)	学芸員 博物館論1(経営)	学芸員
166	博物館論(資料)	学芸員 博物館論2(資料)	学芸員
167	博物館論(資料保存)	学芸員 博物館論3(資料保存)	学芸員
168	博物館論(展示)	学芸員 博物館論4(展示)	学芸員
169	博物館学実習	学芸員 博物館学実習	学芸員
170	博物館情報・メディア論	学芸員 博物館情報・メディア論	学芸員
171	博物館教育論	学芸員 博物館教育論	学芸員
172	生涯学習概論	学芸員 生涯学習概論	学芸員
173	考古学	学芸員 考古学	学芸員
174		仏教美術史	学芸員
175		フランス語	言語
176	ドイツ語	外国語(単) ドイツ語	言語
177	中国語入門	中国語 中国語	言語
178		坐禅C	関連科目
179		坐禅D	関連科目
180		卒業研究	専門科目
181	統計の基礎	キャリア 卒業研究	
182	英語で学ぶ日本	文化・社会 英語で学ぶ日本	
183	Extensive Reading I	英語・文化(単) Extensive Reading I	
184	Extensive Reading II	英語・文化(単) Extensive Reading II	
185	Intensive Online English Practice	英語・文化 Intensive Online English Practice	
186	中国語発音	中国語 中国語発音	
187	中国語コミュニケーションⅠ	中国語 中国語コミュニケーションⅠ	
188	中国語コミュニケーションⅡ	中国語 中国語コミュニケーションⅡ	
189	視聴覚中国語Ⅰ	中国語 視聴覚中国語Ⅰ	
190	視聴覚中国語Ⅱ	中国語 視聴覚中国語Ⅱ	
191	中日翻訳Ⅰ	中国語 中日翻訳Ⅰ	
192	中日翻訳Ⅱ	中国語 中日翻訳Ⅱ	
193	中日翻訳Ⅲ	中国語 中日翻訳Ⅲ	
194	インテンシブ中国語Ⅰ	中国語 インテンシブ中国語Ⅰ	
195	インテンシブ中国語Ⅱ	中国語 インテンシブ中国語Ⅱ	
196	インテンシブ中国語Ⅲ	中国語 インテンシブ中国語Ⅲ	
197	インテンシブ中国語Ⅳ	中国語 インテンシブ中国語Ⅳ	
198	中国語文法・作文	中国語 中国語文法・作文	
199	ビジネス中国語	中国語 ビジネス中国語	
200	中国文学	中国語 中国文学	
201	上級中国語	中国語 上級中国語	
202	日本語文法Ⅰ	日本語 日本語文法Ⅰ	
203	日本語文法Ⅱ	日本語 日本語文法Ⅱ	
204	日本語コミュニケーションⅠ	日本語 日本語コミュニケーションⅠ	
205	日本語コミュニケーションⅡ	日本語 日本語コミュニケーションⅡ	
206	日本語コミュニケーションⅢ	日本語 日本語コミュニケーションⅢ	
207	日本語コミュニケーションⅣ	日本語 日本語コミュニケーションⅣ	
208	日本語応用Ⅰ	日本語 日本語応用Ⅰ	
209	日本語応用Ⅱ	日本語 日本語応用Ⅱ	

2021キャリア創造学科	分野	2017キャリア創造学科	分野
210	ビジネス日本語Ⅰ	日本語 ビジネス日本語Ⅰ	
211	ビジネス日本語Ⅱ	日本語 ビジネス日本語Ⅱ	
212	日本文学A	日本語 日本文学A	
213	日本文学B	日本語 日本文学B	
214	コミュニケーション論	日本語 コミュニケーション論	
215	韓国語	英語・文化(単) 韓国語	
216	ロシア語	英語・文化(単) ロシア語	

### 3 新カリキュラムの特徴：

不完全な新カリキュラムを改善するために以下のことに取り組んだ。

#### ① 学年別クラスを廃止したCEFRに基づく語学教育システムの構築

語学習得レベルを「CEFR（セファール）」に基づき設定

##### 【CEFRとは】

「ヨーロッパ言語共通参照枠」のこと。外国語の習熟度・運用能力を世界同一の基準で測ることができる国際的な指標です。

A1～C2までの6段階の等級があります。Aは基礎段階、Bは自立段階、Cは熟達段階に分けられ、さらにそれぞれの段階を2段階に分類して6段階としています。

##### 基礎段階

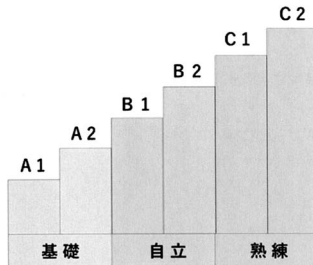
- A1：よく使われる日常的な表現と基本的な言い回しは理解できる。  
相手がゆっくりはっきり話して助けが得られるならば、簡単なやり取りができる
- A2：基本的な情報、文やよく使われる表現ができる。簡単に日常的な範囲なら単純で直接的な情報交換に応じることができる。

##### 自立段階

- B1：標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。  
身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作れる。
- B2：抽象的・具体的な話でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。  
母語話者と普通にやり取りができるほど流暢かつ自然。

##### 熟練段階

- C1：高度な内容の長い文章を理解して、含意を把握できる。  
複雑な話題について明確で、しっかりした構成の詳細な文章が作れる。
- C2：ほぼ全てのものを容易に理解できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。  
話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、一貫した方法で再構築できる



##### 【本学の目標レベル】

英語・中国語・日本語：B1～B2

その他の言語（ロシア語・韓国語・ベトナム語・インドネシア語等）：A2

## ② 全員留学の為の交換留学システムの構築

HPより現在の協定校一覧

1学年75名定員に対し、交流協定校1校につき×3人（1年なら3名、半年なら6名）であるので、毎年1年生の後期か2年生を中心に行う。

# 留学・国際交流について

[トップページ](#) > [学部・学科](#) > [留学・国際交流について](#)

北洋大学と海外の大学、2つの学位を取得『ダブル・ディグリー制度』

『ダブル・ディグリー制度』とは

日本と海外の2つの大学の学位を取得できる留学プログラムのことです。連携する大学において、各大学が開設した同じ学位レベルの教育プログラムを学生が修了し、各大学の卒業要件を満たした際に、該当学生に対し学位を授与するもの、として定義されています。双方の大学で教育課程の実施や単位互換等ができるため、2つの学位が授与されるプログラムとなります。

ダブル・ディグリーのための期間は、2年を基準とします。



あなたも苫小牧留学しませんか？人呼んで『トマリ!!』

「苫小牧留学」で海外に行かなくても、国際交流ができる！

北洋大学と各国の協定大学が交換留学を行うことで、海外に行かなくても現地の学生と交流を図ることができます。**海外で生活することが不安、金銭的に留学が難しい、という方でも学内で交流することで自然と語学力やコミュニケーション能力、諸外国文化・習慣が身につきます。**授業で学んだ知識を活かして積極的に交流しましょう。留学生から学ぶだけでなく、留学生に対して日本語や日本の文化を教えることで「日本語教師」を目指す学生にとっても貴重な経験と体験の場になります。

## 交換(海外)留学

協定大学との「ダブル・ディグリー」を活用する以外にも、春休みや夏休み、セメスター制度を活用した、交換留学も可能です。期間は6ヶ月または1年間で、こちらも協定大学の授業に出席することで単位認定できます。

海外協定大学とのタイアップで海外インターンシップやボランティア活動、海外の官公庁・教育機関での活動や支援も経験することが可能。現地の言語や文化を活かした、海外での就職・大学院への進学も実現可能です。

### 【交換留学の魅力】

#### 🌟 その1. 協定大学の追加の入学金・学費が不要

交換留学・国費留学生であれば、留学先の大学の入学金や学費は必要ありません。北洋大学に納める学費で賄われるため、少なくとも渡航費・生活費のみで留學生を送ることができます。物価の安い国であればお得に留學生を送れることも魅力の1つです。

#### 🌟 その2. 協定先の入学試験は不要

留学先は北洋大学の協定大学となるため、入試を受ける必要はなく、北洋大学に在籍したまま協定先大学に留学することができます。



## 海外協定大学

(※2021年度新設 海外協定大学)

- 台湾：国立高雄大学、呉鳳科技大学
- 韓国：韓瑞大学、翰林大学、大真大学
- インドネシア：国立ブラウイジャヤ大学
- モンゴル：国立モンゴル科学技術大学

ニュージーランド、カナダ、中国、ロシア、ベトナムなど各国とも進行中。詳細は決まり次第、HP・SNS等でお知らせいたします。

### ③ 地域密着型の市の支援に基づく有償インターンシップ

従来の無償インターンシップ（A＝短期、B＝長期）を行っています。Aは夏休みを利用した4日間程度の初めてのインターンシップ（初級編）です。またBは、1か月程度の長期インターンシップによる就職への足掛かり（中級編）として準備しています。2021年はコロナもあり長期は誰もおりませんでした。またAの短期には34名の参加希望者がありましたが、実施中にコロナワクチンを打っていない若者だからという理由から中止になるという事態が発生いたしました。

大学としては、1・2年時に初級編を、2・3年生に中級編をと考えておりました。

そこに2022年度から産官学協賛という形の有償インターンシップが開設されることとなりました。大学としては、2・3・（4年前期）年生を中心に地元協業への定着を図るinternshipとして位置づけております。

日本人大学卒業生のみならず、高度外国人材の苫小牧定着に役立てばと願っています。

### ④ 系列大学や海外協定との連携授業

北洋大学の系列校である、京都看護大学からは看護や介護、心理学や社会学といった専門科目、また稚内北星大学からは専門であるコンピュータや情報関係の科目の受講が要卒単位となる相互乗り入れ方式が取られており、また別出の海外協定校からは、それぞれの国の専門言語を始め歴史や文化、および異文化理解に繋がる科目や授業を提供し合い、こちらも要卒単位として認定され、おまけに留学時（交換留学制度）の手助けや対応にもなる点のシステム化を図っており、また同時に北洋大学と海外の大学の両方を卒業できるダブル・ディグリーにも連動しているという点は、他の大学と大きくかけ離れた特色を持っている。



#### 4 地域とタイアップした教育システムの構築

- ① 市役所からの支援授業（2種類の内容：カリキュラム）
- ② 民間からの支援授業（I/T：カリキュラム）
- ③ 各種奨学会

#### 高等教育の修学支援新制度

本校は当該制度の対象校となっております。

>>> [詳細はこちら](#)

#### 【注意事項】

- 1 給付型奨学金制度と授業料等減免制度はセットで申し込んでください。（一方のみの申請はできません。）
- 2 授業料・入学金は、申請と関わりなく、原則、期日までに支払ってください。支払った分について、採用された者に採用額分を還付するという流れとなります。
- 3 事情等により支払えない場合にあっては、必ず延納願書を提出して延納の申込みをしてください。
- 4 入学後3か月を経過した後、給付型奨学金採用となった場合は、その年度の授業料等減免については10月から3月までの後期分授業料等が適用となります。

#### 奨学金・教育ローン

#### 北洋大学特別奨学金

本学独自の奨学金制度です。

#### ●北洋大学特別奨学金Ⅰ（成績優秀者に給付）

学業・人物ともに優れた学生が対象となります。

大学にて選考を行いますので、申請の必要はありません。

#### ●北洋大学特別奨学金Ⅱ（スポーツ・文化奨学生）

スポーツ・文化の分野において、優秀な成績を修めた者を選考対象とします。

※）詳細はお気軽にご相談・ご質問ください。

## 苫小牧市 教育ローン補助制度

苫小牧市では、地域の担い手となる若い人材の市内定着をすすめるため、大学卒業後に市内居住・就業した場合は、在学中に借入れた教育資金の一部を補助します。  
POINT：本学の学生は、両制度ともに在学中に返済した利子についても補助されます。

### ●苫小牧市奨学ローン返済助成制度

苫小牧市信用金庫から「とましん奨学ローンカレッジライフ」を借り入れ、大学卒業後に市内に居住し、市内の事業所などに就業することで、返済した元金の半額相当を補助します。

【最大720,000円（72,000円×10年間）】

[【苫小牧市奨学ローン返済助成制度について（苫小牧市ホームページへ）】](#)

### ●苫小牧市教育ローン利子補給制度

対象となる金融機関から教育ローンを借り入れ、大学卒業後に市内に居住し、市内の事業所などに就業することで、返済した利子相当額を補助します。

【1年間につき最大5万円まで（最長10年間）】

[【苫小牧市教育ローン利子補給制度について（苫小牧市ホームページへ）】](#)

## 日本学生支援機構奨学金

優れた生徒で一定の基準を満たし、経済的理由により修学に困難がある方（家計基準あり）に給付・貸与されます。

給付型のほか貸与型があり、貸与型は第一種（無利子）と第二種（有利子）の2種類があります。 ※併用貸与可

### ●第一種（貸与月額）

自宅通学者：20,000円／30,000円／40,000円／54,000円から選択

自宅外通学者：20,000円／30,000円／40,000円／50,000円／64,000円から選択  
（申込時における家計支持者の年収が一定額以上の者は、最高月額以外から選択）

### ●第二種（貸与月額）

20,000円～120,000円の中から選択（※10,000円刻み）

※）給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、貸与を受けられる月額の上限額が制限されます。  
詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

[【日本学生支援機構 奨学金ページ】](#)

## その他の奨学金

経済的理由により就学困難な学生や保護者の方が交通事故に遭い重度後遺障害等になってしまった学生に奨学金を給付・貸与しています。

### ●苫小牧市育英会〔給付型、貸与型（無利子）〕

【給付型】

入学一時金70,000円および月額の奨学金（定額8,000円）を給付

【貸与型（無利子）】

入学一時金70,000円および月額の奨学金（15,000円または30,000円から選択）を貸与

● **苫小牧市交通遺児育英会**

就学支度金として40,000円を給与

※所得や学業評定など要件あり。詳細は苫小牧市教育委員会総務企画課内事務局にお問い合わせください。

**国の教育ローン(日本政策金融公庫)のご案内**

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。  
融資限度額は学生1人につき350万円以内で、受験前でも申込み可能です。

詳しくは以下の教育ローンコールセンターへお問い合わせください。

【教育ローンコールセンター】0570-008656 (ナビダイヤル)

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合 (03)5321-8656

>>> [詳細はこちら](#)

**学費サポートプラン(オリコ提携教育ローン)のご案内**

本学では、平成23年2月より、保護者さまにかかる学納金の一時的な経済的負担を軽減するため、簡単な手続きでご利用いただける学費分割制度を、株式会社オリエントコーポレーション(オリコ)と提携し『学費サポートプラン』としてご案内しております。

入学金・授業料・教材費などの納付金をオリコが立替え、保護者さまからは毎月27日に口座からの自動振替によりオリコへお支払いいただく制度です。均等分割やボーナス併用払いに加え、在学中には分割手数料のみをお支払いいただくステップアップ分割払いなど多様な選択ができます。>>> [詳細はこちら](#)

## 5 新聞記事に見る「北洋大学」のこの1年：

- ① 学生・部活関係
- ② 教職員の活動関係

### 北海道新聞

- 04.05 「北洋大1期生 飛躍誓う」
- 04.14 「北洋大入学式 堂々と宣誓」
- 04.22 「新生・北洋大 地域に伝えたい 来月から住民講座 新任教員が『顔見世』」
- 04.23 「大学野球 道六あす、札六は1日開幕」
- 04.26 「道六大学野球 北洋大2連勝」
- 05.10 「道六大学野球 北洋大6勝目」
- 05.16 「道六大学野球 北洋大と函大分ける」
- 06.08 「北洋大 台湾、韓国、インドネシアの大学と協定 交換留学や教職員交流」
- 06.09 「細やかな気遣い 北洋大野球部支える 大嶋日菜梨さん」
- 08.07 「北洋大女子バスケット部 道大選手権で初V 市長に報告」
- 08.23 「道六大学野球 北洋大開幕2連勝」
- 09.13 「道六大学野球 函大が北洋大下す」
- 09.23 「日本比較文化学会 北洋大に道支部」
- 10.20 「私の1票 北洋大生 何を託す」
- 12.24 「Xマス 北洋大生と市民交流 ランチャやゲーム楽しむ」
- 01.16 「共通テスト 日胆460人挑む 北洋大会場 感染対策を徹底」
- 03.11 「教育実践例 理解深める 比較文化学会支部 市内で発表会」
- 03.14 「架空請求詐欺 コンビニ従業員防ぐ 苫小牧署、4人に感謝状 高橋一斗さん」
- 03.16 「『学んだこと生かす』北洋大で初の卒業式」

## 苫小牧民報

- 04.05 「北洋大初代学長 奥村氏に聞く 法人間連携積極的に」
- 04.05 「苫駒大から改称 北洋大入学式」
- 04.16 「語学テーマに図書館講座」
- 04.23 「大学野球 北洋大頂点へ挑戦」
- 04.23 「花で明るいキャンパスに 北洋大職員ら正面玄関に花壇」
- 04.24 「大学野球 北洋大初戦飾る」
- 04.26 「大学野球 北洋大連勝スタート」
- 04.30 「大学野球 北洋大 あすから旭大戦」
- 05.07 「北洋大、函教大連勝へ意欲 隙のない野球で勝つ」
- 05.10 「大学野球 北洋大 連勝で首位キープ」
- 05.14 「北洋大 強豪函館大戦へ闘志」
- 05.17 「北洋大『水曜夜会』実施 地域に開かれた大学へ」
- 05.17 「大学野球 北洋大連勝ストップ」
- 05.21 「北洋大と台湾・国立高雄大 名称変更後初の交流協定」
- 05.24 「北洋大 東農大に連敗で3位」
- 05.26 「北洋大 13日オープンキャンパス 体験授業や無料ランチ」
- 06.09 「学生野球 秋に向け進化誓う」
- 06.09 「北洋大、日胆で初 日本語教師養成講座 来年度開講へ」
- 06.17 「北洋大 住民向けに計画 ウォーキングコース、語学講座」
- 07.01 「22年度大学案内パンフ作成 気軽に資料請求を」
- 07.02 「バスケット 新チーム初陣 北洋大女子バスケ部 全道春季選手権に出場」
- 07.05 「市と全日本ヘリコプター協 災害時の出動協定結ぶ 北洋大敷地内でも離着陸」
- 07.06 「バスケット 北洋大、連勝スタート 春季選手権」
- 07.09 「北洋大 大嶋日茉梨さん 全日本大学選手権に参加」
- 07.13 「ウポボイ 1年成果と課題 北洋大学客員教授 岡田路明さん」
- 07.19 「大学バスケット 北洋大が初優勝 春季選手権大会・女子」
- 07.20 「北洋大のウォーキングコース完成」
- 07.30 「大学バスケット 北洋大女子バスケ部 市長表敬」
- 08.05 「北洋大 連覇に挑む 21日開幕 大学野球1部秋季リーグ」
- 08.10 「北洋大学市民公開イベント ドローン操作を体験」
- 08.17 「高知の明德義塾中・高と協定 スポーツ、国際交流で連携」
- 08.20 「道学生野球1部秋季リーグ 旭大、第1節を辞退」
- 08.21 「春季大会Vで2部昇格へ弾み」
- 08.24 「来月25日、北洋大を事務局に 日本比較文化学会 道支部発足へ」

- 08.27 「北洋大 2 選手 打で貢献誓う」
- 09.09 「北海道学生野球 1 部秋季リーグ 函大戦 投打の要に注目」
- 09.13 「大学野球 北洋大、函大と 1 勝 1 敗」
- 09.15 「北洋大 講義を一般開放 メダリストや日本代表ら 8 人」
- 09.18 「北洋大、函大と互角の戦い 柵原 公式戦初先発で勝利」
- 09.20 「大学野球 東農大が優勝」
- 09.21 「道学生野球 1 部秋季リーグ 北洋大は 2 位タイ」
- 09.24 「北洋大 4 年生 2 人が引退 後輩へ飛躍の道筋つくる」
- 09.27 「日本比較文化学会道支部 北洋大で設立記念講演 市民ら 20 人参加」
- 10.04 「北洋大学 IH スマイルの藤本さんが講義」
- 10.23 「道大学バスケットボール選手権 あすリーグ戦開幕 北洋大 女子 2 部昇格に挑む」
- 10.26 「大学女子バスケ 北洋大連勝スタート」
- 11.01 「女子バスケット 北洋大 4 連勝で首位」
- 11.08 「まちかど発信 曾根有紗さん」
- 11.09 「大学バスケット女子 3 部リーグ 北洋大 V 2 部昇格決める」
- 11.15 「北洋大で 19、26 日 講義一般開放 新聞記者が授業」
- 11.19 「大学バスケット 北洋大女子 2 部昇格決める 目標はインカレ出場」
- 12.03 「北洋大野球部・冬期間練習 寒さに負けず飛躍の春へ」
- 12.18 「2021 この一年 北洋大学スタート 校名変更し再出発 必要とされる学校へ模索」
- 12.18 「北洋大 限定ランチを用意 ビンゴゲームで交流」
- 01.11 「入学試験の出願受け付け 北洋大 31 日まで」
- 01.15 「大学入学共通テスト 北洋大会場は 463 人出願」
- 01.17 「北洋大会場 目立ったトラブルなし」
- 01.24 「まちかど発信 藤田香里さん」
- 01.28 「将来設計のヒントに 苫総経高でキャリアアップセミナー」
- 02.17 「苫小牧市 長期インターンシップ支援 北洋大の学生を対象に」
- 03.02 「市民に聴講呼び掛け 5 日北洋大で比較文化学会道支部大会」
- 03.08 「北洋大で研究発表会 日本比較文化学会道支部」
- 03.09 「シュート磨き勝利に貢献を 桜庭莉李亜さん」
- 03.10 「アルバイト従業員お手柄 特殊詐欺被害防ぐ 高橋一斗さん」
- 03.15 「北洋大 校名変更後初の卒業式 8 人がキャンパスに別れ」

## 6 大学間交流と高大連携：（R3年4月以降のみ）

- ① 国別協定校:名称と地所在地、学部数・学生規模・教員数等
- ② 高大連携校：同上

### <海外協定大学>

- 韓国：韓瑞大学、翰林大学、大真大学
- 台湾：国立高雄大学、呉鳳科技大学
- インドネシア：国立ブラウイジャヤ大学
- モンゴル：国立モンゴル科学技術大学

### <高大連携協定>

- 明德義塾高等学校（高知県）
- 京都廣学館高等学校（京都府）
- 池上学院高等学校（北海道）

### <その他>

- ・苫小牧南高校

国際クラブへの講師派遣

韓国の協定大学とのオンライン交流の場を提供

- ・鷗川高校

留学生6名による交流（12月15日）

- ・苫小牧総合経済高校

キャリアアップセミナーの実施（1月28日）

- ・飛鳥未来きずな高校

語学・国際の分野に関する授業を実施（2022年1月9日）





## 『高大連携プログラム』の目的

北洋大学の語学・文化授業コースの一部を、求める高校にお届けし語学力と国際理解力を高めるお手伝いをします。世界に通じる大学として、地域の高校生の方をグローバル社会に通用する人材に育てることによって地域に貢献したいと願っています。

### 1. 海外協定大学オンライン講座

皆さんと北洋大学の海外協定大学を繋ぎ、オンライン講座を開催します。海外とリアルタイムで、外国語でコミュニケーションがとれます。

### 2. 外国語と文化紹介

北洋大学の講師陣による、外国語や文化を紹介する講座。外国語の習得には、その国の文化を学ぶことも大切です。また文化背景を知ることによって、語学への関心も高まります。

### 3. 日本語教育紹介講座

『日本語教師養成』のご案内です。日本語教師は、外国人に日本語と日本文化を教える教員のこと。日本語教師は国家資格化に向けた動きもある、国内外での活躍が期待される職業です。

### 4. メディアオンデマンド

語学を学ぶことがもっと楽しくなってしまう、世界の文化や語学にまつわる興味深い話や、スポーツ業界に関わるゲストスピーカーによる、キャリアとスポーツの話など、『市民公開講座』の授業をお届けいたします。

## 【高大連携プログラムのメリット1】

学校スケジュールや季節行事に合わせて講義のカスタマイズが可能！

<単発>

・好きなプログラムを、ご希望の時期に、単発で受講。

例) 6月に『日本語教育講座』10月に『協定大学オンライン講座』など。

<長期>

・長期で講義を受講することで、北洋大学に入学後、高校在学時に取得した既修得単位の認定が可能(4~6単位)

・出前授業(出張授業)の実施

## 【高大連携プログラムのメリット2】

<進路について>

・指定校推薦枠の確保および推薦人数の増加

・広報担当による、「語学・国際系の業界説明」や「進路相談会」の実施

<その他の連携>

・施設・設備の貸与                      ・在学生(留学生含)や教職員との交流







## 7 地域・社会貢献：

- ① 苫小牧市と全国ヘリコプター連絡協議会との防災協定締結（意義・内容・提携写真・ヘリコプター連絡協議会紹介）









日本比較文化学会  
北海道支部設立総会  
研究発表会

2021年9月25日

要旨集（於 北洋大学）



## 日本比較文化学会北海道支部設立総会

日時：2021年9月25日（土） 14時より

場所：北洋大学（北海道苫小牧市錦西3丁目2-1）

参加者：北海道支部発起人・日本比較文化学会理事等

(14:00)

内容：開会の辞 北洋大学学部長 山田 利一  
会場校挨拶 北洋大学理事長 松尾 英孝

(14:10)

司会：奥村 訓代  
設立記念講演1 『比較文化研究の多様性について』 八尋 春海  
日本比較文化学会会長 西南女学院大学教授

2 『日本の比較文化学の新たな展開に向けて  
—日本比較文化学の貢献—』 山内信幸  
日本比較文化学会元会長 同志社大学グローバル教育センタ長

(15:00)

司会 山田 利一  
研究発表：(20分発表・10分質疑応答)

- 1 「英語発音に対する正しい理解と指導に向けて  
—音声学からの分析—」 北洋大学 植田尚樹、福嶋剛司
- 2 「発語行為としての会計と演劇」 北洋大学京都別科 稲山訓央
- 3 「ユリア・ドムナに付与された Augusta の表彰—帝政期の皇帝親族の女性と  
近年の歴史研究」 京都外国語大学博士課程前期 勝野友喜
- 4 「日本語と中国語のアスペクト解釈位置の「一」の機能について」  
北洋大学 馮 一峰

(17:05)

『北海道支部設立のお礼と今後』 北海道支部支部長 奥村 訓代  
(17:10) 事務連絡 福本 達也  
閉会の辞 山田 利一

懇親会は、中止となりました。m( )m

② 日本比較文化学会 北海道支部運営（学会の紹介・支部設立風景・プログラム・発表内容）



八尋会長



山内元会長  
(同志社大学教授)



## 設立記念講演 1

### 比較文化研究の多様性について

日本比較文化学会会長・西南女学院大学教授  
八尋 春海

本学会の会員の多くは、他学会の会員と同様に、ある特定分野の研究者ですが、比較文化の視点で研究を行うというところにその特徴があります。そこで、一般的な学会では研究分野が同じで研究の視点が異なるのが普通となるところ、本学会では研究分野が異なっていて研究の視点が同じということになります。この学会では、異なる分野の研究に触れることで知的刺激を受けることができます。

本学会の全国大会や支部大会に参加し、学会誌を読んでもと、それを実感することができます。実際には、本来あるべき比較文化の視点がないものも目にすることが時々ありますが、多様性を尊重する学会であり、多少のことには目をつぶる包容力もあります。

新たに入会されたみなさまの中には、はたして自分はこの専門分野でやっていけるのだろうかという不安な気持ちをお持ちの方もおられるでしょう。そこで今回は、これまでの九州支部大会の研究発表のテーマを取り上げて、その多様性について一緒に考えていきたいと思っております。

以上

## 設立記念講演 2

# 日本の比較文化学の新展開に向けて

## —日本比較文化学会の貢献—\*

山内 信幸

(同志社大学・日本比較文化学会元会長)

### 0. はじめに

本講演では、日本比較文化学会北海道支部設立にあたり、本学会が国際的にさらなる飛躍・発展が期待されるなかで、本学会のこれまでの学問的軌跡を概観しつつ、日本において、比較文化研究が比較文化論から比較文化学へというように発展を遂げてきたその系譜と、本学会における比較文化学の現状および課題を検証する。

### 1. 日本比較文化学会の歩み

日本比較文化学会の前身である東北比較文化学会の設立は、1979年1月に故芳賀馨先生（弘前大学助教授・当時）の自宅に弘前大学および弘前学院大学の英語教員6名が集まって学会設立準備委員会を開き、同年6月に弘前学院大学で設立総会を開催して、故山浦拓造先生（弘前学院大学教授・当時）を初代会長に選出したことに遡る。日本比較文化学会の誕生は、正式には、1981年6月に弘前学院大学で開催された東北比較文化学会第3回大会において、学会名の名称変更を正式決定したのを嚆矢とする。名称変更の最大のきっかけは、当初、弘前の地で発足した本学会の会員の所属が東北地域を越えて関東にまで広がり始めたことにあった。しかしながら、翌1982年に郡山市の郡山会館で開催された大会が「第4回日本比較文化学会」と称されたように、発展的経過措置としてあくまで学会の名称変更が行われたに過ぎず、学会としての端緒は、その精神を尊重するという意味において、1979年6月とするのが妥当と考えられる。

1986年度全国大会で、故椎野正之先生（大正大学教授・当時）が第2代会長に選出され、1991年には、第3代会長に故芳賀馨先生（福島県立医科大学教授・当時）が選出された。以来、2005年度全国大会で、太田敬雄先生（国際比較文化研究所長）が第4代会長に選出されるまで、故芳賀第3代会長の下で日本比較文化学会は大きく発展してきた。2008年には、太田第4代会長の後を受けて、山内信幸（同志社大学教授）が第5代会長に選出され、その後、第6代会長として、奥村訓代先生（前高知大学教授・北洋大学教授）に続き、現在では、八尋春海先生（西南女学院大学教授）が第7代会長を務めている。

学会としての発展を眺めると、1986年に東北・関東・関西の3支部が承認され、1988年

には、東北支部が北東北支部と南東北支部に分割され、1991年には、九州支部が発足した。以後、中・四国支部、広域アジア支部も相次いで発足し、一時は7支部を擁するようになった。その後、2005年に東北の2支部が合併し、また、2007年に広域アジア支部が研究部会に改組されたのを受けて、東北、関東、関西、中・四国、九州の5支部となり、その後、中部支部を加えた6支部体制となり、芳賀（1998：13）のいうところの「総合的文化科学」を標榜する学会に発展している。また、対外的には、1995年に学術会議登録団体の指定を受け、現在は、学術会議の「文化人類学・民俗学関連協議会団体」の構成メンバーとなっている。

1984年に学会誌『比較文化研究』No.1が発行され、以後毎年発行されてきたが、1986年の支部拡大に伴って、『比較文化研究』も単年度に複数回刊行されるようになった。その後は、毎年4回の刊行に加え、年度によっては特集号も発行されてきた。さらに、2008年度からは中・四国支部が加わり、その後、中部支部も責任編集に加わり、年4回の発行が維持されつつも、編集体制と投稿機会の一層の充実が図られることとなった。他に、ニューズレター「比較文化会報」が年間2回発行されている。

設立当初から、「学会に出るなら発表しよう」という故芳賀先生の呼びかけに応え、積極的な研究発表活動を展開させるとともに、学会として、会員の業績公刊の機会確保にも鋭意努めてきた。この伝統は今日も多く多くの会員に引き継がれてきている。

## 2. 日本における比較文化研究の系譜

日本における比較文化研究（のちに触れることになるが、ここでは、「比較文化学」ではなく、発展過程としての「比較文化論」という術語を用いる）の系譜を、以下、佐伯（1984）の著述に基づいて、手短かに概観してみることにしよう。

佐伯（1984）によれば、日本において比較文化の意識を醸成させる最たるものとして「文学史」が存在し、比較を抜きにした文学史は存在しえないとしたなかで、日本における近代文学史が陥った根本的前提の誤謬として、「何かを絶対化し、不動の基準と見なすような態度」（326）こそが、客観的な比較を阻む元凶であったと断罪する。他方、中国研究の碩学内藤湖南（1866-1934）が著した『日本文化史研究』（1924年初版）を取り上げ、同書が、「日本文化の独立」を一つの基本テーマとして、バランスのとれた比較文化の健全な視点を提供している点を高く評価している。

内藤湖南は、「日本文化なるもの」の特質は、中国文化からの刺激とその影響を抜きには語れないとして、次のように述べている。

日本文化といふものを日本の国が初めて出来た時から出来て居ると思つて居るのは間違である。日本文化といふものは、詰り東洋文化、支那文化の、今日の言葉で云へば延長である。支那の古代文化からズツと継続して居るのである。それだから日本文化の起源とその根本を知る為にはどうしても先づ支那文化を知らなければならぬ。今、歴史と

いふものを日本の歴史だけに打切ってしまうと、その以前の支那の事を知らぬといふと、日本文化の由来を全く知らぬことになる（佐伯：328-329）

一方で、上の発言とは別に、内藤湖南は中国中心主義一辺倒に陥ることはなく、たとえば、独自の絵画論を展開する。「日本の肖像画と鎌倉時代」という論文で、わが国最大の肖像画とされる「聖徳太子像」と唐代初期の「閻立本帝王図」との構図の合致を指摘しながらも、圧倒的な中国文化の影響下にあつて、「著しく日本特色の絵画」の出現に着目している。すなわち、藤原末期から鎌倉初期にかけて、絵巻物などの出現とともに、「肖像画に於いても[原文ママ]、新しき日本風の肖像画といふべきもの急に発達したり」（佐伯：329）と指摘しているように、日本文化の独自性に着目しているのである。

ここでの内藤湖南の主張は、中国中心主義あるいは中国文化への盲目的な崇拜によって、日本文化の模倣や中国文化への隷属が生み出されたとするのではなく、いわゆる、日本の文化的な「独立」をあきらかにするための道具立てとして、中国との比較作業が必然であったということにある。内藤湖南は、偏狭な日本中心主義的文化ナショナリズムに与するのではなく、日本が中国文化に依拠している事実を誰よりも明確に指摘しつつ、かつ、そのために、「日本文化の独立」に、また、誰よりも傾注した人であった。

もう一人、佐伯（1984）が注目した研究者に、津田左右吉（1873-1961）挙げられる。津田左右吉は、1938年に『支那思想と日本』という著作を著し、その「まへがき」で、収録されている「日本は支那思想を如何にうけ入れたか」と「東洋文化とは何か」という2編の論文に触れ、日本文化と中国文化の無縁性を「一つの東洋文化といふものは無い」という大胆な断言で特徴づけようとした。以下、少し長いが、彼の主張が凝縮されている箇所を引用してみよう。

この二編に共通な考は、日本の文化は日本の民族生活の独自なる歴史的展開によつて独自に形づくられて来たものであり、随つて支那の文化とは全くちがふものであるといふこと、日本と支那とは別々の歴史をもち別々の文化をもつている別々の世界であつて、文化的にはこの二つを含むものとしての一つの東洋文化といふ世界はなりたつてゐず、一つの東洋文化といふものは無いといふこと、日本は、過去に於ては、文化財として支那の文物を多くとり入れたけれども、決して支那の文化の世界につつまこまれたのではないといふこと、支那からとり入れた文物が日本の文化の発達に大なるはたらきをしたことは明かであるが、一面またそれを妨げそれをゆがめて来たといふこと、日本の知識人の知識としては支那思想が重んじられたけれども、それは日本人の実生活とはるかにかけはなれたものであり、直接には実生活の上にはたらいてゐないといふことである。日本と支那と、日本人の生活と支那人のそれとは、すべてにおいて全くちがつてゐる、といふのがわたくしの考である。（佐伯：333-334）



当時の時代的文脈（満州事件から7年後、上海事変の前年）の中でこの発言を読み解くと、津田左右吉を一徹な自国中心主義者・文化的ナショナリストと見間違えるかもしれない。しかしながら、彼の博士論文『上代シナ人の宗教思想』（1920）に見られるように、中国思想史における仕事には、日本研究へ盲目的に埋没するのではなく、常に、外部からの客観的視点が注入されている。上述の引用に見える日本人や日本文化の「独自性」は、日本文化の解釈と評価には不可欠な視点であり、彼の複眼的比較文化論的アプローチをもって初めてあきらかにされるものである。

内藤湖南のいう「日本文化の独立」と津田左右吉のいう「日本文化の独自性」は、異なった領域の仕事として位置づけられながらも、複眼的な比較文化論の本質において、まさしく軌を一にするものであるということができよう。

佐伯（1984）は、明治維新以降の比較文化論の系譜において、契機となる海外との歴史的接触の「衝撃」として、鎌倉時代の元寇の来襲、安土桃山時代からの「切支丹」らによるキリスト教と鉄砲の伝来、江戸時代末期の黒船の来航などを挙げ、これらの出来事が明治維新以降の日本人の精神生活のあり方に大きな影響を及ぼしたと指摘している。内藤湖南や津田左右吉は、まさしく「黒船の息子」の世代に属し、夏目漱石、森鷗外、島崎藤村、さらには、岡倉天心、内村鑑三、新渡戸稲造らも同時代人として位置づけられる。彼らは、その後展開された西歐的近代がもたらした「普遍主義」と強烈な文化的ナショナリズムが生み出す「固有主義」の相克の中に苦悩し、翻弄され、そして、独自の比較文化論的「境地」を得た。

彼らの後続には、たとえば、芥川龍之介、和辻哲郎、木下杢太郎、阿部次郎などの仕事を挙げることができるが、普遍主義と固有主義との対立が内包する批判と検証のはざまのなかで、同様に、独自の比較文化論的「境地」を開拓した。彼らの貢献が、比較文化論の間口を広げ、かつ、その奥行きまでも深めたことにあるといっても過言ではない。

### 3. 日本における比較文化学の現状と課題

前節では、日本における比較文化研究（比較文化論）の簡単な系譜を辿ってきたが、日本比較文化学会が発足して40年余となった今にもかかわらず、比較文化学はまだまだ新しい学問分野と考えられている。その一因を、地理的、歴史的要因としての島国性や文化的孤立性に求める、いいかえれば、異質な他者との直接的で、かつ、厳しい接触の現実日常的に晒されてこなかった事実を求めることができるかもしれない。実際、比較文化学の定義も多岐にわたり、本学会においても多くの異なる理解が存在していることも事実である。われわれの基本的なスタンスとしては、内藤湖南や津田左右吉の指摘を待つまでもなく、文化に対する多様な捉え方が存在することをまず理解し、それを受容していくこと、さらには、複眼的な視座を堅持していくことこそが、もっとも「比較文化」的なあり方ではないかと思われる。

このような認識をもって、本学会における比較文化論から比較文化学への系譜を鳥瞰したときに、2008年度の第30回日本比較文化学会全国大会シンポジウムにおける「増殖す

る”比較文化学」はまさに時機を得たものであったと評価されうるものである。

このシンポジウムは、筆者が司会を務め、「“増殖する”比較文化学」というテーマの下、その基本的な位置づけを、さまざまな領域とオーバーラップし、かつ、従来の既存の専門領域を横断的につなぐものと見なされてきた比較文化学が、今後、いわゆる、一本の縦軸として、一つの独立した学問領域へとさらなる発展を遂げるためのステップストーンになることとし、“増殖”という語でもって、今後の比較文化学の発展の可能性を模索することを企図したものであった。

以下に示すように、過去のシンポジウムのテーマをここで改めて鳥瞰すると、本学会が辿ってきた足跡を確認することができよう。

- 1 1979 (シンポジウムなし)
- 2 1980 比較文化における諸相
- 3 1981 文学と映像
- 4 1982 人間の危機的諸相と対応
- 5 1983 翻訳と翻案
- 6 1984 文化の諸相—アメリカとイギリス—
- 7 1985 充足そして貧困
- 8 1986 文化における男性と女性
- 9 1987 映像文化比較論
- 10 1988 現代文化における情報の役割
- 11 1989 文化における普遍性
- 12 1990 日本語教育の諸問題
- 13 1991 生活文化の国際化
- 14 1992 文化伝達におけるコンピュータの役割
- 15 1993 地域文化の衝撃—異文化との接触・交流そして融合—
- 16 1994 異文化教育—異なる価値観の受容に向けて—
- 17 1995 比較文化論再考
- 18 1996 比較文化学の領域—宗教(哲学)・文学・言語学・家政学—
- 19 1997 比較文化の国際化
- 20 1998 国際化時代における教育
- 21 1999 国際化の中の日本再考—アジアを中心として—
- 22 2000 <国際理解教育の推進>と比較文化
- 23 2001 比較文化：過去、現在そして未来
- 24 2002 文化の<比較研究>とはなにか
- 25 2003 カルチャーとサブカルチャーの間
- 26 2004 多文化交流の問題点

- 27 2005 多文化交流から多文化共生へ
- 28 2006 多文化情報時代の教育
- 29 2007 グローカル化とこれからの日本
- 30 2008 “増殖する”比較文化学
- 31 2009 非都市の文化
- 32 2010 外国語教育における目標言語の使用
- 33 2011 研究アプローチの諸相
- 34 2012 内から見た文化、外から見た文化：それぞれの視点から
- 35 2013 「比較文化学」はどのように教えられているか？—現状と展望—
- 36 2014 明るい未来社会構築のための比較文化的基礎基盤研究に向けて
- 37 2015 比較文化研究と研究倫理
- 38 2016 比較文化の方法
- 39 2017 比較文化の今日的意義
- 40 2018 比較研究の手法
- 41 2019 比較文化の教育と研究の新潮流
- 42 2020 比較文化の教育実践
- 43 2021 比較文化学の探求—比較文化のスキームを求めて—

乱暴なまとめ方になるかもしれないが、第1期を第1回全国大会（1979年）～第17回全国大会（1995年）までとすると、ある一定の期間を費やして、「比較文化論」が扱うべき学問領域を定位させつつ、考究を深め、大きく括ると「異文化」の諸相の解明にその関心が向けられていた時期と見なすことができよう。第2期は、いみじくも、第18回全国大会のテーマにも表れているように、「比較文化論」という限られた研究領域から、よりマクロな枠組みの中で、とりわけ、「国際化」という視点の中での研究を目指すべく、「比較文化論」から「比較文化学」への脱皮を図る時期と位置づけることができ、第24回全国大会（2004年）までをこの時期の区切りとするのが妥当であろう。第25回全国大会（2005年）以降は、第3期として、「比較文化学」の内実化の充実にその関心が移り、また、文化の差異を「異文化」として「気づき、際立たせる」のではなく、「多文化」として「受け入れ、認める」ことを是とする段階に入ったことを示している。さらに、第4期として、このような学問的文脈の中で、第30回全国大会（2008年）のシンポジウムのテーマは、成熟期を迎えた「比較文化学」が、さらなる拡充・発展を目指すためのささやかな宣言たりえるものとみなすことができ、その後のテーマは、研究としての方法論、教育実践への応用、さらには、研究倫理との関連性など、「比較文化学」学問としての成熟を読み取ることができるといえよう。

#### 4. おわりに

そもそも異なった専門領域を有する研究者が集い、横断的に研究活動を展開してきた比較文化研究ではあるが、最近では、比較文化学を主たるフィールドとして活躍する研究者も増え、本学会の存在意義については、2009年12月19日に台湾淡江大学で開催された2009年度台湾日本語文学国際学術検討会における台湾日本語文学会成立20周年会員大会の席上で、台湾日本語文学会と韓国日本文化学会との学術交流協定が締結されるという慶事があり、それに関連して、日韓台3ヶ国姉妹学会国際交流協定の成立を記念するさまざまな行事が企画・開催されたように、その国際的な進展がますます期待される学問領域と見なされるようになってきた。一方で、世界の大学・研究機関を相手にして、どのようにして国際的通用性を担保するかということの日々考えなければならない状況にあることに鑑み、今般の韓国日本文化学会ならびに台湾日本語文学会との学術交流締結を機に、国際的環境のなかで本学会のprestigeをどうしたら高めることができるかを現実の課題として認識する必要がある。

国際的な連携の舞台において、日本比較文化学会ならびに比較文化学が、これからの時代を見据えた活力のある、そして豊かな将来性をもつ学会ならび研究領域として、さらなる自立的な発展を遂げることを期待して、結びとしたい。

\*本講演の内容は、2008年12月20日に台湾淡江大学で開催された2008年度日本語文学国際学術検討会における招待講演者として、「日本の比較文化学を語る—日本比較文化学会の活動を通して—」と題して講演した内容に加筆・修正を加えたものである。

#### 参考文献

- 芳賀馨. 1998. 「比較文化学序説—序にかえて—」『比較文化学論纂』芳賀馨編, 東京: 開文社, pp. 7-16.
- 佐伯彰一. 1984. 「比較文化論の系譜 日本」『講座比較文化 第8巻比較文化への展望』伊藤俊太郎他, 東京: 研究社, pp. 316-350.

(同志社大学教授)

## 口頭発表 1

英語発音に対する正しい理解と指導に向けて— 音声学からの分析 —

北洋大学講師 福嶋 剛司

北洋大学講師 植田 尚樹

英語では、3 子音連続の真ん中の子音が音声的に明瞭に現れない場合がある（例：stopped talking /stɒpt ˈtɔːkɪŋ/ [stɒp<sup>h</sup>ˈtɔːkɪŋ]）。その結果、stopped talking と stop talking は音声的な違いがなくなる可能性があるが、このようなペアの音声的な違いの有無、そして英語教育における有効な指導方法については議論の余地がある。本研究では、上記のようなペアを対象に音響分析を行い、以下の結果を得た。(i) 元来 3 子音連続を持つものは 2 子音連続を持つものに比べ、先行母音の持続時間が短いか、もしくは当該子音の持続時間が長い、つまり子音区間に対する母音区間の比が小さい傾向にある。(ii) 3 子音連続を持つものでは、先行母音におけるピッチがやや高い傾向にある。この結果から、英語教育においては音の長さや高さに意識を向ける指導法が効果的であることが示唆される。

## 口頭発表2

### 発語行為における会計と演劇

北洋大学教授 稲山訓央

#### 先行研究と問題のありか

会計と演劇という一見何の関係もないかのように見える2つの行為を、発語行為に限定して見ていく場合に、類似性が見られるのではないか。

会計と演劇を同時に取り上げている研究はほぼなく、青柳文司『現代会計の諸相 言語・物語・演劇』多賀出版(2008年)に唯一見られる。

#### 発表の要旨

会計のもつ目的は、当該企業の財政状態、経営状況を企業内外の利害関係者に情報開示することである。利害関係者という言葉は、かなり多くの立場の人を含む事になり、それぞれの役割を持つ人のバックボーンが異なることから、専門用語も異なり、また利用する立場によって、必要とする情報も異なる。

そこで、大きく財務会計(企業外部開示会計)と管理会計(企業内部向け意思決定情報開示会計)に分けて考える。もちろん管理会計も重要であるが、内部向けだけに企業の特質、企業習慣に合わせたものになりがちであるから、発語行為に限定して考えていくために、より多くの人に決められた様式で情報開示を行う財務会計に絞って論を進めたい。

演劇の場合も同様で、歌舞伎、文楽から黙劇、ミュージカル、オペラ、オペレッタなどありとあらゆるジャンルがあり、それぞれ、上演に関する理論、キャストサイドからのメソッド、スタッフサイドからのメソッド、それらを全て含めて演劇となる。ここでは発語行為に限定することから、劇作家、演出家があり、役者の体を通して、観客に上演する行為を演劇として論を進めたい。会計の場合、企業の財政状態や経営状態を財務諸表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書など)にて開示することで明らかにしていく。その中では、例えば「貯藏品」に材料などの未使用分のほか、収入印紙や切手も含まれることになり、情報を受け取る側にある程度以上の専門性を求めているのが現状である。それは情報開示側と情報受け取り側の間の共通認識に依存しており、一種の記号が存在していると考えられる。演劇の場合、劇作家が書いた脚本を、役者の身体を使って、演出家がコントロールしながら、観客に伝えていく。その中で、「海から吹く風は気持ちがいいね」というセリフがあるとすれば、そこに海の書割がなくても、実際に風が吹いていなかったとしても、そこは海辺のシーンであると観客は認識する。それは会計の場合と同様、情報を受け取る側にある程度以上の演劇上のお約束を求めていることになる。誰も海じゃなくて、劇場じゃないか、風なんか吹いていないじゃないかなどということはない。それは情報開示側と情報受け取り側の間の共通認識に依存しており、一種の記号が存在していると考えられる。

以上のような点から、会計と演劇という一見何の関係もないかのように見える2つの行為を、発語行為に限定して見ていく場合に、類似性が見られるといえる。

### 口頭発表3

ユリア・ドムナに付与される Augusta の表象

— 帝政期の皇帝親族の女性と近年の歴史研究 —

京都外国語大学大学院博士前期課程 勝野友喜

セプティミウス・セウェルス帝の妻であるユリア・ドムナは従来、皇帝親族の女性に与えられてきた Augusta だけでなく、軍団の母という称号も付与されている。先行研究では彼女がセウェルス朝以前の宮廷の女性達とは異なった行動を皇帝の軍事遠征やその他の政務などで見せていると解釈されている。更にセプティミウス・セウェルスは自らの皇帝としての正当性をアウグストゥス帝と同じように見られるよう計らうことで担保しており、より「ローマらしく」振る舞う必要があった。本発表では、同時代の歴史家、ヘロディアヌスやカッシウス・ディオを読み直し、皇帝としてのあり方を家族の形態に見立て、政務を行っていたセプティミウス・セウェルスからユリア・ドムナがどのようなイメージを求められ、発揮してきたのかについて明らかにする。また、ユリア・ドムナが帝国におけるプロパガンダとして、どのような存在であったかを位置付けていく。



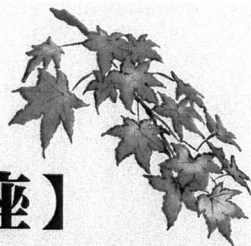
#### 口頭発表4

日本語と中国語のアスペクト解釈位置と「一」の機能について

北洋大学講師 馮 一峰

日本語の「一」は、動詞連用形や動名詞の前に現れることができ、中国語の「一」は、動詞重複語の間や動詞の前に現れることができる。本研究の目的は、両者の機能とを比較し、その共通点と相違点に統辞的な説明を与えることにある。日本語の「一+動詞連用形/動名詞+する」構文における「一」は、中国語の動詞重複語の間に現れる「一」と同じく事象の有界性を明示する機能を果たしている。それに対し、中国語の動詞の前に現れる「一」は、事象全体の有界性に加えて、事象の発生時点のみを明示する機能を果たすこともできると考えられる。この機能の違いは、「一」の統辞位置の違いによって説明されたと考えられる。中国語の動詞の前に現れる「一」は、vP と VP の間にあるアスペクト解釈位置にあるので、事象全体の有界性に加えて、事象の発生時点のみを明示する機能を果たすこともできると考えられる。

# 北洋大学



## 【図書館講座】

# 「秋の夜長の飽きない講座」

今回は興味深い話を、それぞれ3回連続シリーズものとして  
昼夜2種ずつご案内いたします。

### 【日程】

●10月 6日・10月13日・10月20日

●10月27日・11月10日・11月17日

の水曜昼夜開講予定

昼の部:13:00~14:15

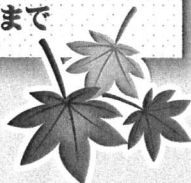
- 1 「歌って学ぶ 外国語」 山田 利一  
(10月6・13・20日)
- 2 「まぎらわしい日本語」 藤田 航輝  
(10月27日・11月10・17日)

夜の部:18:00~19:15

- 1 「多文化共生の為の日本語」 奥村 訓代  
(10月6・13・20日)
- 2 「ニイハオ 北洋大学」 馮 一峰  
(10月27日・11月10・17日)

お申込みは北洋大学 事務局(0144-61-3111)まで

- ※参加費無料。どなたでもお気軽にご参加ください
- ※講義は、1回から毎回受講まで自由選択できます  
但し事前申し込みが必要です
- ※内容は毎回完結型ですので、毎回ごとにお楽しみ頂けます



③ 無料 図書館講座



## 北洋大学図書館講座：『水曜夜会』 新任 顔見世興行

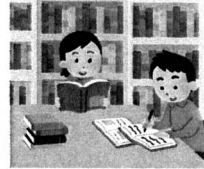
期間：2021年5月12日（水）から7月14日（水）【無料】

時間：18：00から19：30（講義60分、歓談30分）

対象：高校生以上の苫小牧と白老住民

申込：北洋大学図書館（0144-61-3312）

平日10：00～17：00 先着20名



第1回目（5月12日） 『英語と日本語はこんなに違う?!』

担当：福嶋 剛司 北洋大学専任講師（英語・英語学担当）

第2回目（5月19日） 『東アジア ふしぎ発見』

担当：福本 達也 北洋大学教授（韓国語・言語とキャリア担当）

第3回目（5月26日） 『オノマトペ・チャレンジ』

担当：藤田 航輝 北洋大学専任講師（日本語教育担当）

第4回目（6月2日） 『中国語で気持ちスッキリ』

担当：馮 一峰 北洋大学専任講師（理論言語学、中国語担当）

第5回目（6月9日） 『なくなりそうな世界の言葉』

担当：植田 尚樹 北洋大学専任講師（応用言語学、音声学担当）

第6回目（6月16日） 『「あ」にも色々ありまして、、、』

担当：福嶋 剛司 北洋大学専任講師（英語・英語学担当）

第7回目（6月23日） 『インバウンドと日本』

担当：福本 達也 北洋大学教授（韓国語・言語とキャリア担当）

第8回目（6月30日） 『まぎらわしい日本語』

担当：藤田 航輝 北洋大学専任講師（日本語教育担当）

第9回目（7月7日） 『ニーハオ・中国』

担当：馮 一峰 北洋大学専任講師（理論言語学、中国語担当）

第10回目（7月14日） 『「あ」は「い」より大きい!?!』

担当：植田 尚樹 北洋大学専任講師（応用言語学、音声学担当）





# 北洋大学 クリスマス会のお知らせ

2021年12月23日(木)

会場：北洋大学学食（営業時間 11：30～13：30）

## 【内容】

先着 50 名！

- ・学食は通常営業です。
- ・クリスマスランチメニュー（無料）を予定。
- ・12：30～ English ビンゴゲームを開催！
- ・ビンゴになった方にはクリスマスプレゼントをご用意しています。

※プレゼントの数には限りがございます。



事前申し込み等は不要です。お気軽にお越しください。

お問い合わせは 北洋大学 事務室（0144-61-3111）まで





## 編集後記：

第1回紀要発行ということで、初めてのメンバーで慣れない経験をする事になりました。その影響で、色々とスケジュールや内容に関し、執筆者はじめ査読者、印刷所の皆さまにも多大なご迷惑をお掛けしましたこと、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

正に鬼に笑われそうですが、次年度はより一層の充実を図り、皆様が心地よく紀要に関われる環境を取り揃えていきたいと願っております。

皆様の叱咤激励を糧として、「紀要」が「貴要」や「喜要」とならんことを願ってやみません。

不一

## 北洋大学紀要 第1号

---

令和4(2022)年3月20日 印刷発行

編集発行

北洋大学

〒059-1266 苫小牧市錦西町3丁目2番1号

電話0144-61-3111

印刷

ひまわり印刷株式会社

---

# BULLETIN OF HOKUYO UNIVERSITY

## Vol. 1

(Part 1) : Articles

Aspiration and Voicing of Japanese Word-Medial Stops Uttered  
by Mongolian Speakers ◀ UETA Naoki ▶ 3

---

An Analysis of Denominal Verb and Intransitivisation in Japanese  
Focusing on “megumu” and “megumareru” ◀ FENG Yifeng ▶ 17

---

On Chinese ‘feng’ : The relationship of ‘feng’ and ‘tulku’ ◀ HIROIKE Shinichi ▶ 29

---

Well-formedness of *long* Phrases ◀ FUKUSHIMA Tsuyoshi ▶ 45

---

Analysis of Special Honorific Usage within the Family  
-through Conversation Examples in Novels and  
TV Drama Scenarios in the Early Heisei Era- ◀ FUKUMOTO Tatsuya ▶ 59

---

Proposals for a Textbook of Caregiving Japanese for Non-native Speakers  
with the Reconsideration of “the Empathetic Communications” ◀ FUJITA Koki ▶ 71

---

A Genealogy of Liberalism as an Anglo-American  
Political Tradition ◀ YAMADA Toshikazu ▶ 85

---

(Part 2) : What’s New at Hokuyo University 99